

令和5年度

授業改善のための学生アンケート報告書

－ 全体集計 －

第I部

令和5年12月

拓殖大学 FD委員会

はじめに

「学修者本位の教育」が求められています。いうまでもなく教育とは学生のためのものであり、教育機関に求められている教育の質保証は、学修者本位の教育の質保証でなければなりません。本学では「拓殖大学FD委員会」が中心となり、「教員の授業の改善に役立てること、並びに本学の教育の質の向上を図ること」を目的に「授業改善のための学生アンケート」を実施しています。本学ではアンケート集計結果にもとづく分析、学生の意見や教員による授業の振り返りを通じて、授業内容・教育方法の改善やカリキュラム全体の見直し、学修支援環境の充実などにつなげ、学生の主体的な学びを促す効果的学修の推進に取り組んでいます。

令和3年度からWebシステムを使用したアンケート形式を導入しました。これにより実施科目を原則すべての科目へと拡充し、結果の迅速なフィードバックもできるようになりました。アンケート実施の目的を合理的に達成できる環境が整ったといえます。

本報告書は、令和5年度に実施した「授業改善のための学生アンケート」を基に「全体集計」（第Ⅰ部）と「科目別集計」（第Ⅱ部）の2部構成にまとめました。

第Ⅰ部では、大学全体から各学部・学科まできめ細かな分析を試み、各学部における評価及び課題を明確にしております。本学ホームページにて学内外に公表いたします。

第Ⅱ部では「科目別集計（個表）」の形で授業評価に参加した全教員のデータとともに、学生の主な意見、ならびにこれに対する担当教員の所見を掲載し、学内イントラネット上で公表いたします。

教員各位にあつては、本報告書を活用し、自身のアンケート結果を過去と比較し、他の教員や他学部の状況も参考にしながら、今後の改善に役立てて下さるようお願いいたします。大学全体としては、教育の質の向上を図るための教学マネジメントの一環として、各学部における取組に対して適切な支援などを行っていきます。

令和5年12月

拓殖大学 学長
鈴木 昭一

目 次

はじめに

I 学生アンケートの実施について

1. 経緯と実施方針	3
2. 実施状況	3
3. 集計結果の概要	3
4. 今後の取組	4

II 実施状況

1. 実施期間	7
2. 実施教員数	7
3. 実施科目数	8
4. アンケート回答数（延べ人数）	8
5. 学科目別実施科目数	8

III 全体集計

1. 学科目別（講義等科目）平均値・標準偏差値	11
2. 教員所属別（講義等科目）平均値・標準偏差値	
(1) 専任教員所属別	12
(2) 講師(非常勤)所属別	13
3. 履修登録者数別比較表（講義科目）	14
4. 設問項目ごとの集計結果（年度比較）	
(1) 学科目別平均値	
①商学部初期教育科目	15
②商学部専門科目	16
③政経学部専門科目	17
④外国語学部専門科目	18
⑤工学部専門科目（講義等科目、実験・実習科目別）	19
⑥国際学部専門科目	21
⑦教養教育科目	22
⑧外国語科目	23
⑨スポーツ・トレーニング科目	24
⑩教職・日語科目	25
⑪ゼミ・外書講読科目	26
⑫全体（講義等科目）	27
(2) 学生所属別平均値・標準偏差（講義等科目）	
①学年別	28
②学科別	29

(3) 満足度平均値	
①学科目別	31
②所属別	32
③身分別	33
④年齢別	34
5. 学科目別 回答の分析	35
6. 学部設問項目 平均値・標準偏差	40
7. 学部別設問項目 教員別回答別表・グラフ	42

IV 評価及び課題

1. 商学部	47
2. 政経学部	49
3. 外国語学部	52
4. 工学部	54
5. 国際学部	60
6. 教養教育（教養教育科目）	63
（外国語科目）	65
（スポーツ・トレーニング科目）	67
7. 教職課程・日本語教員養成基礎講座科目	72

参考資料

実施要領	77
アンケート様式	79

I 学生アンケートの実施について

1. 経緯と実施方針

拓殖大学における教育内容と方法の改善を目的とした組織的な取り組みは、1992年（平成4年）の拓殖大学自己点検評価委員会の設置から始まり、各学部自己点検評価委員会が設置され、検証と評価を繰り返しながら教育の改革・改善に取り組んできました。2012年（平成24年）4月から拓殖大学FD委員会による取組として現在に至っております。

具体的には、1994年（平成6年）から始まった「学生による授業評価（現・授業改善のための学生アンケート）」の実施、全学的なFDワークショップ及び各学部独自のFDワークショップ開催、教育・研究等業績報告書の作成、新任教員研修会の実施などです。このうち「授業改善のための学生アンケート」（以下、学生アンケート）は、これら一連の教育改革の柱となるものであり、次のような特色を持っています。

- (1) 大学（5学部）全体の取り組みとして実施していること。
- (2) 全教員が参加していること。
- (3) 授業科目ごとの集計表には、統計処理したデータだけでなく学生からの要望・担当教員の所見及び改善に向けた取り組み方針を記載し、改善に向けて取り組んでいること。
- (4) 集計・分析結果のみならず、授業科目毎の集計及び担当教員による所見を公開し、全教員が参照できるようにしていること。

2. 実施状況

令和5年度「授業改善のための学生アンケート」は、全教員〔専任教員231名、講師（非常勤）370名〕を対象に実施いたしました。また、令和3年度より、学生アンケートはWebシステムを使用したアンケート形式を導入し、学外委託科目等一部科目を除く全科目での実施をいたしました。

実施科目数は専任教員で1,115科目（令和4年度〈以降同様〉1,017科目）、講師（非常勤）で1,165科目（1,095科目）、合計2,280科目（2,112科目）、また、学生からの述べ回答数は44,715人（31,294人）となりました。

3. 集計結果の概要

学生アンケートを実施した全授業科目の「満足度」の平均は4.15となり、令和4年度と比べ0.04pt下がりましたが、その数値は、学部別、科目分野別で差があります。たとえば専任教員の学部別では、国際学部の4.27が最も高く、外国語学部4.26、政経学部4.21、商学部4.12、工学部3.99と続いています。

区分別の満足度は、ゼミ・外書講読（4.54）が最も高く、次いで教職・日語講座科目（4.41）、以下、国際学部専門科目（4.22）、外国語学部専門科目（4.21）、外国語科目

(4.17)、教養教育科目(4.10)、政経学部専門科目(4.09)、商学部初期教育科目(4.08)、商学部専門科目(4.06)、工学部専門科目[講義](3.90)と続いています。

こうした評価の差は、科目分野に加え、授業規模や授業方法の違いによっても異なり、講義科目の履修登録者数別比較表(講義科目)によれば、履修者数101～200人の満足度4.04に対して、301人以上が4.17と、0.13pt高くなっています。

学生の学年別「満足度」では、高学年になるほど高い傾向であり、また教員の身分別では特別非常勤講師(4.29/13人)が最も高く、以下、准教授(4.20/65人)、教授(4.16/150人)、助教(4.14/14人)、講師(非常勤)(4.10/311人)の結果となりました。

教員の年齢別では、最も高い数値は40歳代(4.21)であり、逆に最も低い数値は50歳代、60歳代同率で(4.16)となりました。

「満足度」以外の項目については、今後の課題も含め学部別あるいは学科目別に詳細に分析されているので、本報告書「V評価と課題」をご覧ください。

4. 今後の取組

(1) 客観性が担保されるアンケート実施の継続

令和3年度から導入されたWebシステムを利用した実施方法については、回答者の匿名性が保たれる方法を引き続き継続して実施していくこと。

(2) アンケート実施率及び回答者数の向上

適宜、各学部所属長や学務課と連携を図り、教員のアンケート実施率及び学生の回答者数向上を目指していくこと。

(3) 「授業改善のための学生アンケート」結果(満足度)が低い科目への対応

教育力の底上げを図るため、科目の満足度が2年連続2.9以下となった教員については、改善方法の検討を促し、報告書の提出を求めるなどの対応を取ること。

少子高齢化と文部科学省による定員管理の厳格化から、大学を取り巻く環境が厳しくなっている折、本学においても持続可能な社会の担い手を育むため、教育の質と学生満足度の向上に向けた取り組みを一層追求する必要があります。

国際的な視野を持ち、タフな人間力を身につけた『拓殖人材』を育むためには、学修者本位の教育の質の向上は当然の責務であり、本委員会では『授業改善のための学生アンケート』を大学教学マネジメントの柱の一つと位置づけ、積極的に学士教育課程の編成・実施に係る組織的な取り組みを行っていくことといたします。

令和5年12月

拓殖大学FD委員会
委員長 山田 政通

II 実施状況

1. 実施期間

2023年6月26日（月）～2023年7月1日（土）

予備日：7月3日（月）～8日（土）

2. 実施教員数

1) 専任教員

所 属	実施対象教員数	実施者数	未実施者数	実施率（%）
商 学 部	50	50	0	100.00%
政 経 学 部	54	54	0	100.00%
外国語学部	33	32	1	96.97%
工 学 部	51	51	0	100.00%
国 際 学 部	34	33	1	97.06%
兼 担	9	9	0	100.00%
合 計	231	229	2	99.13%

（注）専任教員：教授、准教授、助教

2) 講師（非常勤）

所 属	実施対象教員数	実施者数	未実施者数	実施率（%）
商 学 部	106	96	10	90.57%
政 経 学 部	102	84	18	82.35%
外国語学部	65	56	9	86.15%
工 学 部	43	42	1	97.67%
国 際 学 部	44	39	5	88.64%
兼 担	10	10	0	100.00%
合 計	370	327	43	88.38%

（注）講師（非常勤）：客員教授を含む

3) 全体

所 属	実施対象教員数	実施者数	未実施者数	実施率（%）
専任教員	231	229	2	99.13%
講師（非常勤）	370	327	43	88.38%
合 計	601	556	45	92.51%

3. 実施科目数

所 属	専任教員	非常勤講師	合 計
商 学 部	282	350	632
政 経 学 部	336	281	617
外 国 語 学 部	175	225	400
工 学 部	130	111	241
国 際 学 部	178	165	343
兼 担	14	33	47
合 計	1,115	1,165	2,280

4. アンケート回答数（延べ人数）

回答者の所属	1 年	2 年	3 年	4 年	その他	合 計
商 学 部	4,688	4,432	2,335	1,054	8	12,517
政 経 学 部	5,688	4,605	2,899	1,630	7	14,829
外 国 語 学 部	1,576	1,438	1,221	473	4	4,712
工 学 部	3,063	2,082	1,427	160	12	6,744
国 際 学 部	2,361	1,968	1,088	469	27	5,913
合 計	17,376	14,525	8,970	3,786	58	44,715

5. 学科目別実施科目数

所 属	商学部	政経学部	外国語学部	工学部	国際学部	兼 担	合 計
商学部初期教育科目	49						49
商学部専門科目	170	4	5		4	2	185
政経学部専門科目	11	215	4		2	6	238
外国語学部専門科目	5	5	255	3	4	11	283
工学部専門科目（講義）		1		109	3		113
工学部専門科目（実験実習）				38			38
国際学部専門科目	1		1		68	7	77
教養教育科目	29	49	15	7	27	7	134
外国語科目	240	190	52	71	135	14	702
スポーツ・トレーニング科目	2			6	4		12
教職・日語講座科目	16	15	7	7	8		53
ゼミナール・外書講読	109	138	61		88		396
合 計	632	617	400	241	343	47	2,280

（注）教養教育科目：国際学部基礎科目を含む

外国語科目：英語、第2外国語、選択外国語、地域言語、留学生用の日本語

Ⅲ 全体集計

1. 学科目別（講義等科目） 平均値・標準偏差

設問項目	区分	商学部初期教育科目	商学部専門科目	政経学部専門科目	外国語学部専門科目	工学部専門科目（講義）	国際学部専門科目	教養教育科目	外国語科目	教職・日語講座科目	ゼミナール・外書講読	全体
		科目数： (49)	科目数： (185)	科目数： (238)	科目数： (283)	科目数： (113)	科目数： (77)	科目数： (134)	科目数： (702)	科目数： (53)	科目数： (396)	科目数： (2230)
1-(1)	平均値	4.73	4.70	4.71	4.65	4.76	4.67	4.74	4.72	4.74	4.71	4.71
	標準偏差	0.59	0.60	0.61	0.62	0.54	0.61	0.55	0.57	0.52	0.64	0.59
1-(2)	平均値	3.31	4.16	4.09	4.28	3.89	4.18	3.90	4.24	4.38	4.03	4.11
	標準偏差	1.26	0.89	0.96	0.77	1.00	0.91	1.01	0.79	0.69	1.00	0.92
1-(3)	平均値	1.52	1.80	1.80	2.03	1.99	1.88	1.68	2.10	1.95	2.36	1.94
	標準偏差	0.86	1.00	0.99	1.00	1.03	1.04	0.94	1.03	1.01	1.26	1.04
2-(1)	平均値	4.25	4.29	4.30	4.38	4.18	4.40	4.28	4.32	4.50	4.47	4.32
	標準偏差	0.76	0.68	0.69	0.64	0.70	0.67	0.68	0.70	0.55	0.66	0.69
2-(4)	平均値	4.10	4.13	4.12	4.27	4.01	4.18	4.03	4.18	4.45	4.47	4.16
	標準偏差	0.90	0.84	0.90	0.79	0.89	0.88	0.85	0.83	0.65	0.66	0.85
2-(5)	平均値	4.10	4.20	4.23	4.26	4.07	4.32	4.05	4.23	4.40	4.45	4.22
	標準偏差	0.82	0.77	0.77	0.71	0.78	0.74	0.84	0.74	0.65	0.65	0.76
2-(6)	平均値	3.83	3.76	3.81	4.28	3.68	4.05	3.65	4.29	4.36	4.55	4.02
	標準偏差	1.01	1.02	1.00	0.79	1.00	0.98	1.07	0.74	0.75	0.62	0.95
2-(7)	平均値	2.49	2.43	2.48	2.57	2.52	2.40	2.23	2.64	2.61	3.21	2.55
	標準偏差	1.33	1.28	1.29	1.30	1.25	1.30	1.25	1.32	1.34	1.29	1.31
2-(8)	平均値	4.11	4.22	4.25	4.38	4.09	4.38	4.16	4.30	4.49	4.56	4.28
	標準偏差	0.80	0.74	0.75	0.68	0.74	0.72	0.74	0.73	0.67	0.60	0.73
2-(9)	平均値	4.28	4.32	4.36	4.45	4.30	4.43	4.32	4.41	4.51	4.47	4.38
	標準偏差	0.76	0.71	0.74	0.63	0.70	0.68	0.69	0.67	0.70	0.72	0.70
2-(10)	平均値	4.11	4.18	4.22	4.31	4.10	4.28	4.16	4.29	4.43	4.41	4.24
	標準偏差	0.81	0.81	0.81	0.72	0.85	0.81	0.79	0.74	0.70	0.68	0.78
2-(11)	平均値	4.08	3.85	3.88	4.11	3.72	4.08	3.93	4.03	4.24	4.36	3.98
	標準偏差	0.83	0.89	0.89	0.79	0.95	0.84	0.83	0.84	0.68	0.66	0.86
2-(12)	平均値	3.91	3.94	3.97	4.12	3.77	4.19	3.99	4.02	4.34	4.46	4.03
	標準偏差	0.96	0.89	0.91	0.82	0.93	0.88	0.87	0.90	0.66	0.66	0.89
2-(13)	平均値	3.89	3.94	3.98	4.06	3.75	4.23	4.00	3.96	4.31	4.46	4.01
	標準偏差	0.92	0.85	0.87	0.82	0.92	0.80	0.85	0.90	0.71	0.66	0.87
2-(14)	平均値	4.08	4.06	4.09	4.21	3.90	4.22	4.10	4.17	4.41	4.54	4.15
	標準偏差	0.87	0.83	0.85	0.78	0.88	0.83	0.80	0.84	0.65	0.64	0.83

○回答「3.0」が適切である項目

2-(2)	平均値	3.23	3.62	3.61	3.46	3.67	3.45	3.49	3.48	3.44	3.32	3.52
	標準偏差	0.74	0.72	0.75	0.68	0.77	0.68	0.71	0.75	0.58	0.59	0.73
2-(3)	平均値	3.22	3.26	3.27	3.15	3.30	3.20	3.21	3.23	3.14	3.07	3.22
	標準偏差	0.66	0.59	0.61	0.51	0.65	0.52	0.56	0.59	0.44	0.42	0.58

2. 教員所属別（講義等科目）

（1）専任教員所属別

設問項目	区分	商学部	政経学部	外国語学部	工学部	国際学部	兼任教員	専任教員全体	講師全体	全体
		科目数： (280)	科目数： (336)	科目数： (175)	科目数： (87)	科目数： (174)	科目数： (14)	科目数： (1066)	科目数： (1164)	科目数： (2230)
1-(1)	平均値	4.72	4.71	4.69	4.76	4.67	4.73	4.71	4.71	4.71
	標準偏差	0.58	0.60	0.60	0.53	0.63	0.53	0.59	0.59	0.59
1-(2)	平均値	4.09	4.17	4.22	3.89	4.09	4.24	4.11	4.11	4.11
	標準偏差	0.96	0.89	0.85	1.02	0.96	0.76	0.93	0.91	0.92
1-(3)	平均値	1.86	1.93	2.19	2.01	1.97	1.94	1.94	1.93	1.94
	標準偏差	1.03	1.08	1.06	1.04	1.08	1.05	1.06	1.02	1.04
2-(1)	平均値	4.31	4.35	4.40	4.23	4.38	4.34	4.33	4.30	4.32
	標準偏差	0.68	0.69	0.66	0.68	0.69	0.63	0.68	0.69	0.69
2-(4)	平均値	4.18	4.26	4.33	4.14	4.25	4.05	4.23	4.09	4.16
	標準偏差	0.82	0.82	0.76	0.79	0.82	0.76	0.81	0.88	0.85
2-(5)	平均値	4.23	4.31	4.28	4.16	4.33	4.27	4.27	4.16	4.22
	標準偏差	0.77	0.74	0.71	0.75	0.74	0.66	0.75	0.77	0.76
2-(6)	平均値	3.88	4.00	4.31	3.78	4.17	3.76	3.98	4.06	4.02
	標準偏差	1.01	0.98	0.79	0.99	0.90	1.00	0.98	0.92	0.95
2-(7)	平均値	2.48	2.61	2.60	2.52	2.63	2.29	2.56	2.53	2.55
	標準偏差	1.30	1.33	1.30	1.25	1.36	1.24	1.32	1.31	1.31
2-(8)	平均値	4.26	4.36	4.39	4.15	4.40	4.30	4.31	4.24	4.28
	標準偏差	0.72	0.71	0.71	0.72	0.71	0.68	0.72	0.75	0.73
2-(9)	平均値	4.35	4.40	4.43	4.34	4.43	4.39	4.38	4.37	4.38
	標準偏差	0.70	0.74	0.68	0.70	0.68	0.63	0.71	0.69	0.70
2-(10)	平均値	4.20	4.28	4.32	4.16	4.31	4.27	4.25	4.23	4.24
	標準偏差	0.80	0.78	0.74	0.81	0.77	0.72	0.78	0.77	0.78
2-(11)	平均値	3.92	3.99	4.14	3.82	4.17	3.92	3.99	3.97	3.98
	標準偏差	0.87	0.86	0.80	0.89	0.80	0.77	0.86	0.86	0.86
2-(12)	平均値	4.00	4.08	4.18	3.87	4.23	4.14	4.06	3.98	4.03
	標準偏差	0.88	0.88	0.81	0.91	0.83	0.77	0.88	0.90	0.89
2-(13)	平均値	4.01	4.10	4.13	3.84	4.24	4.18	4.07	3.94	4.01
	標準偏差	0.84	0.83	0.82	0.90	0.80	0.73	0.84	0.89	0.87
2-(14)	平均値	4.12	4.21	4.26	3.99	4.27	4.18	4.17	4.11	4.15
	標準偏差	0.82	0.81	0.78	0.83	0.80	0.76	0.81	0.85	0.83

○回答「3.0」が適切である項目

2-(2)	平均値	3.56	3.56	3.43	3.62	3.36	3.61	3.53	3.51	3.52
	標準偏差	0.71	0.72	0.65	0.75	0.65	0.67	0.71	0.75	0.73
2-(3)	平均値	3.23	3.22	3.17	3.27	3.17	3.31	3.22	3.23	3.22
	標準偏差	0.56	0.57	0.52	0.63	0.51	0.57	0.57	0.60	0.58

（注）専任教員：教授、准教授、助教

(2) 講師 (非常勤) 所属別

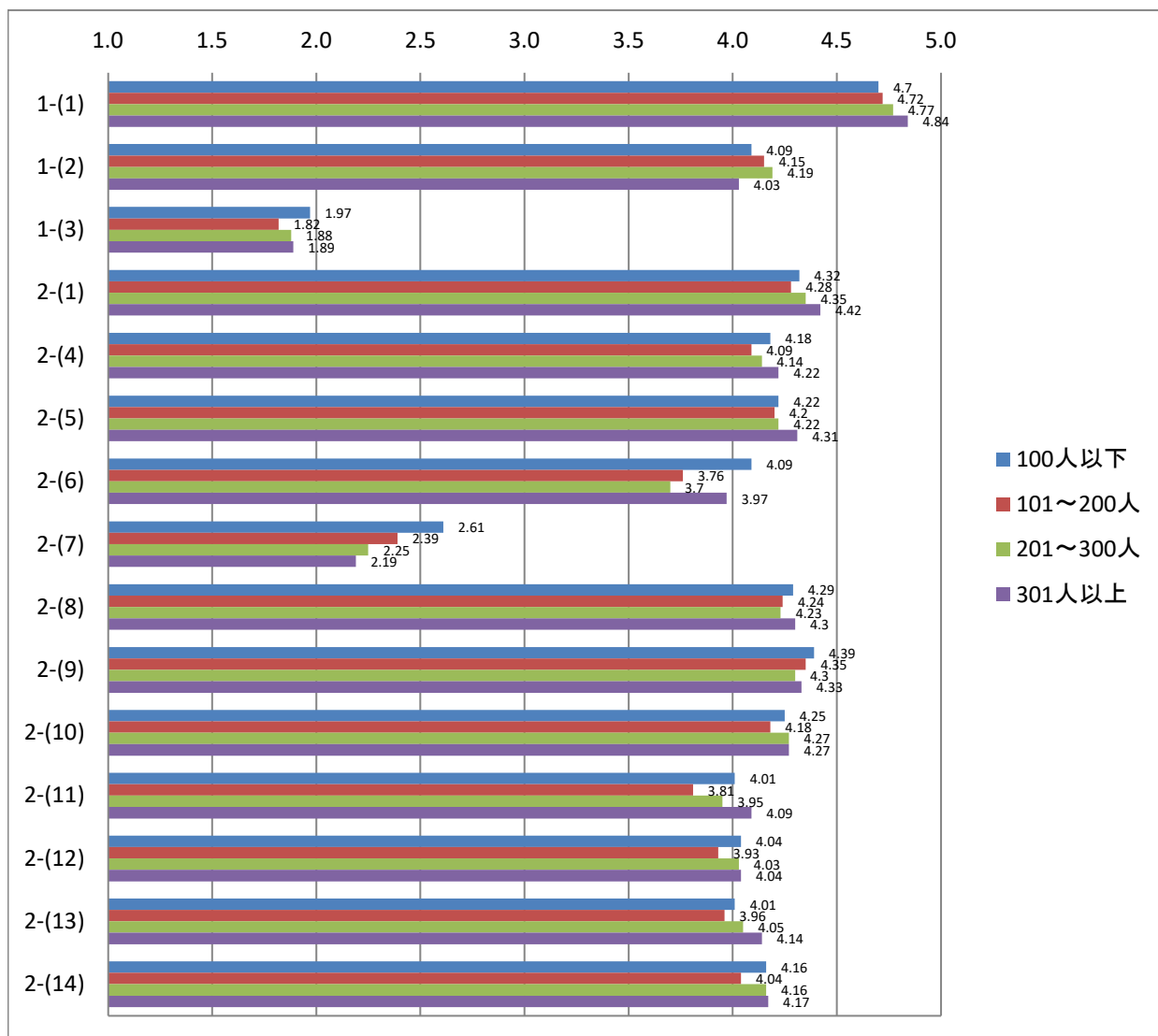
設問項目	区分	商学部	政経学部	外国語学部	工学部	国際学部	兼任教員	講師全体	専任教員全体	全体
		科目数: (350)	科目数: (281)	科目数: (225)	科目数: (110)	科目数: (165)	科目数: (33)	科目数: (1164)	科目数: (1066)	科目数: (2230)
1-(1)	平均値	4.73	4.70	4.67	4.75	4.67	4.72	4.71	4.71	4.71
	標準偏差	0.56	0.60	0.60	0.54	0.63	0.55	0.59	0.59	0.59
1-(2)	平均値	4.17	4.03	4.21	3.96	4.12	4.24	4.11	4.11	4.11
	標準偏差	0.87	0.98	0.80	0.96	0.93	0.80	0.91	0.93	0.92
1-(3)	平均値	1.99	1.87	1.84	1.92	2.01	2.10	1.93	1.94	1.94
	標準偏差	1.02	1.02	0.95	1.00	1.05	1.10	1.02	1.06	1.04
2-(1)	平均値	4.30	4.27	4.35	4.22	4.37	4.29	4.30	4.33	4.32
	標準偏差	0.71	0.69	0.65	0.70	0.68	0.69	0.69	0.68	0.69
2-(4)	平均値	4.10	4.01	4.18	4.02	4.20	4.17	4.09	4.23	4.16
	標準偏差	0.88	0.91	0.84	0.89	0.85	0.79	0.88	0.81	0.85
2-(5)	平均値	4.19	4.11	4.24	4.06	4.23	4.16	4.16	4.27	4.22
	標準偏差	0.76	0.81	0.72	0.79	0.78	0.73	0.77	0.75	0.76
2-(6)	平均値	4.08	3.94	4.24	3.98	4.16	4.06	4.06	3.98	4.02
	標準偏差	0.90	0.97	0.83	0.93	0.92	0.86	0.92	0.98	0.95
2-(7)	平均値	2.59	2.43	2.52	2.48	2.64	2.77	2.53	2.56	2.55
	標準偏差	1.31	1.27	1.31	1.30	1.37	1.27	1.31	1.32	1.31
2-(8)	平均値	4.25	4.17	4.34	4.13	4.35	4.29	4.24	4.31	4.28
	標準偏差	0.76	0.76	0.69	0.76	0.75	0.71	0.75	0.72	0.73
2-(9)	平均値	4.38	4.35	4.41	4.30	4.42	4.40	4.37	4.38	4.38
	標準偏差	0.69	0.68	0.66	0.71	0.71	0.66	0.69	0.71	0.70
2-(10)	平均値	4.24	4.19	4.28	4.14	4.32	4.23	4.23	4.25	4.24
	標準偏差	0.78	0.78	0.73	0.79	0.76	0.77	0.77	0.78	0.78
2-(11)	平均値	3.98	3.88	4.05	3.85	4.13	4.14	3.97	3.99	3.98
	標準偏差	0.86	0.87	0.81	0.91	0.82	0.78	0.86	0.86	0.86
2-(12)	平均値	3.98	3.91	4.11	3.81	4.14	4.07	3.98	4.06	4.03
	標準偏差	0.91	0.92	0.82	0.94	0.85	0.88	0.90	0.88	0.89
2-(13)	平均値	3.93	3.90	4.01	3.78	4.07	4.13	3.94	4.07	4.01
	標準偏差	0.90	0.90	0.84	0.93	0.88	0.80	0.89	0.84	0.87
2-(14)	平均値	4.10	4.06	4.20	4.00	4.26	4.21	4.11	4.17	4.15
	標準偏差	0.87	0.85	0.78	0.88	0.83	0.78	0.85	0.81	0.83

○回答「3.0」が適切である項目

2-(2)	平均値	3.54	3.58	3.48	3.46	3.39	3.31	3.51	3.53	3.52
	標準偏差	0.75	0.76	0.71	0.81	0.72	0.67	0.75	0.71	0.73
2-(3)	平均値	3.27	3.24	3.18	3.21	3.20	3.14	3.23	3.22	3.22
	標準偏差	0.63	0.60	0.54	0.61	0.56	0.48	0.60	0.57	0.58

(注) 講師 (非常勤) : 客員教授を含む

3. 履修登録者数別比較表（講義科目）



(注) 2-(2) 難易度、2-(3) 進度 (3の回答が適切) は回答の基準が異なるため、掲載していない。

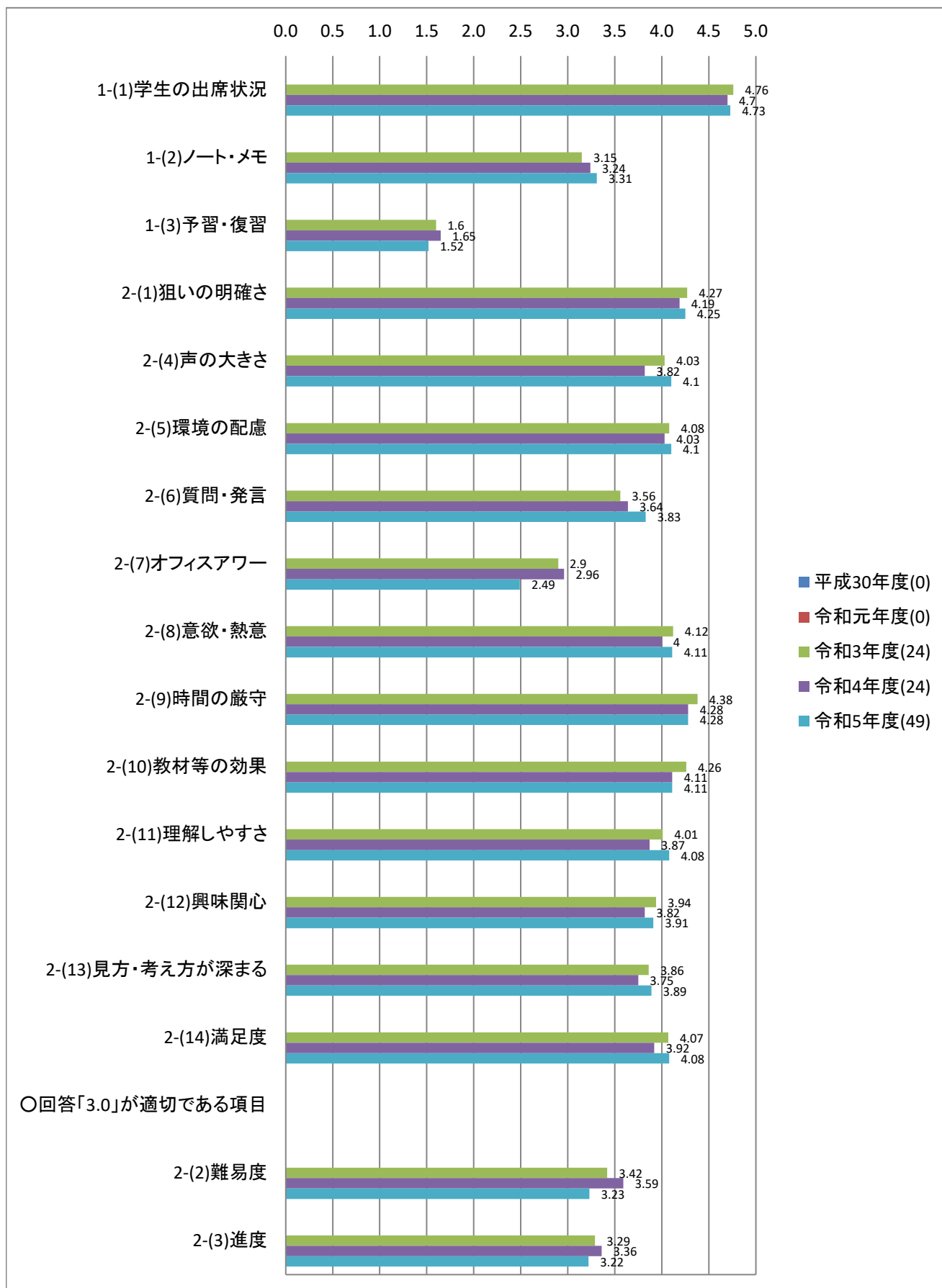
○平均値

区分		100人以下	101~200人	201~300人	301人以上
科目数		2,085	96	47	2
1-(1)	学生の出席状況	4.70	4.72	4.77	4.84
1-(2)	ノート・メモ	4.09	4.15	4.19	4.03
1-(3)	予習・復習	1.97	1.82	1.88	1.89
2-(1)	狙いの明確さ	4.32	4.28	4.35	4.42
2-(4)	声の大きさ	4.18	4.09	4.14	4.22
2-(5)	環境の配慮	4.22	4.20	4.22	4.31
2-(6)	質問・発言	4.09	3.76	3.70	3.97
2-(7)	オフィスアワー	2.61	2.39	2.25	2.19
2-(8)	意欲・熱意	4.29	4.24	4.23	4.30
2-(9)	時間の厳守	4.39	4.35	4.30	4.33
2-(10)	教材等の効果	4.25	4.18	4.27	4.27
2-(11)	理解しやすさ	4.01	3.81	3.95	4.09
2-(12)	興味関心	4.04	3.93	4.03	4.04
2-(13)	見方・考え方が深まる	4.01	3.96	4.05	4.14
2-(14)	満足度	4.16	4.04	4.16	4.17

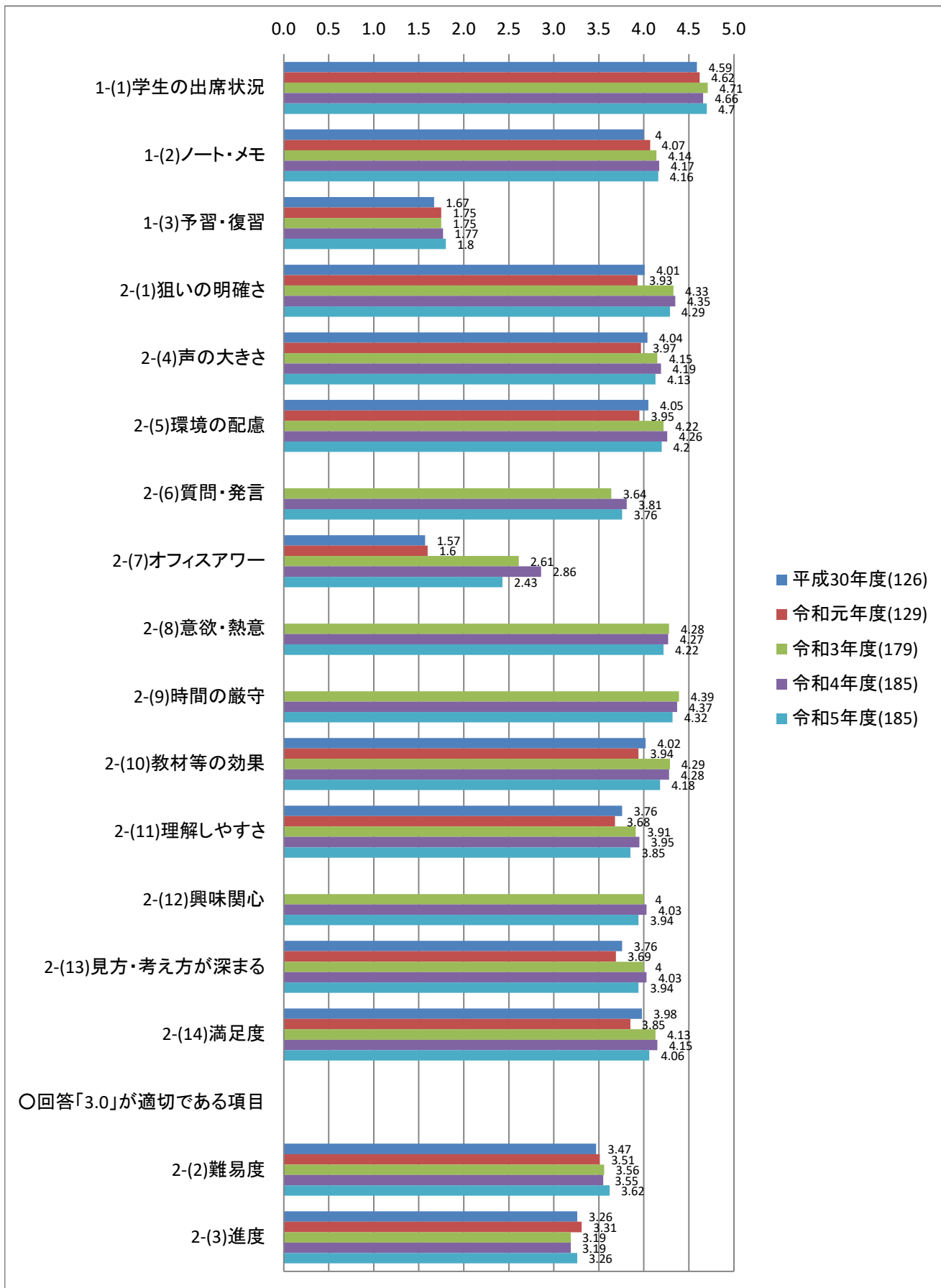
4. 設問項目ごとの集計結果（年度比較）

（1）学科目別平均値

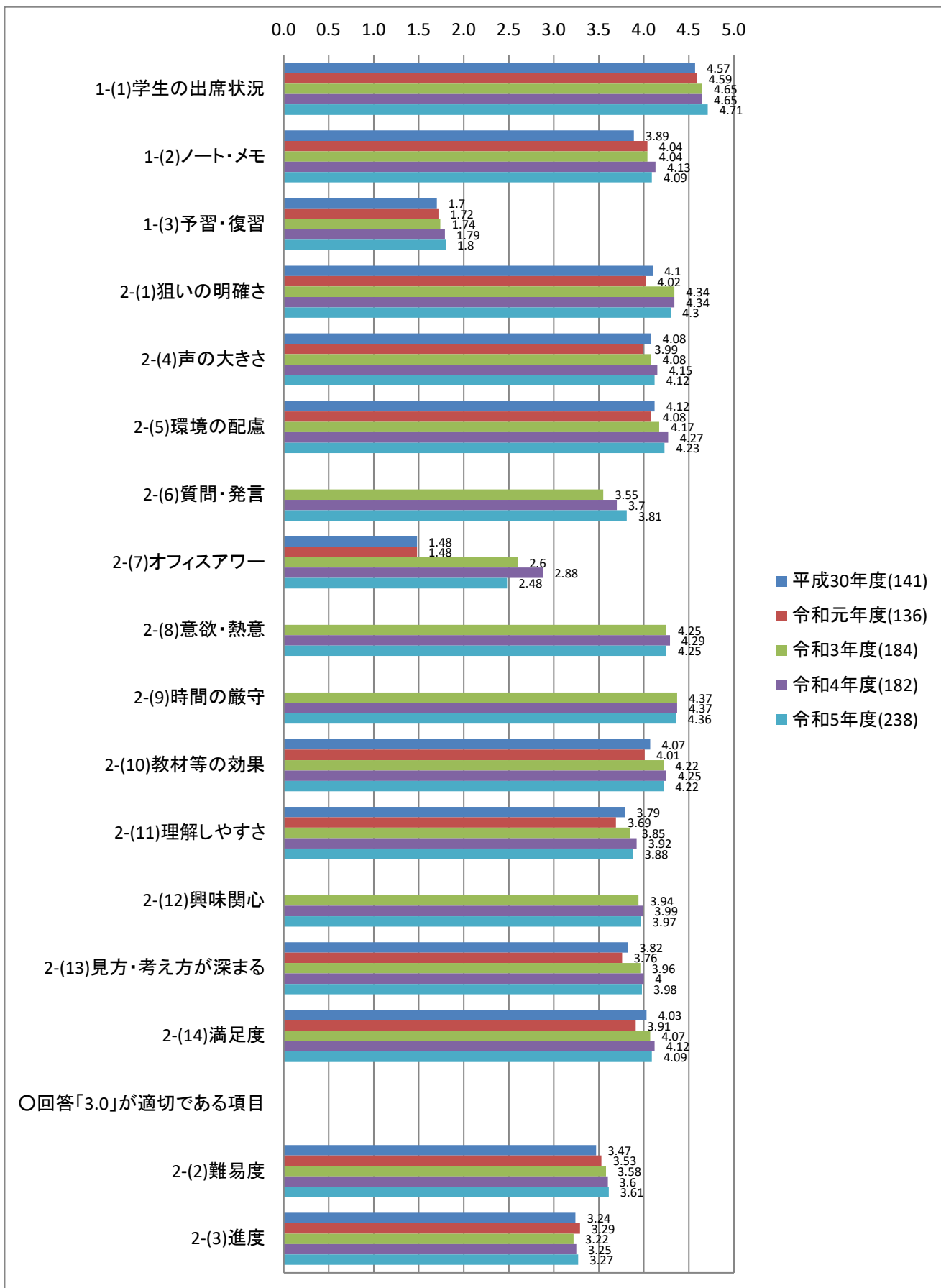
①商学部初期教育科目



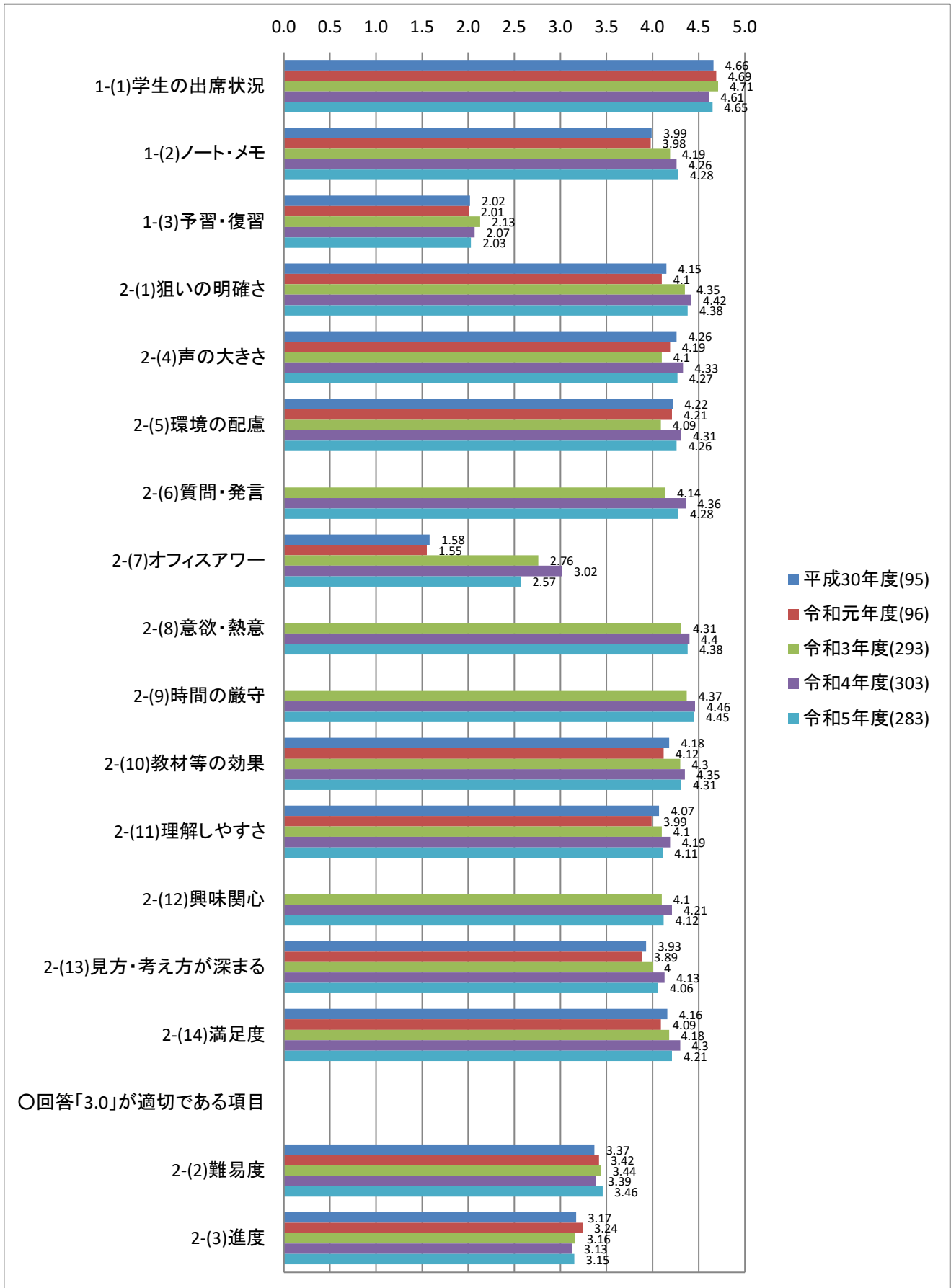
②商学部専門科目



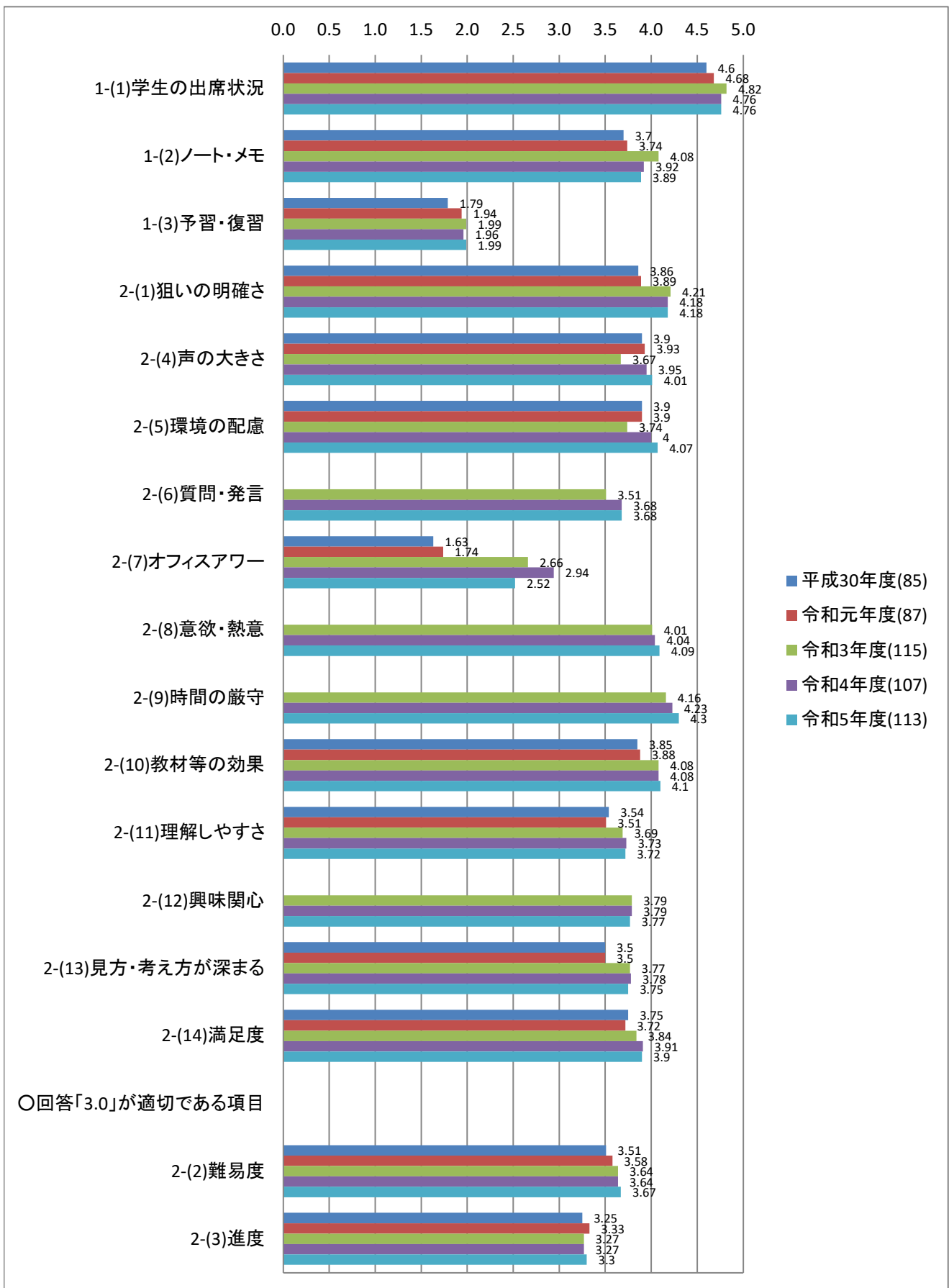
③政経学部専門科目



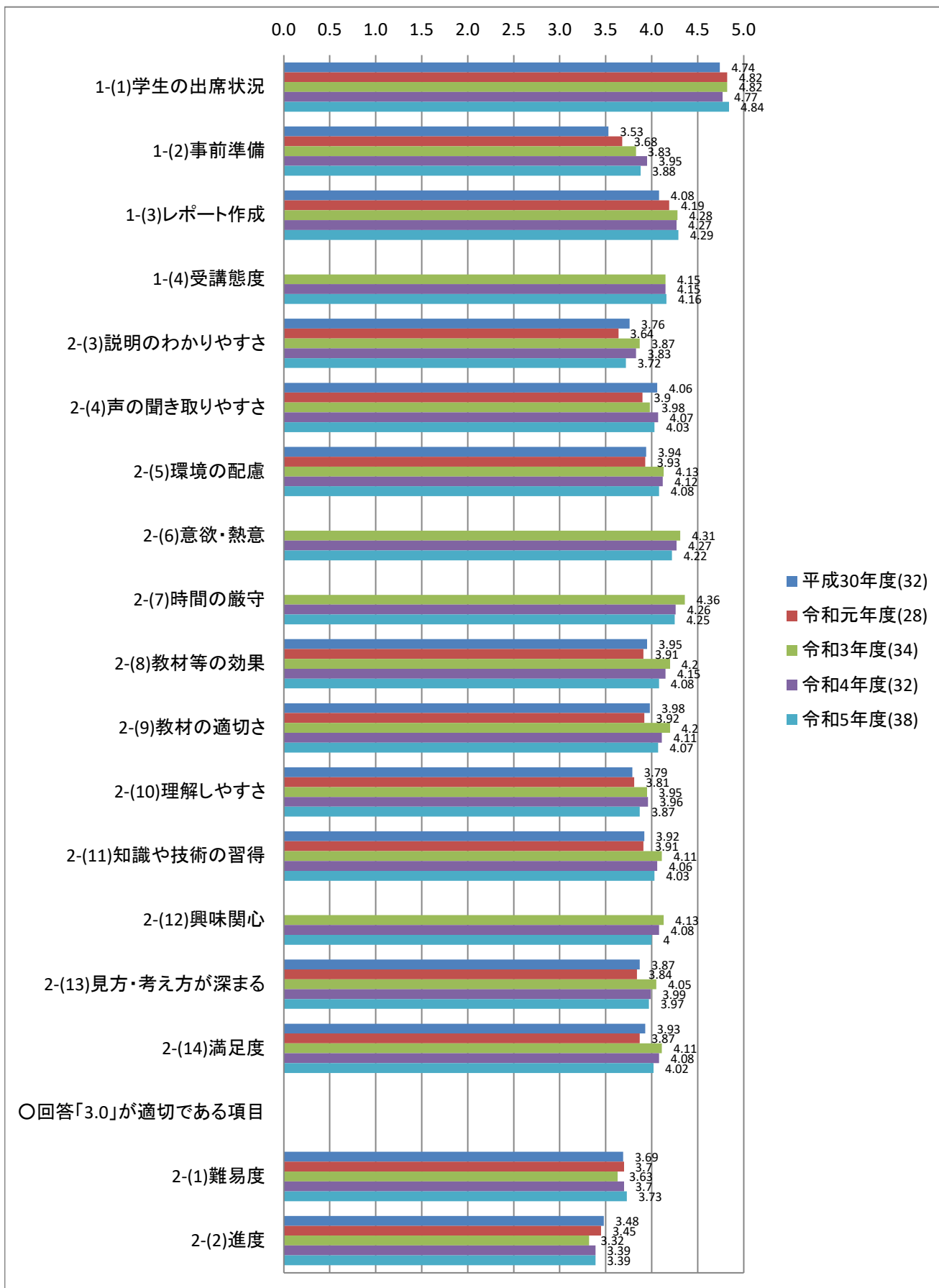
④外国語学部専門科目



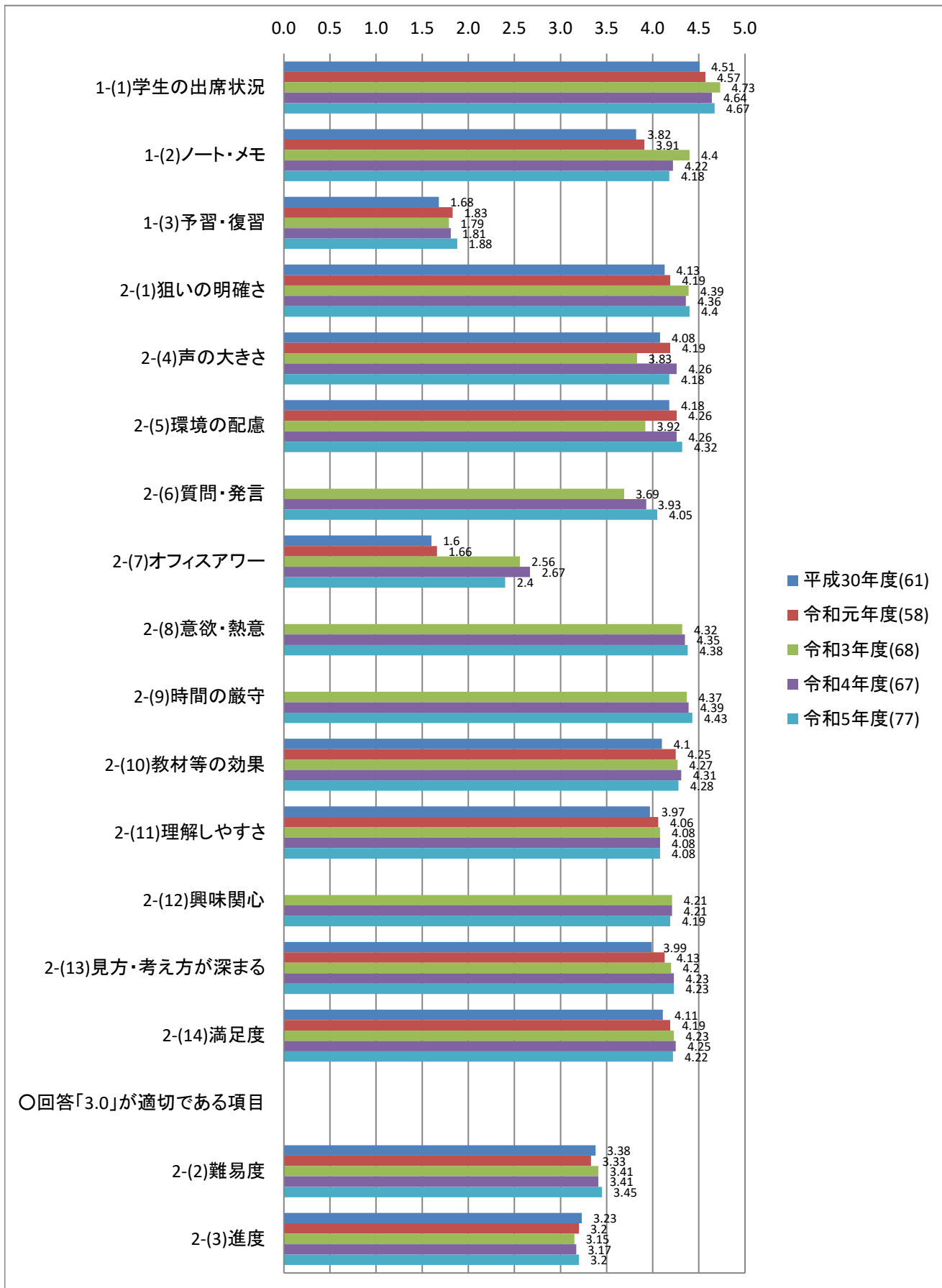
⑤工学部専門科目
・講義等科目



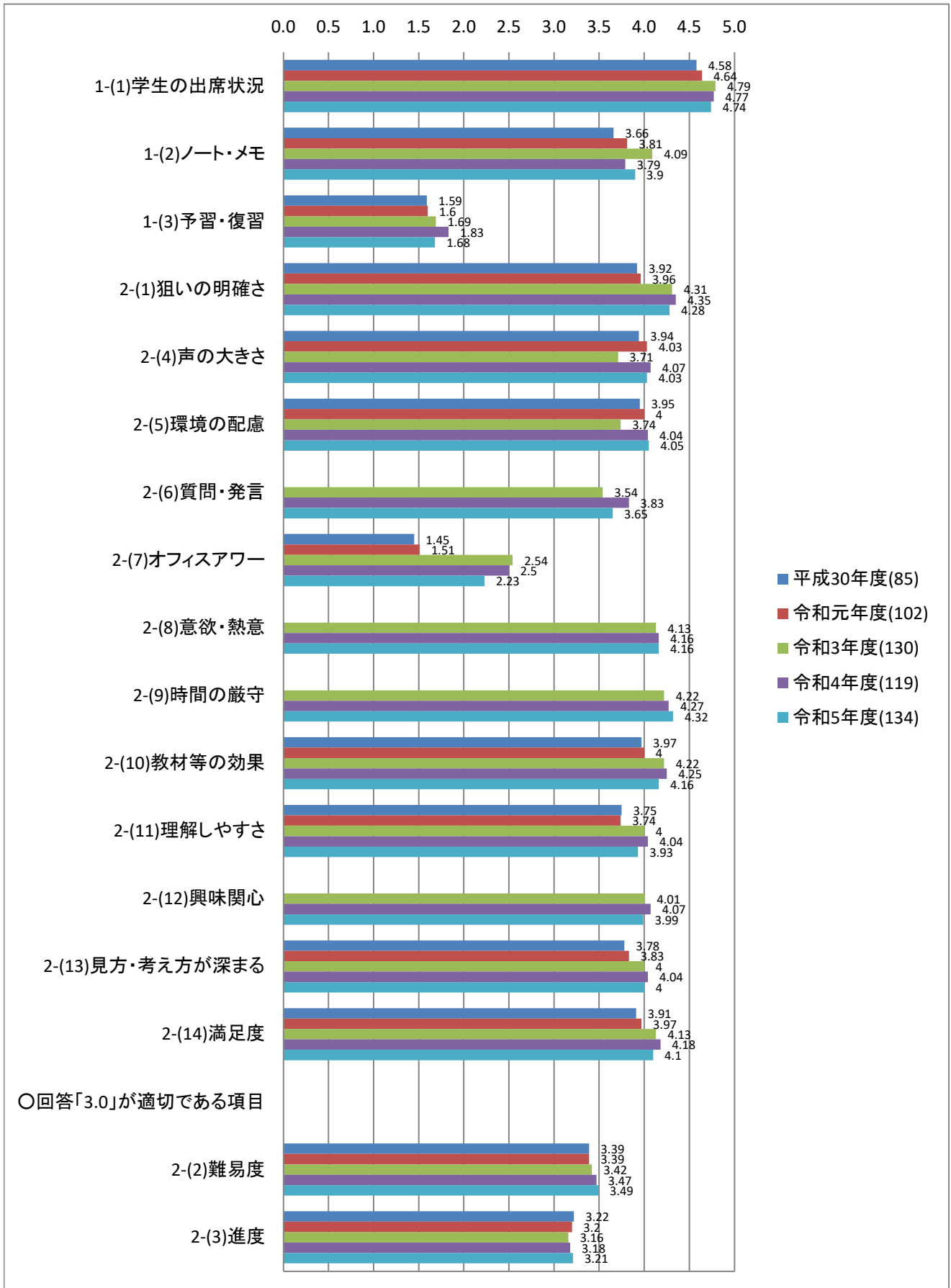
・工学部 実験・実習科目



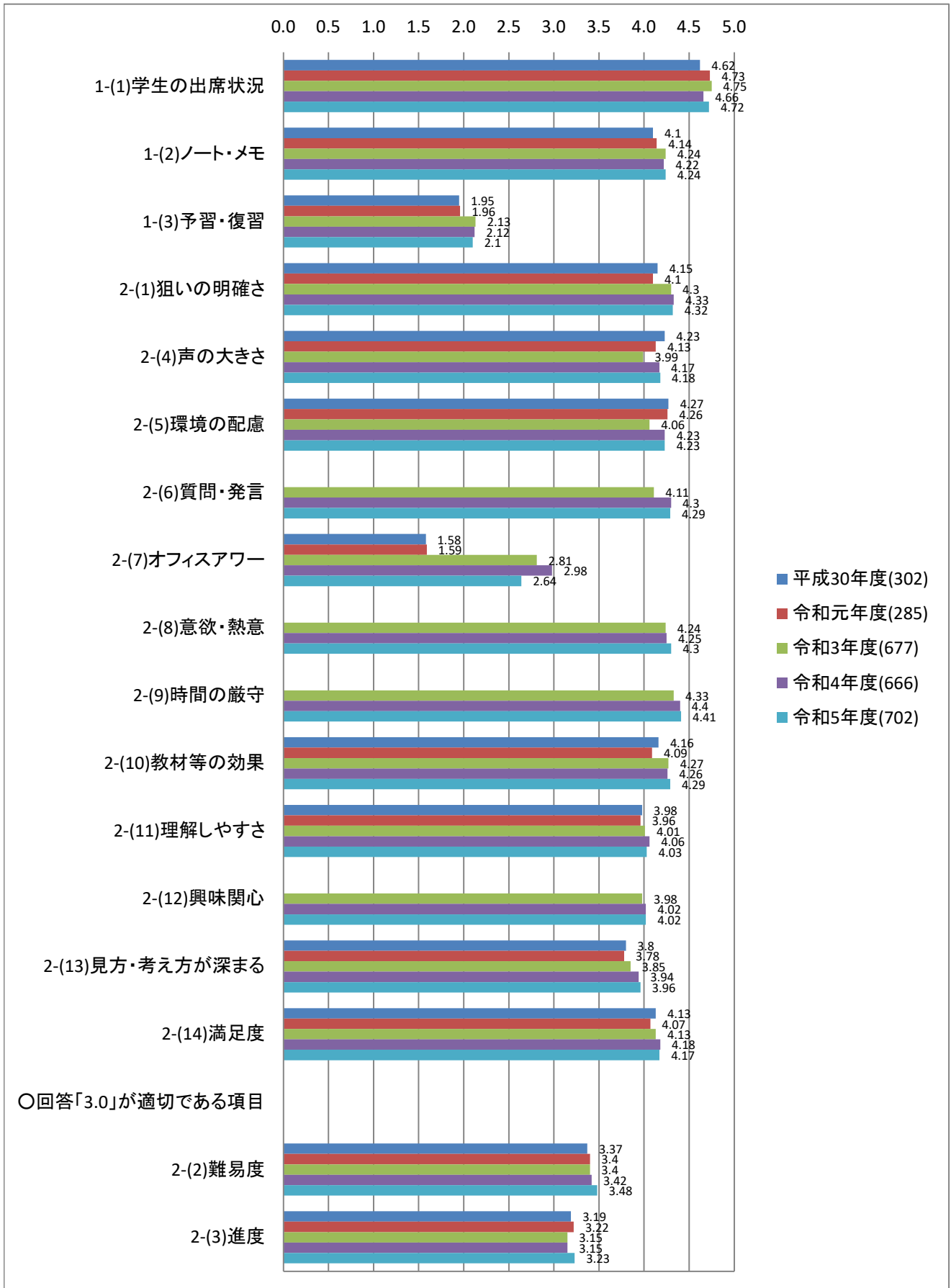
⑥国際学部専門科目



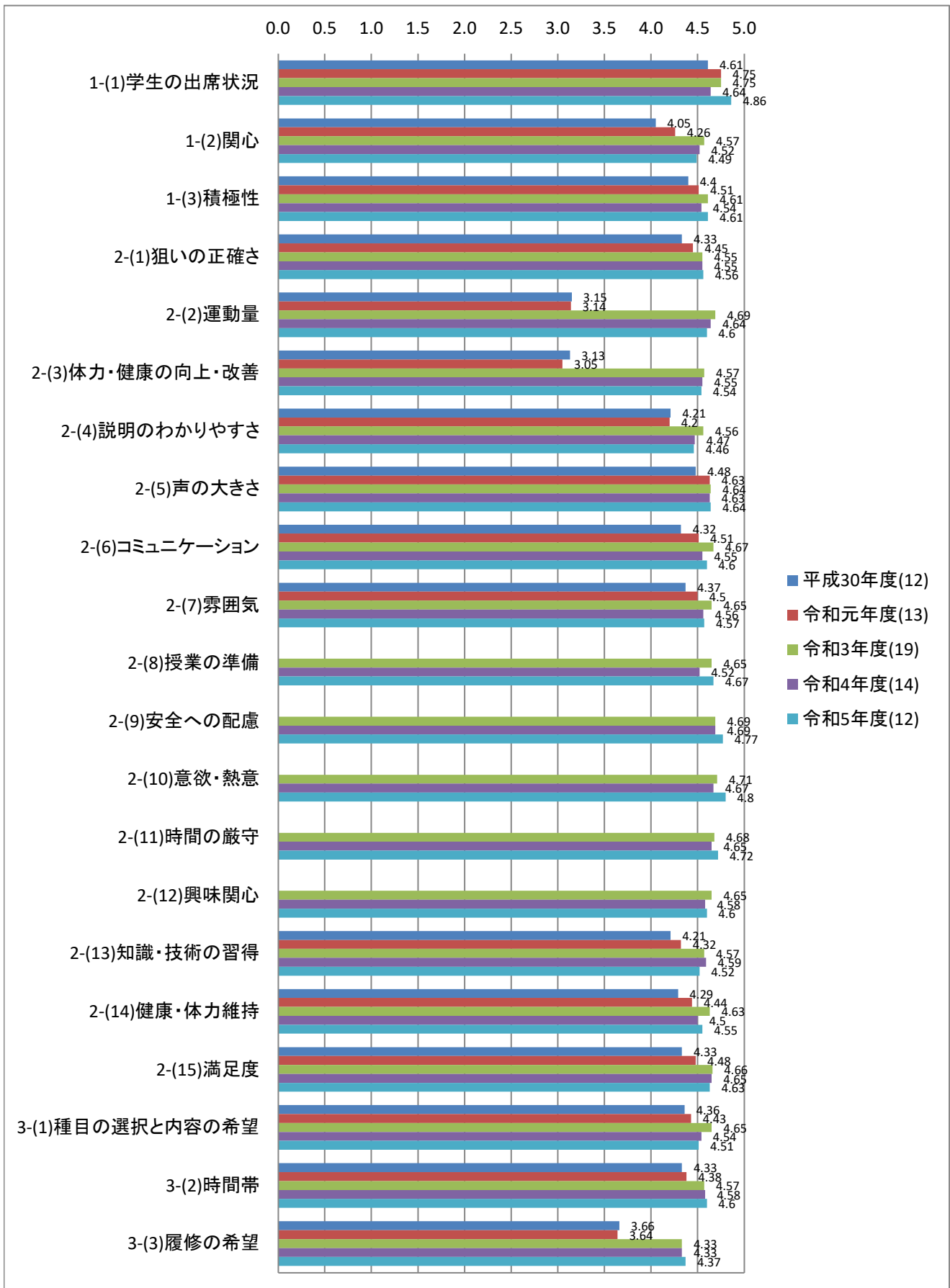
⑦教養教育科目／総合教育科目



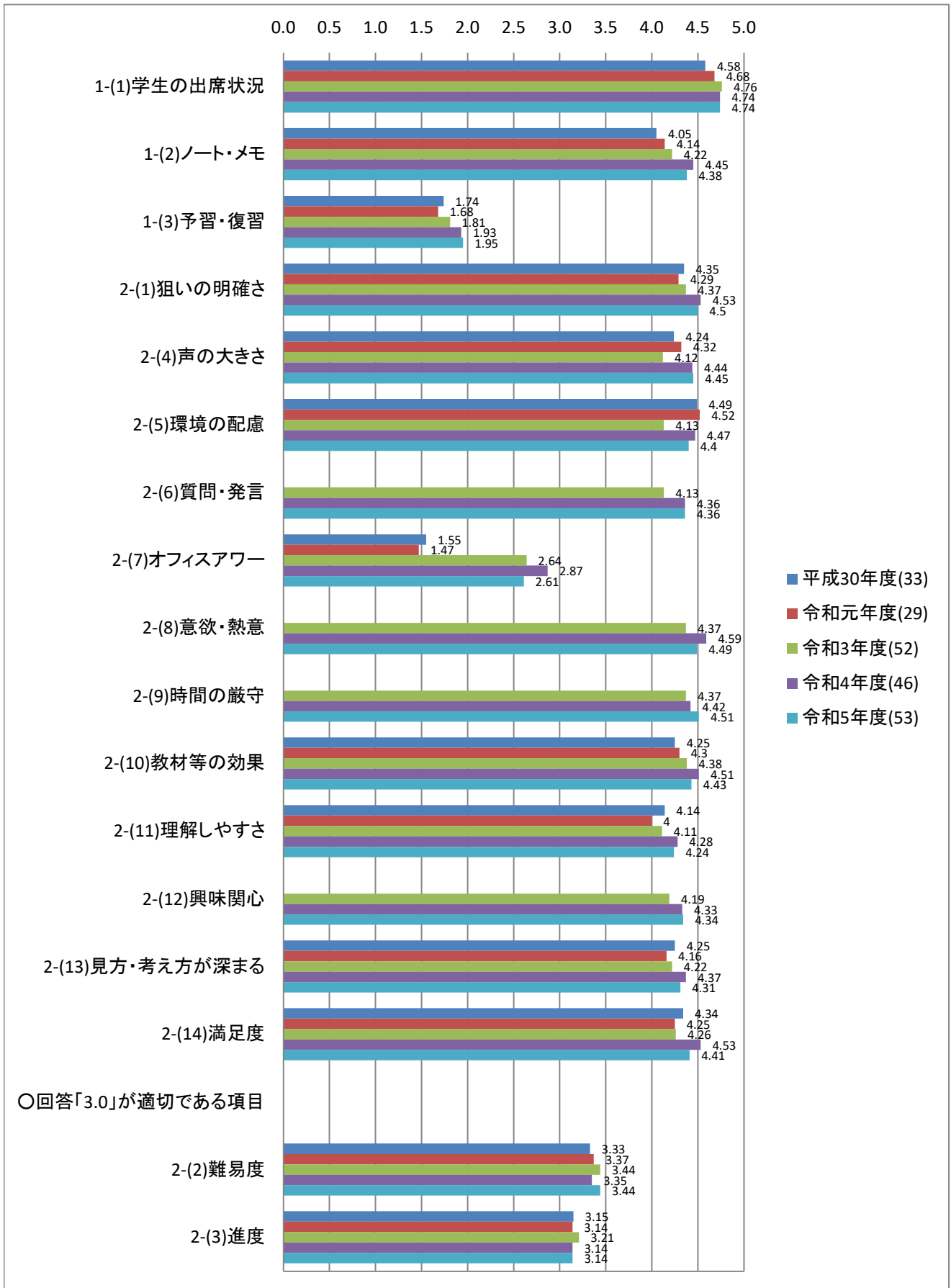
⑧外国語科目



⑨スポーツ・トレーニング科目



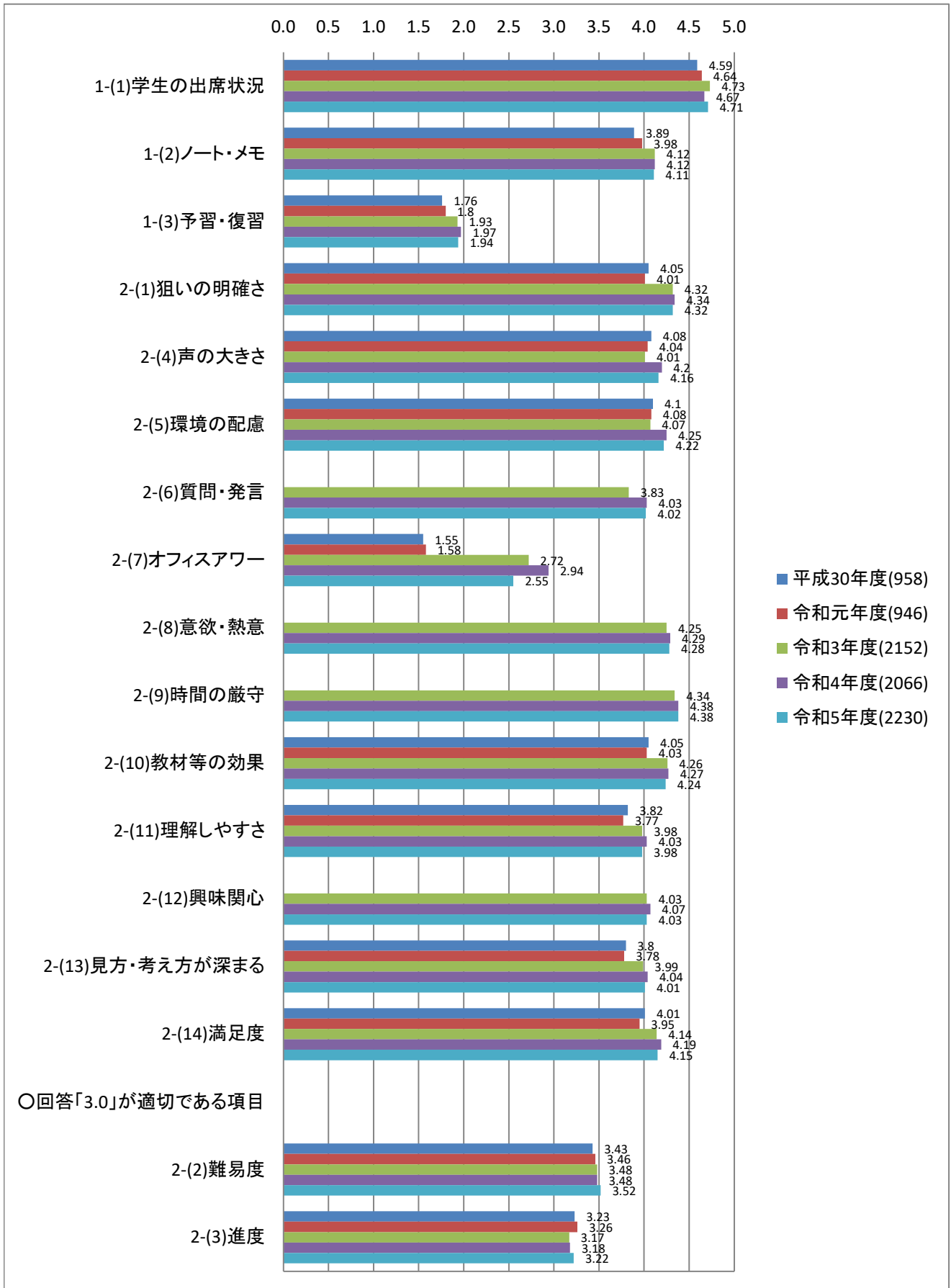
⑩教職・日本語科目



⑪ゼミ・外書講読科目



⑫全体（講義等科目）



(2) 学生所属別平均値・標準偏差 (講義科目)

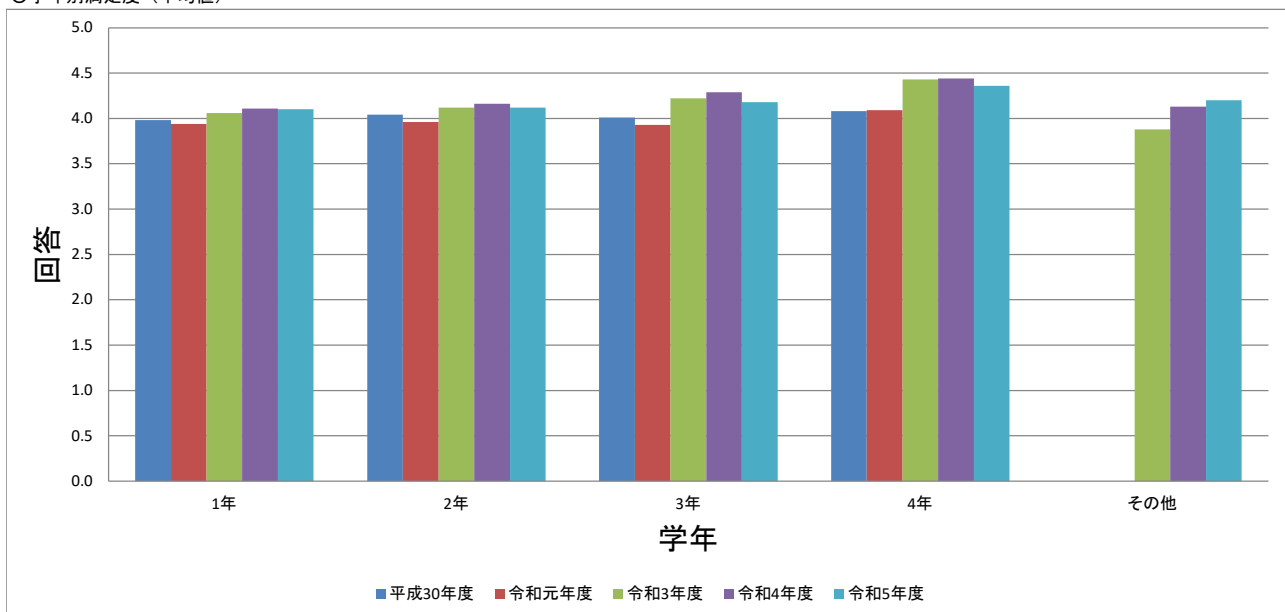
① 学年別

設問項目	区分	1年	2年	3年	4年	その他
		回答件数: (16560)	回答件数: (13971)	回答件数: (8655)	回答件数: (3760)	回答件数: (55)
1-(1) 学生の出席状況	平均値	4.79	4.70	4.68	4.51	4.40
	標準偏差	0.52	0.58	0.62	0.74	0.65
1-(2) ノート・メモ	平均値	4.03	4.17	4.15	4.13	3.96
	標準偏差	0.98	0.86	0.89	0.92	1.11
1-(3) 予習・復習	平均値	1.85	1.97	2.01	2.04	2.04
	標準偏差	0.99	1.03	1.11	1.09	1.04
2-(1) 狙いの明確さ	平均値	4.28	4.32	4.33	4.45	4.31
	標準偏差	0.71	0.69	0.67	0.63	0.87
2-(4) 声の大きさ	平均値	4.09	4.17	4.22	4.32	4.32
	標準偏差	0.88	0.85	0.79	0.81	0.93
2-(5) 環境の配慮	平均値	4.17	4.23	4.25	4.34	4.23
	標準偏差	0.78	0.75	0.74	0.73	0.89
2-(6) 質問・発言	平均値	3.97	4.07	4.00	4.06	4.09
	標準偏差	0.96	0.91	0.97	1.01	0.87
2-(7) オフィスアワー	平均値	2.42	2.61	2.63	2.68	2.53
	標準偏差	1.32	1.29	1.30	1.34	1.09
2-(8) 意欲・熱意	平均値	4.22	4.28	4.32	4.40	4.49
	標準偏差	0.75	0.74	0.71	0.70	0.76
2-(9) 時間の厳守	平均値	4.35	4.38	4.38	4.48	4.44
	標準偏差	0.70	0.69	0.71	0.69	0.89
2-(10) 教材等の効果	平均値	4.21	4.25	4.26	4.34	4.24
	標準偏差	0.79	0.77	0.77	0.76	0.93
2-(11) 理解しやすさ	平均値	3.92	3.96	4.02	4.18	4.05
	標準偏差	0.89	0.87	0.82	0.76	0.96
2-(12) 興味関心	平均値	3.97	3.99	4.10	4.24	3.93
	標準偏差	0.91	0.90	0.84	0.80	1.09
2-(13) 見方・考え方が深まる	平均値	3.94	3.98	4.09	4.23	3.98
	標準偏差	0.89	0.88	0.83	0.78	0.94
2-(14) 満足度	平均値	4.10	4.12	4.18	4.36	4.20
	標準偏差	0.85	0.84	0.80	0.75	0.94

○3の回答が適切である項目

2-(2) 難易度	平均値	3.53	3.56	3.51	3.38	3.38
	標準偏差	0.77	0.72	0.69	0.65	0.59
2-(3) 進度	平均値	3.27	3.22	3.18	3.11	3.11
	標準偏差	0.63	0.58	0.53	0.45	0.41

○学年別満足度 (平均値)



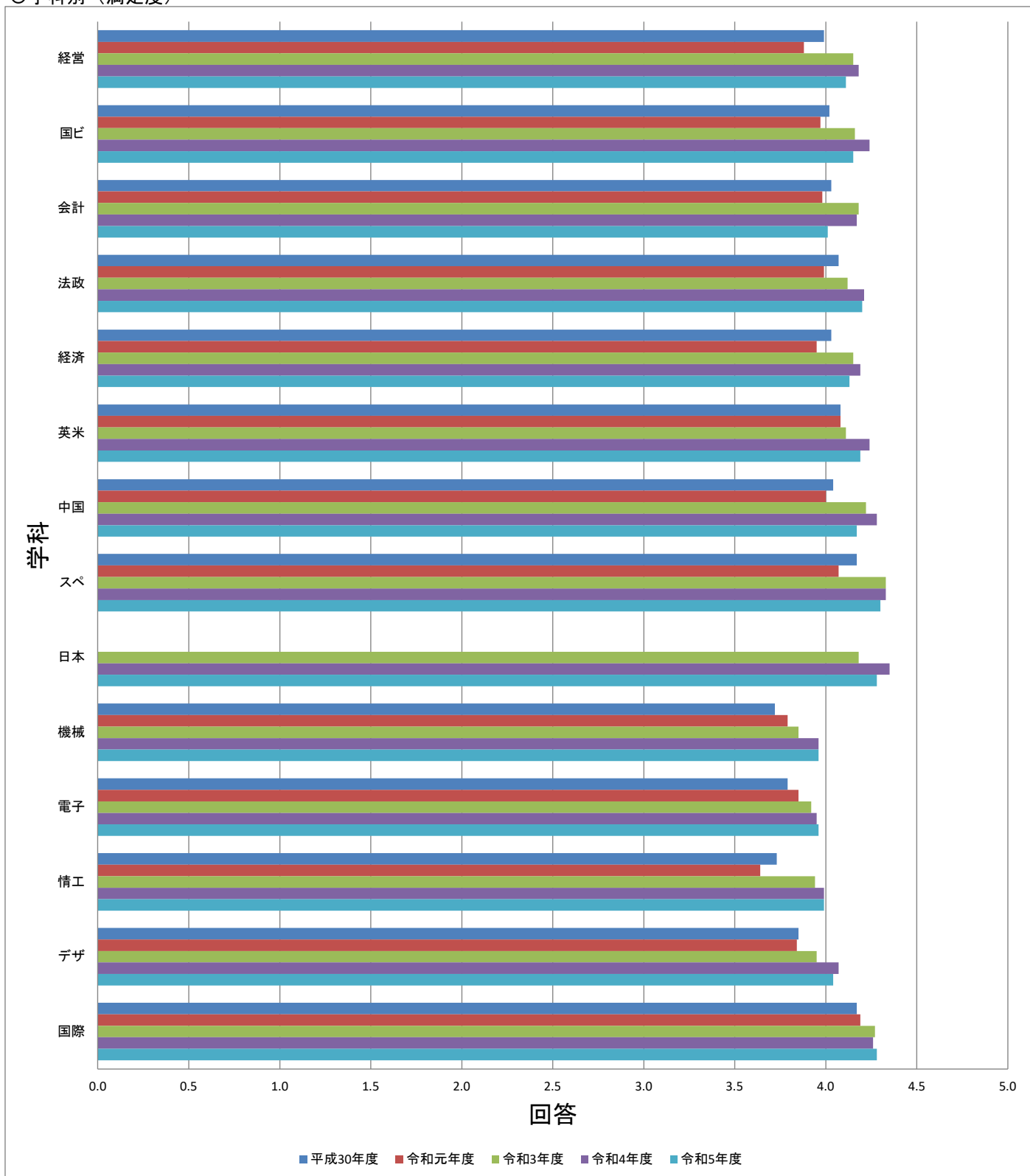
②学科別

設問項目	区分	商学部			政経学部		外国語学部				工学部				国際学部
		経営学科	国際ビジネス学科	会計学科	法律政治学科	経済学科	英米語学科	中国語学科	スペイン語学科	国際日本語学科	機械システム工学科	電子システム工学科	情報工学科	デザイン学科	国際学科
		回答件数: (8125)	回答件数: (2914)	回答件数: (1467)	回答件数: (5081)	回答件数: (9733)	回答件数: (2147)	回答件数: (848)	回答件数: (713)	回答件数: (991)	回答件数: (1319)	回答件数: (1235)	回答件数: (1624)	回答件数: (932)	回答件数: (5872)
1-(1) 学生の出席状況	平均値	4.72	4.70	4.78	4.72	4.72	4.68	4.71	4.53	4.70	4.77	4.79	4.80	4.67	4.67
	標準偏差	0.58	0.59	0.54	0.60	0.59	0.58	0.60	0.73	0.56	0.52	0.51	0.50	0.57	0.63
1-(2) ノート・メモ	平均値	4.10	4.20	4.02	4.15	4.13	4.14	4.31	4.26	4.17	3.97	3.98	3.75	3.95	4.14
	標準偏差	0.92	0.89	1.01	0.90	0.91	0.89	0.81	0.85	0.81	0.95	0.98	1.04	0.97	0.92
1-(3) 予習・復習	平均値	1.92	1.92	1.73	1.88	1.97	1.88	2.07	2.04	2.13	1.89	1.97	1.81	2.12	2.00
	標準偏差	1.05	1.03	0.96	1.03	1.06	0.99	1.07	1.00	1.03	0.99	1.04	0.94	1.07	1.08
2-(1) 狙いの明確さ	平均値	4.30	4.34	4.23	4.33	4.33	4.36	4.36	4.42	4.35	4.17	4.18	4.21	4.27	4.39
	標準偏差	0.69	0.72	0.71	0.71	0.67	0.67	0.67	0.61	0.63	0.70	0.74	0.68	0.64	0.68
2-(4) 声の大きさ	平均値	4.13	4.17	4.05	4.20	4.15	4.25	4.16	4.34	4.31	4.06	4.05	4.02	4.08	4.22
	標準偏差	0.84	0.89	0.89	0.85	0.85	0.83	0.84	0.76	0.70	0.82	0.84	0.91	0.84	0.83
2-(5) 環境の配慮	平均値	4.19	4.26	4.13	4.27	4.23	4.22	4.22	4.38	4.25	4.09	4.06	4.09	4.13	4.29
	標準偏差	0.76	0.80	0.84	0.76	0.75	0.78	0.69	0.67	0.67	0.78	0.79	0.75	0.74	0.75
2-(6) 質問・発言	平均値	3.98	4.03	3.83	4.00	3.99	4.17	4.28	4.32	4.25	3.76	3.80	3.83	3.99	4.17
	標準偏差	0.95	0.99	1.02	0.98	0.95	0.93	0.74	0.78	0.80	1.00	0.95	1.02	0.94	0.89
2-(7) オフィスアワー	平均値	2.57	2.60	2.27	2.46	2.59	2.29	2.89	2.52	2.76	2.66	2.57	2.29	2.44	2.62
	標準偏差	1.31	1.32	1.26	1.28	1.32	1.30	1.27	1.27	1.27	1.26	1.25	1.26	1.24	1.36
2-(8) 意欲・熱意	平均値	4.24	4.29	4.17	4.31	4.28	4.32	4.39	4.38	4.37	4.11	4.16	4.10	4.15	4.38
	標準偏差	0.74	0.77	0.76	0.72	0.73	0.75	0.69	0.67	0.64	0.74	0.73	0.74	0.73	0.73
2-(9) 時間の厳守	平均値	4.34	4.42	4.34	4.38	4.38	4.42	4.42	4.50	4.43	4.28	4.29	4.32	4.34	4.44
	標準偏差	0.70	0.71	0.71	0.75	0.70	0.69	0.61	0.61	0.64	0.73	0.75	0.65	0.70	0.67
2-(10) 教材等の効果	平均値	4.20	4.26	4.19	4.29	4.24	4.26	4.28	4.37	4.33	4.07	4.15	4.14	4.18	4.32
	標準偏差	0.79	0.82	0.77	0.76	0.78	0.77	0.72	0.66	0.71	0.86	0.81	0.81	0.77	0.75
2-(11) 理解しやすさ	平均値	3.95	4.00	3.81	3.99	3.94	4.07	4.08	4.11	4.18	3.75	3.82	3.81	3.93	4.15
	標準偏差	0.85	0.91	0.92	0.84	0.88	0.82	0.81	0.76	0.71	0.91	0.87	0.95	0.83	0.80
2-(12) 興味関心	平均値	3.98	4.06	3.89	4.08	4.00	4.10	4.02	4.17	4.24	3.77	3.82	3.83	3.90	4.20
	標準偏差	0.88	0.95	0.90	0.88	0.89	0.88	0.88	0.76	0.71	0.92	0.94	0.91	0.90	0.84
2-(13) 見方・考え方が深まる	平均値	3.97	4.04	3.89	4.05	4.00	4.03	3.97	4.04	4.23	3.77	3.75	3.81	3.90	4.18
	標準偏差	0.85	0.90	0.88	0.87	0.86	0.88	0.86	0.82	0.71	0.91	0.92	0.93	0.90	0.82
2-(14) 満足度	平均値	4.11	4.15	4.01	4.20	4.13	4.19	4.17	4.30	4.28	3.96	3.96	3.99	4.04	4.28
	標準偏差	0.82	0.89	0.86	0.82	0.83	0.83	0.81	0.71	0.69	0.85	0.86	0.87	0.85	0.80

○3の回答が適切である項目

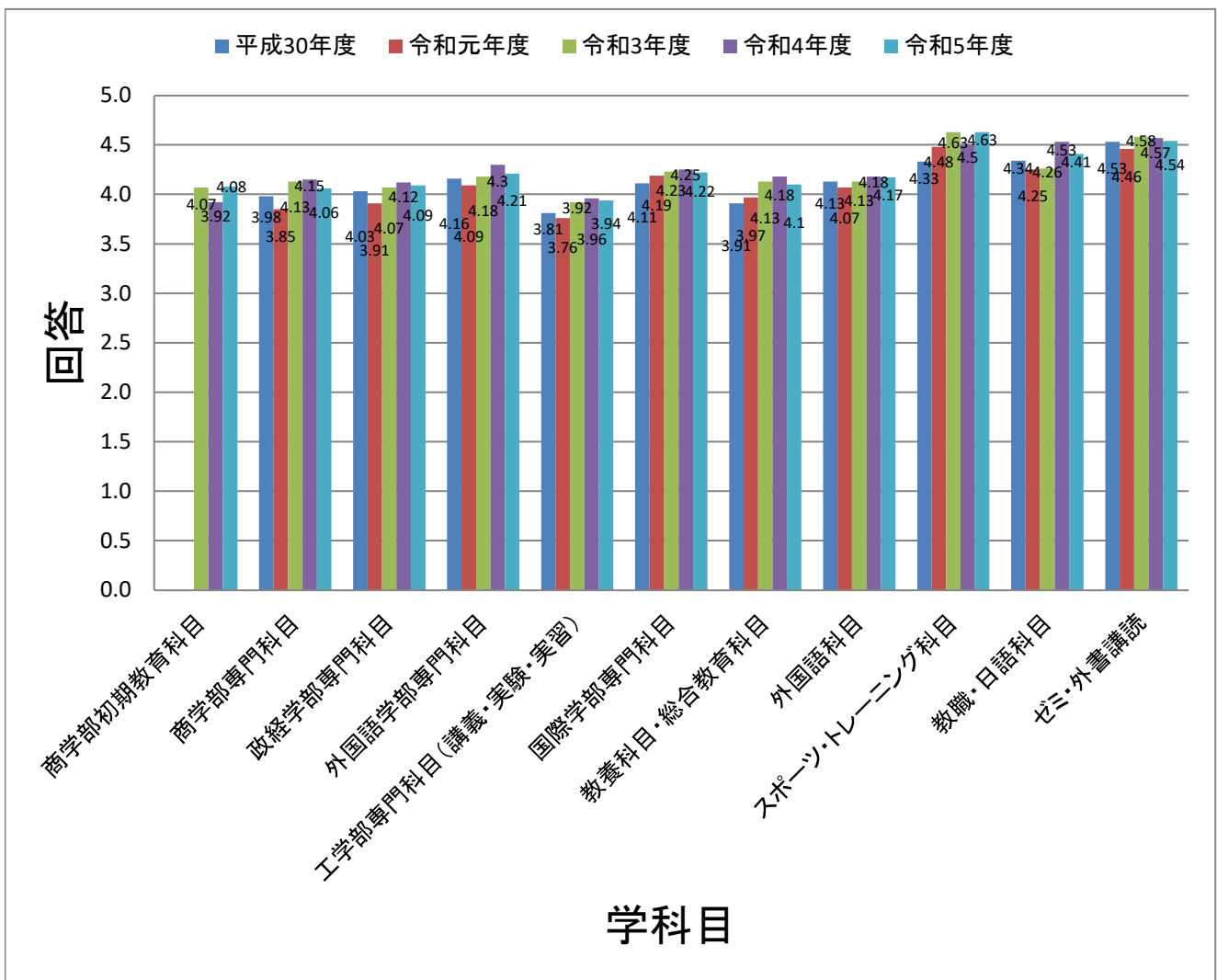
2-(2) 難易度	平均値	3.55	3.53	3.53	3.52	3.59	3.44	3.48	3.46	3.43	3.53	3.56	3.52	3.51	3.40
	標準偏差	0.72	0.76	0.75	0.71	0.75	0.70	0.70	0.65	0.66	0.77	0.79	0.82	0.73	0.68
2-(3) 進捗	平均値	3.25	3.22	3.25	3.17	3.28	3.15	3.19	3.12	3.12	3.22	3.24	3.24	3.27	3.19
	標準偏差	0.58	0.59	0.61	0.56	0.60	0.54	0.55	0.50	0.43	0.61	0.66	0.62	0.61	0.54

○学科別（満足度）



	経営学科	国際ビジネス学科	会計学科	法律政治学科	経済学科	英米語学科	中国語学科	スペイン語学科	国際日本語学科	機械システム工学科	電子システム工学科	情報工学科	デザイン学科	国際学科
平成30年度	3.99	4.02	4.03	4.07	4.03	4.08	4.04	4.17	0.00	3.72	3.79	3.73	3.85	4.17
令和元年度	3.88	3.97	3.98	3.99	3.95	4.08	4.00	4.07	0.00	3.79	3.85	3.64	3.84	4.19
令和3年度	4.15	4.16	4.18	4.12	4.15	4.11	4.22	4.33	4.18	3.85	3.92	3.94	3.95	4.27
令和4年度	4.18	4.24	4.17	4.21	4.19	4.24	4.28	4.33	4.35	3.96	3.95	3.99	4.07	4.26
令和5年度	4.11	4.15	4.01	4.20	4.13	4.19	4.17	4.30	4.28	3.96	3.96	3.99	4.04	4.28

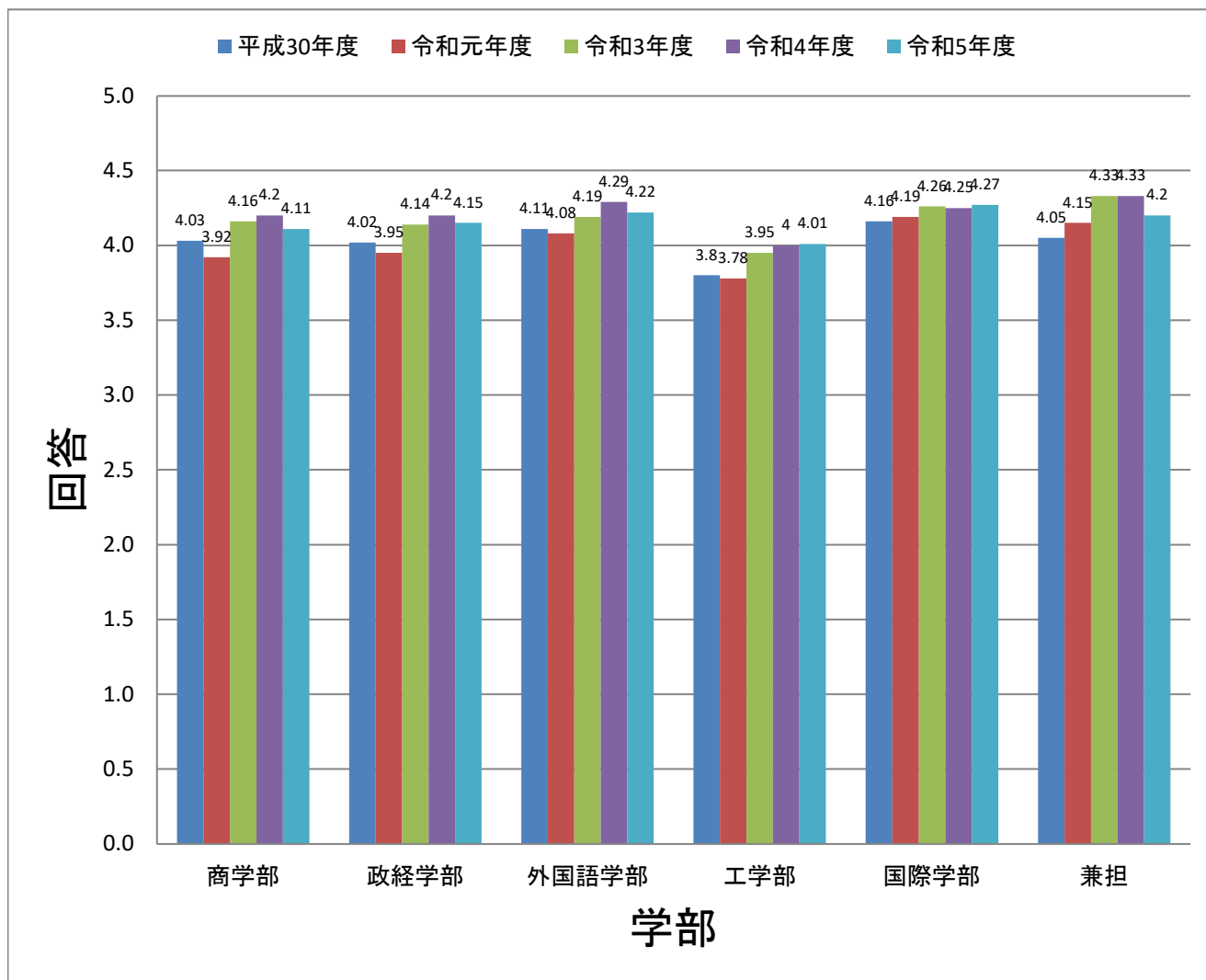
(3) 満足度 平均値
① 学科目別



○ 科目数

平成30年度	0	126	141	95	117	61	85	302	12	33	29
令和元年度	0	129	136	96	115	58	102	285	13	29	24
令和3年度	24	179	184	293	149	68	130	677	19	52	377
令和4年度	24	185	182	303	139	67	119	666	14	46	367
令和5年度	49	185	238	283	151	77	134	702	12	53	396

②所属別

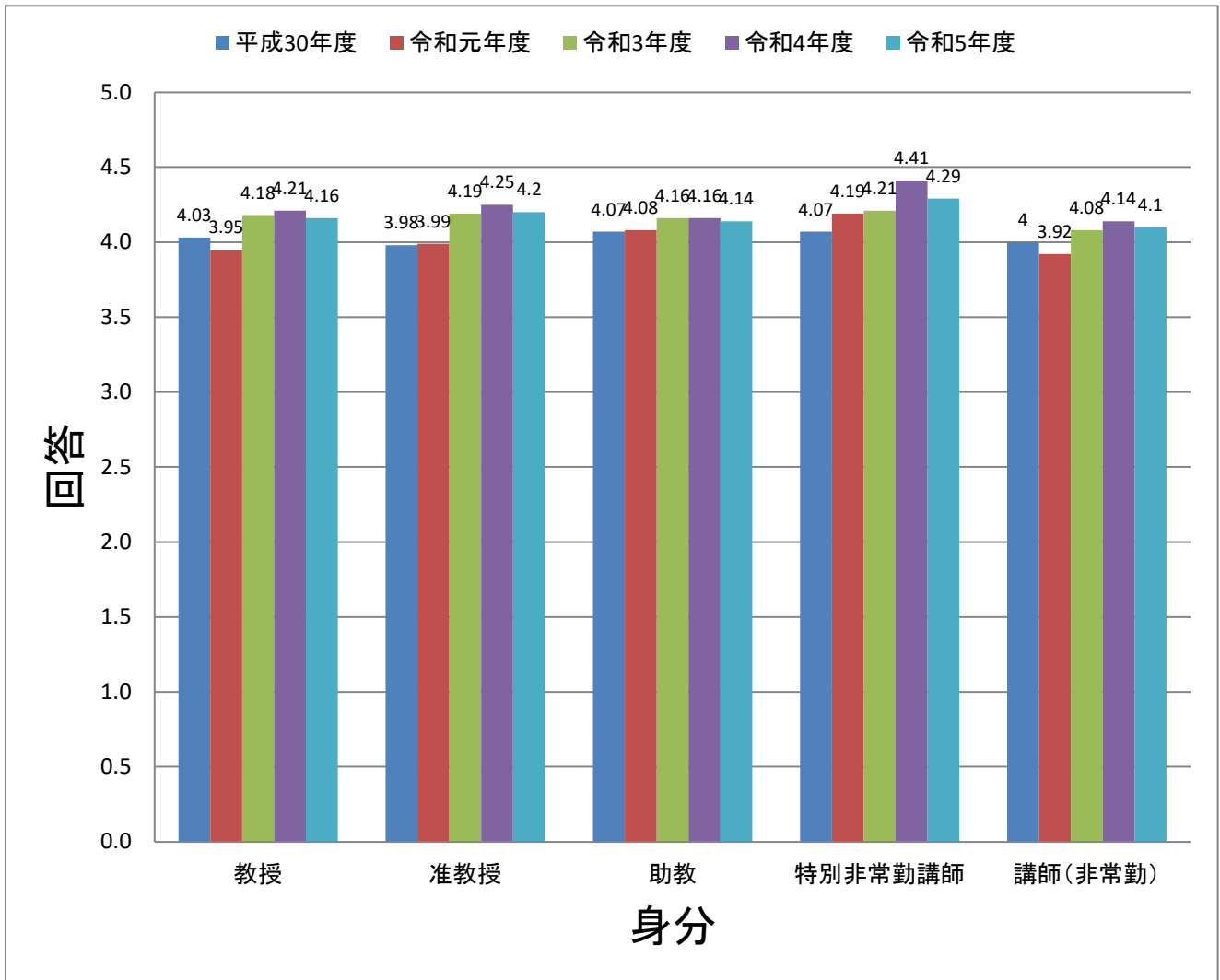


○人数

平成30年度	158	168	84	96	78	18
令和元年度	158	162	85	96	81	17
令和3年度	124	137	90	87	70	20
令和4年度	134	132	89	86	71	17
令和5年度	146	138	88	93	72	19

※講師（非常勤）を含む

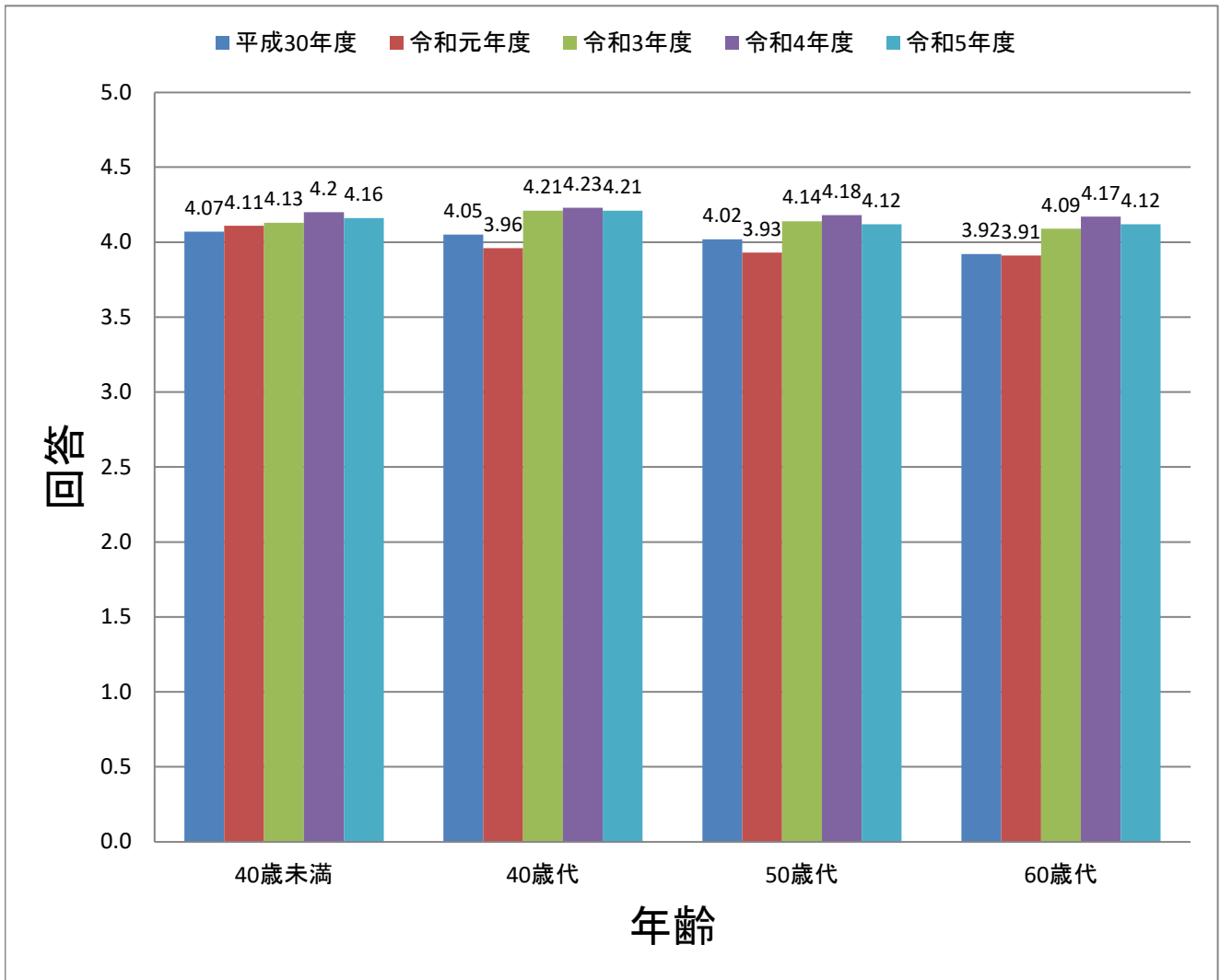
③身分別



○人数

平成30年度	148	62	7	24	361
令和元年度	148	58	10	22	361
令和3年度	155	58	12	15	282
令和4年度	146	64	10	16	289
令和5年度	150	65	14	13	311

④年齢別



○人数

平成30年度	82	148	203	169
令和元年度	66	144	191	198
令和3年度	48	117	181	182
令和4年度	50	114	188	177
令和5年度	53	123	198	182

5. 学科目別 回答の分析

(1) 商学部初期教育科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0.13%	0.39%	5.65%	14.25%	79.59%
1-(2)	13.33%	11.60%	22.67%	35.47%	16.93%
1-(3)	67.14%	18.74%	11.04%	1.54%	1.54%
2-(1)	1.03%	1.54%	8.47%	49.81%	39.15%
2-(2)	2.31%	4.88%	66.62%	19.51%	6.68%
2-(3)	1.16%	2.18%	77.28%	11.94%	7.45%
2-(4)	2.55%	3.76%	9.41%	49.60%	34.68%
2-(5)	1.48%	2.55%	12.37%	51.48%	32.12%
2-(6)	4.72%	4.72%	18.76%	46.15%	25.64%
2-(7)	33.76%	18.74%	20.03%	20.15%	7.32%
2-(8)	1.41%	2.05%	12.58%	52.50%	31.45%
2-(9)	0.81%	2.44%	6.50%	48.64%	41.60%
2-(10)	1.67%	1.93%	12.07%	51.99%	32.35%
2-(11)	2.18%	1.41%	13.61%	51.86%	30.94%
2-(12)	3.72%	3.98%	16.17%	49.68%	26.44%
2-(13)	3.59%	2.82%	18.74%	50.71%	24.13%
2-(14)	2.70%	2.31%	11.17%	51.99%	31.84%

(2) 商学部専門科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0.23%	0.52%	4.54%	18.75%	75.96%
1-(2)	1.93%	3.43%	10.78%	44.13%	39.73%
1-(3)	50.38%	27.46%	15.90%	3.94%	2.34%
2-(1)	0.47%	1.15%	6.99%	52.14%	39.25%
2-(2)	0.32%	1.73%	44.79%	42.05%	11.11%
2-(3)	0.38%	2.20%	72.96%	20.00%	4.45%
2-(4)	1.37%	3.25%	11.80%	48.36%	35.22%
2-(5)	0.96%	1.80%	10.26%	49.86%	37.12%
2-(6)	4.32%	6.08%	22.30%	43.42%	23.87%
2-(7)	34.08%	18.40%	24.64%	16.56%	6.32%
2-(8)	0.78%	1.53%	9.17%	51.84%	36.66%
2-(9)	0.56%	1.47%	6.68%	47.71%	43.59%
2-(10)	1.48%	2.02%	10.13%	49.62%	36.75%
2-(11)	2.25%	5.64%	17.81%	53.69%	20.60%
2-(12)	2.44%	4.24%	15.93%	52.04%	25.35%
2-(13)	2.04%	3.47%	16.36%	54.68%	23.45%
2-(14)	1.68%	3.00%	12.61%	53.29%	29.41%

(3) 政経学部専門科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0.36%	0.48%	4.43%	17.37%	77.36%
1-(2)	2.92%	4.08%	11.91%	43.04%	38.05%
1-(3)	51.04%	26.30%	16.90%	3.38%	2.38%
2-(1)	0.55%	0.83%	7.73%	50.19%	40.70%
2-(2)	0.63%	2.27%	44.32%	40.88%	11.89%
2-(3)	0.35%	2.72%	71.75%	19.94%	5.24%
2-(4)	1.68%	4.55%	11.52%	44.66%	37.59%
2-(5)	0.88%	1.75%	10.61%	47.14%	39.61%
2-(6)	3.50%	5.80%	23.10%	41.04%	26.57%
2-(7)	32.91%	17.49%	25.85%	16.65%	7.10%
2-(8)	0.89%	1.28%	9.29%	48.59%	39.95%
2-(9)	0.76%	1.56%	6.63%	43.39%	47.66%
2-(10)	1.26%	2.01%	10.51%	45.82%	40.40%
2-(11)	1.99%	5.41%	18.52%	50.92%	23.17%
2-(12)	2.25%	4.39%	15.87%	49.08%	28.40%
2-(13)	1.87%	3.58%	16.45%	50.72%	27.38%
2-(14)	1.76%	3.03%	12.40%	49.74%	33.07%

(4) 外国語学部専門科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0.09%	0.31%	6.46%	21.03%	72.10%
1-(2)	1.05%	1.93%	7.51%	47.41%	42.10%
1-(3)	36.87%	32.18%	23.61%	5.25%	2.08%
2-(1)	0.31%	0.59%	5.13%	49.15%	44.83%
2-(2)	0.40%	2.92%	54.24%	35.57%	6.87%
2-(3)	0.37%	3.08%	79.90%	14.26%	2.39%
2-(4)	0.76%	2.69%	9.01%	43.83%	43.70%
2-(5)	0.63%	1.07%	8.49%	51.50%	38.32%
2-(6)	0.90%	2.14%	9.16%	43.76%	44.03%
2-(7)	29.48%	19.14%	24.04%	19.66%	7.67%
2-(8)	0.40%	0.84%	6.34%	45.11%	47.31%
2-(9)	0.37%	0.63%	3.67%	43.99%	51.35%
2-(10)	0.62%	1.46%	6.93%	48.12%	42.87%
2-(11)	1.12%	2.86%	10.62%	54.61%	30.79%
2-(12)	1.34%	2.52%	12.80%	49.74%	33.61%
2-(13)	1.43%	2.58%	15.07%	50.89%	30.04%
2-(14)	0.87%	2.67%	8.73%	49.77%	37.96%

(5) 工学部専門科目（講義科目）

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0.09%	0.25%	4.02%	14.47%	81.16%
1-(2)	3.15%	6.85%	16.28%	44.86%	28.87%
1-(3)	40.31%	31.21%	20.63%	5.15%	2.70%
2-(1)	0.57%	1.10%	10.02%	56.04%	32.28%
2-(2)	0.44%	2.95%	40.41%	41.66%	14.54%
2-(3)	0.44%	3.27%	67.72%	22.54%	6.03%
2-(4)	1.94%	4.78%	13.77%	49.77%	29.75%
2-(5)	1.07%	2.44%	13.26%	54.53%	28.70%
2-(6)	3.52%	8.46%	24.40%	43.47%	20.14%
2-(7)	28.60%	21.29%	24.74%	19.75%	5.62%
2-(8)	0.88%	1.60%	13.34%	55.76%	28.41%
2-(9)	0.60%	1.38%	6.62%	50.50%	40.89%
2-(10)	1.76%	3.01%	11.62%	50.55%	33.06%
2-(11)	3.64%	7.35%	19.28%	53.22%	16.51%
2-(12)	3.23%	5.97%	20.03%	51.93%	18.84%
2-(13)	3.23%	5.37%	22.26%	51.18%	17.96%
2-(14)	2.61%	4.11%	16.39%	54.79%	22.10%

(6) 工学部専門科目（実験・実習科目）

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0.07%	0.07%	2.55%	10.21%	87.11%
1-(2)	3.80%	6.41%	17.34%	42.87%	29.58%
1-(3)	0.59%	0.79%	9.69%	46.47%	42.47%
1-(4)	0.26%	1.44%	17.34%	44.44%	36.52%
2-(1)	0.52%	1.57%	35.80%	48.17%	13.94%
2-(2)	0.85%	2.62%	60.21%	29.19%	7.13%
2-(3)	2.42%	7.46%	23.04%	49.54%	17.54%
2-(4)	0.96%	3.89%	13.59%	54.37%	27.19%
2-(5)	0.68%	2.05%	13.30%	56.34%	27.63%
2-(6)	0.46%	0.85%	10.93%	51.64%	36.13%
2-(7)	0.41%	2.19%	7.59%	51.13%	38.69%
2-(8)	0.92%	3.34%	13.42%	51.31%	31.02%
2-(9)	0.92%	2.55%	12.76%	55.82%	27.95%
2-(10)	1.64%	4.91%	17.21%	57.26%	18.98%
2-(11)	1.18%	2.88%	12.89%	58.05%	25.00%
2-(12)	1.70%	3.01%	15.58%	52.55%	27.16%
2-(13)	1.64%	3.40%	16.43%	53.80%	24.74%
2-(14)	1.77%	3.80%	13.09%	53.40%	27.95%

(7) 国際学部専門科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0.23%	0.47%	4.87%	20.94%	73.49%
1-(2)	1.92%	3.42%	12.29%	39.73%	42.63%
1-(3)	46.84%	28.71%	16.81%	4.59%	3.04%
2-(1)	0.42%	0.56%	6.32%	44.40%	48.29%
2-(2)	0.33%	1.55%	59.20%	30.96%	7.96%
2-(3)	0.33%	1.59%	79.30%	15.60%	3.19%
2-(4)	1.59%	3.84%	10.76%	42.76%	41.05%
2-(5)	0.73%	1.23%	8.43%	44.33%	45.28%
2-(6)	2.86%	4.37%	15.90%	39.08%	37.79%
2-(7)	36.35%	17.00%	24.68%	14.61%	7.35%
2-(8)	0.75%	1.08%	6.60%	42.53%	49.04%
2-(9)	0.34%	1.17%	5.36%	41.23%	51.90%
2-(10)	1.26%	1.83%	9.37%	42.44%	45.11%
2-(11)	1.22%	4.26%	11.38%	51.33%	31.80%
2-(12)	1.87%	3.33%	9.46%	44.64%	40.70%
2-(13)	1.22%	2.34%	9.23%	46.79%	40.42%
2-(14)	1.45%	2.86%	8.67%	46.00%	41.03%

(8) 教養教育科目／総合教育科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0.11%	0.18%	4.24%	16.24%	79.23%
1-(2)	4.13%	5.55%	15.63%	45.75%	28.94%
1-(3)	56.68%	25.95%	12.65%	2.58%	2.13%
2-(1)	0.63%	0.61%	7.60%	52.80%	38.36%
2-(2)	0.61%	2.36%	52.67%	36.14%	8.23%
2-(3)	0.34%	2.38%	76.99%	16.24%	4.06%
2-(4)	1.26%	4.06%	14.81%	50.49%	29.38%
2-(5)	1.36%	3.59%	14.03%	50.72%	30.30%
2-(6)	5.46%	8.49%	22.42%	42.97%	20.66%
2-(7)	40.85%	18.39%	22.59%	13.06%	5.11%
2-(8)	0.76%	1.46%	11.91%	52.74%	33.13%
2-(9)	0.49%	1.10%	6.79%	49.57%	42.04%
2-(10)	1.17%	1.95%	11.62%	49.93%	35.33%
2-(11)	1.59%	4.28%	16.17%	55.65%	22.30%
2-(12)	2.09%	3.59%	15.41%	50.99%	27.93%
2-(13)	1.86%	3.12%	15.23%	52.27%	27.52%
2-(14)	1.32%	2.65%	11.48%	53.45%	31.09%

(9) 外国語科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0.11%	0.34%	4.55%	17.26%	77.73%
1-(2)	1.21%	2.12%	8.76%	47.05%	40.86%
1-(3)	34.45%	32.41%	25.13%	4.93%	3.09%
2-(1)	0.64%	0.88%	6.81%	48.90%	42.77%
2-(2)	0.93%	3.57%	51.17%	34.78%	9.55%
2-(3)	0.59%	2.64%	74.81%	17.57%	4.39%
2-(4)	1.33%	2.78%	10.68%	47.20%	38.01%
2-(5)	0.73%	1.43%	9.89%	50.15%	37.79%
2-(6)	0.64%	1.49%	8.97%	45.94%	42.96%
2-(7)	28.03%	18.83%	23.57%	20.42%	9.15%
2-(8)	0.77%	1.23%	7.99%	47.07%	42.94%
2-(9)	0.45%	0.92%	5.06%	43.99%	49.59%
2-(10)	0.83%	1.40%	7.84%	48.03%	41.90%
2-(11)	1.48%	3.67%	13.36%	52.87%	28.62%
2-(12)	2.33%	3.47%	15.11%	48.23%	30.87%
2-(13)	2.24%	3.78%	17.85%	48.39%	27.74%
2-(14)	1.77%	2.21%	10.70%	47.85%	37.47%

(10) スポーツ・トレーニング科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0	0	2.15%	9.68%	88.17%
1-(2)	0	1.08%	3.76%	39.78%	55.38%
1-(3)	0	0.54%	1.08%	34.95%	63.44%
2-(1)	0	1.08%	4.30%	31.72%	62.90%
2-(2)	0	3.23%	2.69%	25.27%	68.82%
2-(3)	0.54%	1.08%	4.30%	31.72%	62.37%
2-(4)	0	0	6.99%	39.78%	53.23%
2-(5)	0	0	3.30%	29.67%	67.03%
2-(6)	0.54%	0	3.76%	30.11%	65.59%
2-(7)	0.54%	1.08%	3.76%	30.11%	64.52%
2-(8)	0.54%	0.54%	2.69%	24.19%	72.04%
2-(9)	0	0	2.69%	17.20%	80.11%
2-(10)	0	0.54%	1.08%	16.67%	81.72%
2-(11)	0.55%	0	2.19%	21.86%	75.41%
2-(12)	0	1.08%	3.23%	30.65%	65.05%
2-(13)	0.54%	0.54%	4.84%	34.95%	59.14%
2-(14)	0.54%	1.61%	1.61%	34.95%	61.29%
2-(15)	0.54%	0.54%	2.15%	28.49%	68.28%
3-(1)	1.08%	2.15%	2.69%	33.33%	60.75%
3-(2)	0	2.22%	2.78%	27.78%	67.22%
3-(3)	1.08%	1.08%	13.98%	27.96%	55.91%

(11) 教職・日語科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0	0.22%	3.25%	18.40%	78.14%
1-(2)	0.23%	0.68%	8.43%	42.14%	48.52%
1-(3)	40.48%	33.33%	20.35%	2.38%	3.46%
2-(1)	0	0	2.38%	45.24%	52.38%
2-(2)	0	0.22%	60.39%	34.85%	4.55%
2-(3)	0.22%	1.08%	84.85%	12.12%	1.73%
2-(4)	0.24%	0.48%	5.70%	41.33%	52.26%
2-(5)	0.24%	0.71%	5.66%	45.75%	47.64%
2-(6)	0.47%	1.90%	8.06%	39.81%	49.76%
2-(7)	28.57%	20.13%	22.51%	18.83%	9.96%
2-(8)	0.43%	0.87%	4.55%	37.45%	56.71%
2-(9)	0.47%	1.65%	4.00%	34.59%	59.29%
2-(10)	0.65%	1.30%	4.76%	41.13%	52.16%
2-(11)	0.22%	1.08%	9.09%	53.25%	36.36%
2-(12)	0.22%	0.65%	7.58%	48.27%	43.29%
2-(13)	0.65%	0.87%	8.01%	48.05%	42.42%
2-(14)	0.43%	0.43%	4.98%	45.67%	48.48%

(12) ゼミ・外書講読

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0.58%	0.55%	4.89%	15.33%	78.65%
1-(2)	3.17%	4.28%	16.67%	37.98%	37.91%
1-(3)	32.81%	24.02%	25.89%	8.56%	8.73%
2-(1)	0.29%	0.45%	5.96%	38.67%	54.64%
2-(2)	0.39%	1.64%	67.68%	26.27%	4.02%
2-(3)	0.52%	2.29%	89.05%	6.25%	1.90%
2-(4)	0.27%	0.81%	4.95%	39.52%	54.45%
2-(5)	0.24%	0.44%	6.12%	40.31%	52.89%
2-(6)	0.13%	0.57%	4.41%	33.59%	61.29%
2-(7)	14.33%	14.33%	24.40%	29.59%	17.35%
2-(8)	0.23%	0.35%	3.48%	34.90%	61.04%
2-(9)	0.64%	1.62%	4.49%	36.14%	57.11%
2-(10)	0.29%	0.42%	8.34%	40.15%	50.80%
2-(11)	0.26%	0.87%	5.99%	48.33%	44.56%
2-(12)	0.32%	0.74%	5.34%	40.24%	53.35%
2-(13)	0.42%	0.39%	5.38%	40.08%	53.73%
2-(14)	0.29%	0.80%	3.70%	35.45%	59.76%

(1 3) 全体 (講義科目)

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0.21%	0.39%	4.64%	17.46%	77.30%
1-(2)	2.45%	3.74%	11.80%	44.31%	37.70%
1-(3)	43.97%	28.73%	19.84%	4.44%	3.02%
2-(1)	0.53%	0.83%	7.10%	49.57%	41.97%
2-(2)	0.62%	2.59%	50.51%	36.61%	9.67%
2-(3)	0.45%	2.54%	75.44%	17.28%	4.29%
2-(4)	1.35%	3.36%	11.00%	46.31%	37.98%
2-(5)	0.84%	1.72%	10.27%	48.97%	38.19%
2-(6)	2.54%	4.33%	16.20%	42.70%	34.24%
2-(7)	30.83%	18.27%	24.22%	18.63%	8.05%
2-(8)	0.74%	1.24%	8.74%	48.01%	41.27%
2-(9)	0.55%	1.25%	5.76%	44.66%	47.77%
2-(10)	1.09%	1.74%	9.44%	47.36%	40.37%
2-(11)	1.73%	4.32%	14.84%	52.63%	26.49%
2-(12)	2.13%	3.66%	14.55%	48.87%	30.79%
2-(13)	1.94%	3.29%	15.80%	49.87%	29.10%
2-(14)	1.58%	2.61%	10.99%	49.28%	35.53%

6. 学部設問項目 平均値・標準偏差

(1) 商学部

設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(1) あなたは、この授業に対して十分に取り組んだと思いますか。	専任教員	151	4.09	0.75
	講師（非常勤）	83	4.20	0.71
計		234	4.12	0.74

(2) 政経学部

設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(1) この授業の満足度として、あなたが考える一番大きなものは何ですか。	専任教員	164	3.59	1.35
	講師（非常勤）	74	3.35	1.42
計		238	3.53	1.37
設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(2) 留学生だけに質問します。留学生からみて、この授業に必要なことは何ですか。 (複数回答可)	専任教員	164	3.51	1.49
	講師（非常勤）	74	3.43	1.51
計		238	3.49	1.50

(3) 外国語学部

設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(1) この授業で使う教室の大きさ、施設・備品などは適切ですか。（※対面授業の履修者のみ回答してください）	専任教員	99	4.34	0.67
	講師（非常勤）	184	4.28	0.74
計		283	4.30	0.71
設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(2) このクラスの学生数は適切ですか。 (※対面授業の履修者のみ回答してください)	専任教員	99	4.33	0.69
	講師（非常勤）	184	4.29	0.71
計		283	4.31	0.70

(4) 工学部

設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(1) この授業の到達目標をよく理解していますか。	専任教員	69	3.81	0.86
	講師（非常勤）	44	3.61	0.91
計		113	3.75	0.88
設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(2) 宿題や課題に前向きな気持ちで取り組んでいますか。	専任教員	69	3.88	0.89
	講師（非常勤）	44	3.72	0.97
計		113	3.83	0.91
設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(3) この授業の内容について、先生や友人とよく話しますか。	専任教員	69	3.52	1.07
	講師（非常勤）	44	3.30	1.14
計		113	3.46	1.10
設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(4) この授業は、対面とオンデマンド／メディア授業のどちらの形式に適していると思いますか。（※オンデマンド授業またはメディア授業の履修者のみ回答してください）	専任教員	69	3.42	1.42
	講師（非常勤）	44	3.40	1.44
計		113	3.42	1.43

(5) 国際学部

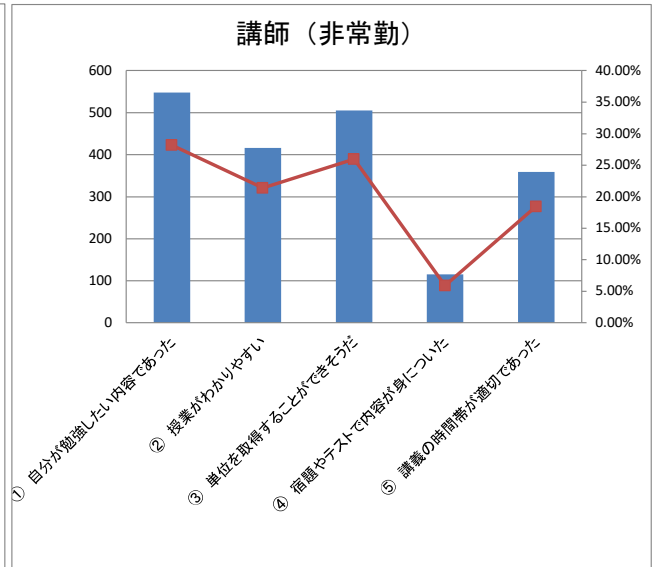
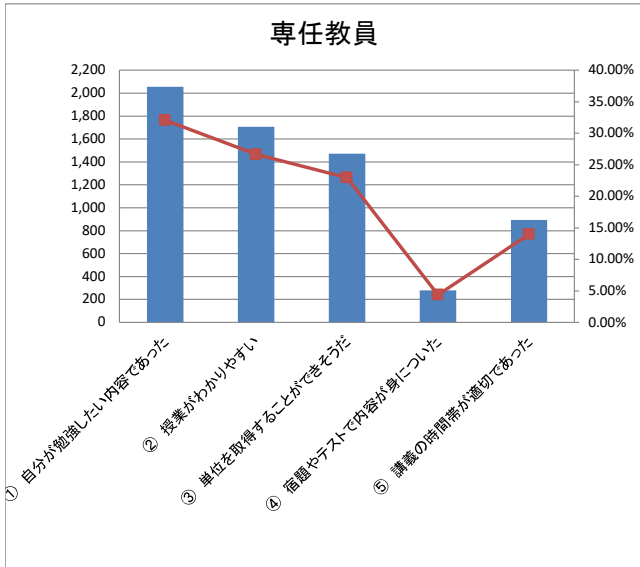
設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(1) 留学生だけに質問します。この授業の内容はどのくらいわかりますか。	専任教員	62	4.05	0.92
	講師（非常勤）	15	3.98	0.87
計		77	4.05	0.92
設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(2) 留学生だけに質問します。先生の日本語はどのくらいわかりますか。	専任教員	62	4.11	0.89
	講師（非常勤）	15	4.29	0.75
計		77	4.13	0.88
設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(3) 留学生だけに質問します。この授業に必要なことは何ですか。（複数選択可）その他の意見がある場合は、自由意見欄に記入してください。	専任教員	62	2.81	1.41
	講師（非常勤）	15	2.87	1.48
計		77	2.81	1.41

7. 学部別設問項目 教員別回答別表・グラフ

(1) 政経学部

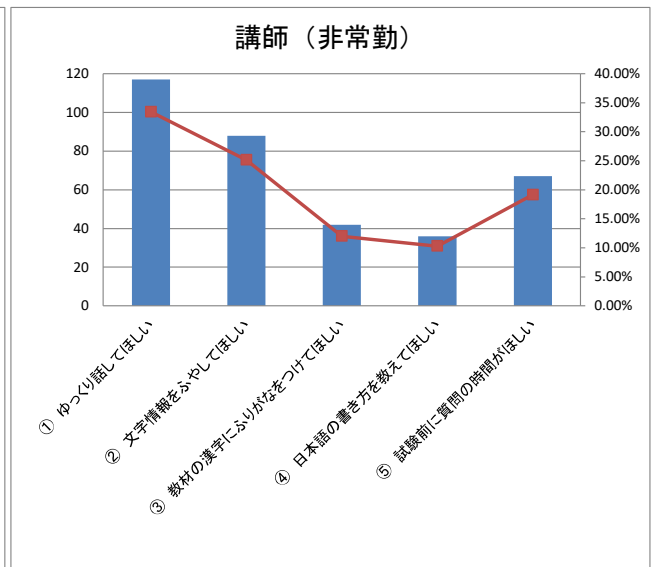
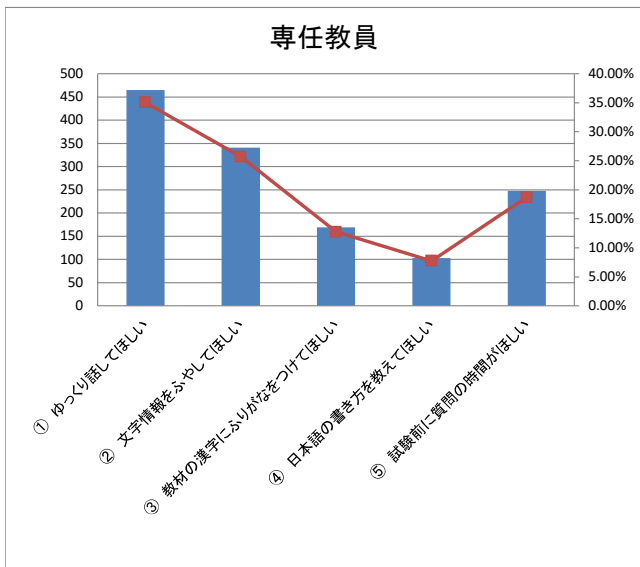
3-(1) この授業の満足度として、あなたが考える一番大きなものは何ですか。

		① 自分が勉強したい内容であった	② 授業がわかりやすい	③ 単位を取得することができそうだった	④ 宿題やテストで内容が身についた	⑤ 講義の時間帯が適切であった
専任教員	回答	2,056	1,708	1,471	280	895
	割合	32.07%	26.65%	22.95%	4.37%	13.96%
講師 (非常勤)	回答	548	416	505	115	359
	割合	28.20%	21.41%	25.99%	5.92%	18.48%
計	回答	2,604	2,124	1,976	395	1,254
	割合	31.17%	25.43%	23.66%	4.73%	15.01%



3-(2) 留学生だけに質問します。留学生からみて、この授業に必要なことは何ですか。(複数回答可)

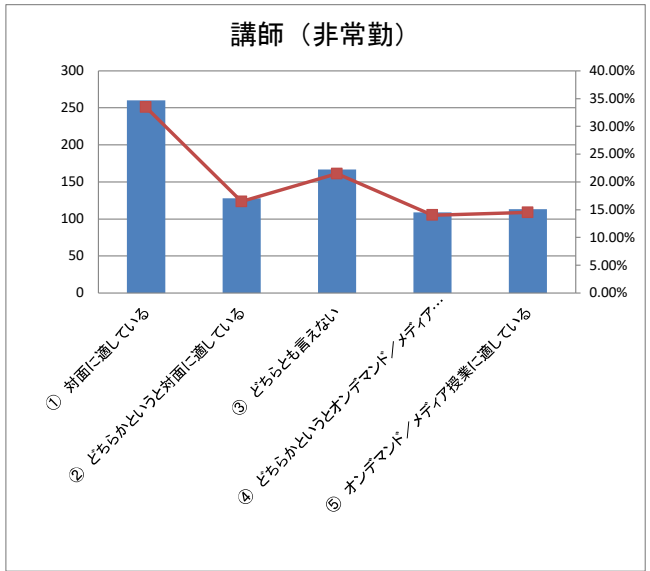
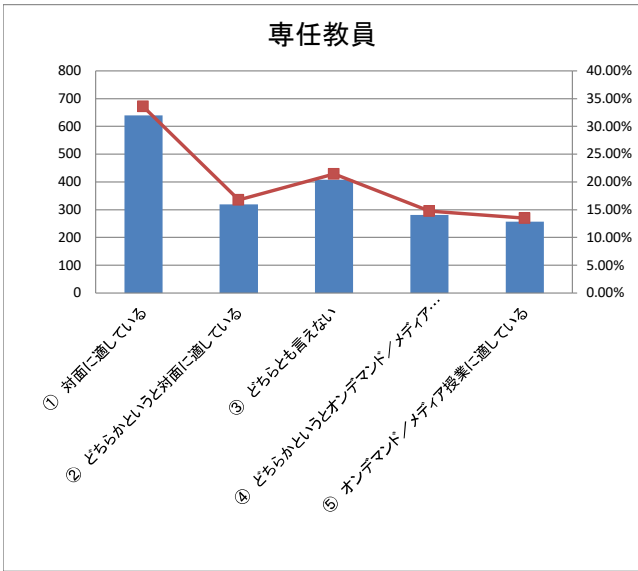
		① ゆっくり話してほしい	② 文字情報をふやしてほしい	③ 教材の漢字にふりがなをつけてほしい	④ 日本語の書き方を教えてほしい	⑤ 試験前に質問の時間がほしい
専任教員	回答	465	341	169	103	248
	割合	35.07%	25.72%	12.75%	7.77%	18.70%
講師 (非常勤)	回答	117	88	42	36	67
	割合	33.43%	25.14%	12%	10.29%	19.14%
計	回答	582	429	211	139	315
	割合	34.73%	25.6%	12.59%	8.29%	18.79%



(2) 工学部

3-(4) この授業は、対面とオンデマンド/メディア授業のどちらの形式に適していると思いますか。
 (※オンデマンド授業またはメディア授業の履修者のみ回答してください)

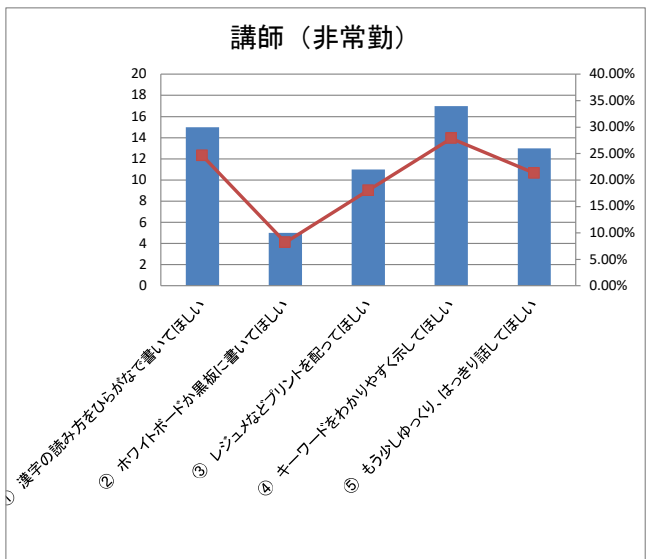
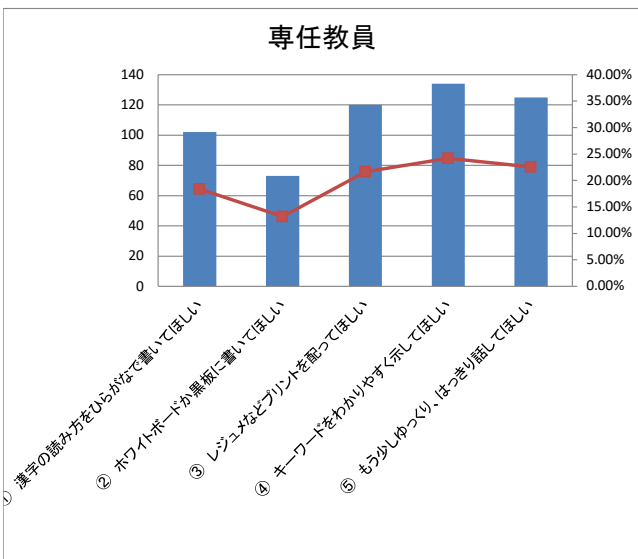
		① 対面に適している	② どちらかというに対面に適している	③ どちらとも言えない	④ どちらかというとオンデマンド/メディア授業に適している	⑤ オンデマンド/メディア授業に適している
専任教員	回答	639	319	408	281	257
	割合	33.56%	16.75%	21.43%	14.76%	13.50%
講師 (非常勤)	回答	260	128	167	109	113
	割合	33.46%	16.47%	21.49%	14.03%	14.54%
計	回答	899	447	575	390	370
	割合	33.53%	16.67%	21.45%	14.55%	13.80%



(3) 国際学部

3-(3) 留学生だけに質問します。この授業に必要なことは何ですか。(複数選択可) その他の意見がある場合は、自由意見欄に記入してください。

		① 漢字の読み方をひらがなで書いてほしい	② ホワイトボードか黒板に書いてほしい	③ レジュメなどプリントを配ってほしい	④ キーワードをわかりやすく示してほしい	⑤ もう少しゆっくり、はっきり話してほしい
専任教員	回答	102	73	120	134	125
	割合	18.41%	13.18%	21.66%	24.19%	22.56%
講師 (非常勤)	回答	15	5	11	17	13
	割合	24.59%	8.20%	18.03%	27.87%	21.31%
計	回答	117	78	131	151	138
	割合	19.02%	12.68%	21.30%	24.55%	22.44%



IV 評価及び課題

1. 商学部

(1) 実施状況

令和5年度「授業改善のための学生アンケート」は、2023年6月26日～7月1日（予備日：7月3日～8日）に行われ、商学部における実施対象は、専任教員50名、講師（非常勤）106名であった。専任教員、講師（非常勤）それぞれの実施率は、専任教員が100.00%（令和4年度100.00%）、講師（非常勤）が90.57%（令和4年度80.77%）で、講師（非常勤）の実施率が前年度から10%ほど上昇した。

実施科目数は、専任教員が282科目、講師（非常勤）は350科目である。学科目別実施科目数は、商学部初期教育科目（49科目）、商学部専門科目（170科目）、ゼミナール・外書講読（109科目）、外国語科目（240科目）、教養教育科目（29科目）、教職・日語講座科目（16科目）のほか、他学部専門科目等が19科目で合計632科目であった。

なお、今年度の「授業改善のための学生アンケート」は、講座科目（オムニバス）・集中講義等を除く、通年科目及び前期科目（オンデマンド型授業を含む）を対象とし、学生アンケートシステムを使用してWeb上で実施した。アンケート回答数（延べ人数）は、1年生4,688人、2年生4,432人、3年生2,335人、4年生1,054人、その他8人で、合計12,517人である。回答数は1年生が最も多く、学年が上がるにしたがって回答数が減り、4年生の回答数が最も少ない。

以降では、商学部初期教育科目および専門科目に関する回答について考察する。

(2) 初期教育科目に関する集計結果

初期教育科目は、令和3年度から実施対象となったため過去3年間との比較による評価である。いずれの項目も過去3年間ほぼ同じ傾向を示している。回答平均値が4.00を超えた設問項目に注目し、令和4年度と比較すると1-（1）「学生の出席状況」（R4 4.70 → R5 4.73）、2-（1）「狙いの明確さ」（R4 4.19 → R5 4.25）、2-（4）「声の大きさ」（R4 3.82 → R5 4.10）、2-（5）「環境の配慮」（R4 4.03 → R5 4.10）、2-（8）「教員の意欲・熱意」（R4 4.00 → R5 4.11）、2-（9）「時間の厳守」（R4 4.28 → R5 4.28）、2-（10）「教材等の効果」（R4 4.11 → R5 4.11）、2-（11）「理解しやすさ」（R4 3.87 → R5 4.08）、2-（14）「満足度」（R4 3.92 → R5 4.08）があげられ、これらの項目は令和4年度と比べて同等か0.数ポイント上昇している。

一方で、設問項目1-（2）「ノート・メモをとっているか」（R4 3.24 → R5 3.31）、1-（3）「予習・復習をしているか」（R4 1.65 → R5 1.52）、2-（7）「授業時間以外に先生に質問に行くことがあるか（オフィスアワー等の活用）」（R4 2.96 → R5 2.49）では、回答平均値が1.52～3.31と低迷し、しかも「予習・復習をしているか」および「授業時間以外に先生に質問に行くことがあるか（オフィスアワー等の活用）」では令和4年度から数値が低下しており、学生の予習・復習の不十分さが改めて浮き彫りとなった。

予習および復習不足の改善については、設問項目 2-(12)「興味関心」(R4 3.82 → R5 3.91) や、2-(13)「見方・考え方が深まる」(R4 3.75 → R5 3.89) の回答平均値が令和 4 年度より改善し、かつ 4.00 に近い値を示していることから、学生の学びに対する興味・関心・意欲はそれなりに高いと推測される。よって、その興味・関心・意欲を予習・復習にどうつなげていくことができるかが教員に課せられた今後の課題といえる。

また、学生にとって適切な学修難易度・進度であったかについては、設問項目 2-(2)「難易度」の回答平均値が 3.23、2-(3)「進度」の回答平均値が 3.22 であることから、難易度・進度ともに概ね適切であったと評価できる。

(3) 専門科目に関する集計結果

専門科目の集計結果について、過去 5 年間との比較が可能な 13 の設問項目に注目すると、いずれも過去 5 年間とほぼ同じ傾向を示している。令和 4 年度は 13 の設問のうち 12 の設問で過去最も高い回答平均値を示したのに対し、令和 5 年度は 1-(1)「学生の出席状況」が令和 4 年度を上回ったものの (R4 4.66 → R5 4.70)、他の設問では微減ながら数値が下降している。とはいえ、微減した設問(「ノート・メモ」、「狙いの明確さ」、「声の大きさ」、「環境の配慮」、「教材等の効果」、「満足度」)も 4.00 を超えており概ね良好である。

全体として令和 4 年度から数値が微減しているなかで、絶対的な数値は決して高くはないが 1-(3)「予習・復習」は、令和 4 年度の 1.77 から 1.80 に上昇している。

ただし、課題もある。それは、設問項目 2-(7)「授業時間以外に先生に質問に行くことがあるか(オフィスアワー等の活用)」において、令和 4 年度の 2.86 (過去 4 年間で最高値) から 2.43 に落ち込んでいることである。ほぼ対面授業へと切り替わったことが影響しているのか、そうだとすればどのような対応が有効なのか等が今後の検討課題である。学生にとって適切な学修難易度・進度であったかについては、設問項目 2-(2)「難易度」の回答平均値が 3.62、2-(3)「進度」の回答平均値が 3.26 であることから、難易度・進度ともに概ね適切であったと評価できる。

(4) 学部設問項目に関する集計結果

商学部では、学部独自の設問項目として「あなたは、この授業に対して十分に取り組んだと思いますか」を設定した。この設問については、専任教員の 151 科目、講師(非常勤)の 83 科目において実施され、回答平均値は専任教員 4.09、講師(非常勤) 4.20 であった。これらの結果から、学生は自身の学修に概ね満足していると思われるが、既述したように「予習・復習」が現状では十分ではないため、その点を学生が自覚し、自ら予習・復習を充実させるような方策について検討することが今後の課題と思われる。

※ 数値の詳細については、「全体集計」の該当箇所を参照のこと。

以上

2. 政経学部

(1) 実施状況－617科目について調査を実施

令和5年度「授業改善のための学生アンケート」は、授業期間の前期にあたる令和5年6月26日から7月1日（予備日：7月3日～8日）に実施した。QRコードを学生に提示し、インターネット上にて回答を回収した。政経学部には所属する専任教員54名、および講師（非常勤）102名に協力の依頼を行い、専任教員からは54名全員（実施率100%）、講師（非常勤）からは84名（実施率82.35%）のご協力を得た。

対象科目は、通年科目及び前期科目（オンデマンド型授業を含む）であり、専任教員が担当するものは336科目（1教員あたり平均6.2科目）、講師（非常勤）が担当するものは281科目（同3.3科目）であった。そして、138名の教員から、617科目に関する結果を得た。上記の科目数には、外国語科目や、教養教育科目、教職科目なども含まれる。

アンケートの回答者数は、延べ人数ベースで1年生5,688名、2年生4,605名、3年生2,899名、4年生1,630名、その他7名の合計14,829名である。1-3年生が多く4年生が少ないのは、昨年度と同じ結果である。1科目あたりの回答数は24.0名（=14,829名÷617科目）である。

尚、上記のような昨年度との比較検討に関しては、昨年度の「授業改善のための学生アンケート」は後期に行われたため、前期実施の今年度とは厳密には比較できないことを申し添える（以下、同様）。

(2) アンケート項目

アンケート項目は、全部で19問である。はじめに学生の受講姿勢の「自己評価」について問い、続いて、「教育内容・方法」として授業の進め方や内容に関して評価をさせ、総合的な満足度を問うた。最後に、「学部設問項目」として、政経学部の独自設問2問を追加している。

(3) 専門科目に関する集計結果－「自己評価」

以下では、政経学部における設置科目のうち専門科目に関する回答を見ていく。設問1-(1)「出席状況」では、回答平均4.71（標準偏差0.61）であり、この結果は、過去4年と比較して最大の値となっている。過去4年も回答平均が4.5以上あるため、連続的に回答者の出席状況は高いことが示されている。設問1-(2)「ノートや筆記の有無」では、回答平均4.09（標準偏差0.96）となり、教員による口頭説明や板書内容などをノートあるいはメモをとっている学生が多いことが分かる。設問1-(3)「予習や復習に充てる時間」では、回答平均1.80（標準偏差0.99）であり、昨年度の結果（後期実施）とほぼ同じ結果であるため、1講義あたりの予習復習は45分程度と考えられる。予習復習の時間は、過去4年においても回答平均1.5以上～2.0未満を推移していることから、依然として少ないことが分かる。

(4) 専門科目に関する集計結果―「教育内容・方法」

設問 2-(1)から設問 2-(14)では、昨年度の結果（後期実施）と同様に、授業の各側面について学生から評価を得た。担当講師のタイプ（専任教員／非常勤講師）、専門科目のタイプ（法律政治／経済）での結果については、各回答平均での差異は小さく、学生からの評価は近い値となっている。設問別にみても差異は少ない。回答平均は概ね 4.0 前後なので「そう思う」と考える学生が多かったことが見てとれる。

質問項目の中でも、「授業の開始・終了時間の適切性」、「講義要項に沿った授業か」、「教員の授業への意欲・熱意」の順番で、回答平均が高い値となっている。一方、「授業時間以外での教員への質問」、「授業の進度」の質問では、設問 2 での全 14 項目の中でも回答平均が低い。

設問 2-(2)「授業の難易度」と設問 2-(3)「授業の進度」は、「回答 3.0 が適切である項目」であった。両設問について、担当講師のタイプ（専任教員／講師）および専門科目のタイプ（法律政治／経済）それぞれを見てみると、設問 2-(2)の回答平均は 3.5 以上、設問 2-(3)の回答平均は 3.15 以上 3.30 未満の値であった。

設問 2-(14)「総合的にこの授業に満足していますか」の質問に対して、「強くそう思う」「そう思う」と回答した割合は 82.81%となっており、昨年度の結果（後期実施）より減少しているが、非常に高い割合である。従って、令和 5 年度においても、政経学部では満足度の高い授業を行うことができたと考えられる。

(5) 政経学部による独自設問における回答結果

設問 3-(1)「授業の満足度」を尋ねたところ、回答の割合が高い順番で、「自分が勉強したい内容であった」31.17%、「授業がわかりやすい」25.43%、「単位を取得することができそうだ」23.66%、「講義の時間帯が適切であった」15.01%、「宿題やテストで内容が身についた」4.73%であった。

設問 3-(2) は、留学生のみを対象として、授業を受けるうえで必要な事項を質問した。回答結果は、割合が高い順番で見ると、「ゆっくり話してほしい」34.73%、「文字情報を増やしてほしい」25.6%、「試験前に質問の時間がほしい」18.79%、「教材の漢字にふりがなをつけてほしい」12.59%、「日本語の書き方を教えてほしい」8.29%となっている。

(6) 今後の課題

本年度のアンケートの結果から、政経学部の授業は、昨年度（後期実施）と同様に、概ね満足度の高い授業であると言える。政経学部の各教員が、授業運営に日々ご尽力されていることが、結果から読み取ることができた。

一方、予習復習の時間や、授業時間以外での教員への質問が少ないことが、例年の課題として残っている。また、設問 2-(2)「授業の難易度」と設問 2-(3)「授業の進度」は、「回答 3.0 が適切である項目」であるが、特に設問 2-(2)における回答平均が 3.5 以上となり、3.0 よりも高い値であることから、「授業の難易度」に関しては、今後、注視していく必要がある。

る。「授業の難易度」の評価としては、学生の理解度が進むことで専門性が高まれば、現状より望ましい評価となるため、今回の結果だけでは無く、受講後の成績分布等も加味して判断しなければならない。今回の結果から見えてくることは、留学生への対応が挙げられるだろう。留学生のみの回答の中で、「ゆっくり話してほしい」という回答の割合が最も高かったため、授業の内容を理解できない留学生が、一定水準いることが推測される。したがって、留学生に対するきめ細やかな対応をさらに意識していく必要がある。

予習復習の時間を充実させるような授業運営、留学生へのきめ細やかな対応などから、各学生が授業時間以外で教員へ質問する機会が増えることも考えられるため、各授業の更なる改善によって、少しずつでも例年の課題が解決されることが期待される。

以上

3. 外国語学部

(1) 実施状況

実施教員数は、専任教員が 32 名、講師（非常勤）が 56 名で、実施率は専任教員が 96.97%、講師（非常勤）が 86.15%であった。アンケート実施科目数は専任が 175、非常勤が 225 の計 400 科目であった。アンケートに回答した延べ人数は 4,712 名（1 年：1,576、2 年：1,438、3 年：1,221、4 年：473、その他：4）であり、昨年より 1 割程度増加した。

(2) 全体集計

①外国語学部専門科目の集計結果について

外国語学部専門科目の結果について、以下で詳しく見ていく。回答平均値が高いほど望ましい設問は全部で 15 問である。昨年度の外国語学部の平均値から微減した設問が多かったものの、今年は平均値が 4.00 を超える項目は、13 問にのぼった。

この中で「自己評価」項目である 1-(2)「授業での口頭説明や板書内容をノートやメモにとるか」については、他学部にも比べて高い値になっている。学生たちが講義をただ聞くのではなく、積極的にノートを取りながら受講している様子が窺える。

また、「教育内容・方法」に関する項目のうち、2-(4)「話し方や声が聞き取りやすいか」、2-(6)「学生の授業参加を促したか」、2-(9)「授業の開始・終了時刻が守られているか」、2-(10)「教材等は授業内容を理解するのに有効か」、2-(11)「授業内容は理解できたか」は、大学全体の平均値を上回っただけでなく、他学部の専門科目よりも高い値を示していた。この結果からは、学生が積極的に授業に参加できるように教員が授業内容や教材に工夫を凝らし、授業中にも学生に聞き取りやすい話し方をするとともに、授業時間のコントロールを適切に行っていたことが読み取れる。そして、こうした一つ一つが学生の理解度の高さにつながったと思われる。

一方、平均値が 4.00 を超えなかった項目は、1-(3)「予習・復習の時間」と、2-(7)「授業時間以外に先生へ質問に行くこと（オフィスアワー等）」であった。このうち、1-(3)「予習・復習の時間」については、大学平均を上回ってはいるものの、2.03 という値であった。選択肢ごとの回答率を見ると、「0.5h 未満」が 36.87%、「0.5h 以上」（すなわち、0.5h 以上 1h 未満）が 32.18%で、約 7 割の学生の自習時間が 1 時間に満たないという結果になった。単位取得に必要な予習・復習時間としては短すぎると言わざるを得ない。

2-(7)「授業時間以外に先生へ質問に行くこと（オフィスアワー等）」に関しては、外国語学部の平均値は 2.52 で、昨年より 3.02 よりもさらに低下した。この値からは、学生が質問しやすい環境づくりが必要だと言えるかもしれない。しかし、外国語学部の場合は、少人数編成の授業が多く、授業中にも質問しやすい状況があることを踏まえると、この数値が学生の質問行動の現状をそのまま反映しているとは言い切れない部分もある。また、

Microsoft Teams のチャット機能等で教員とのやり取りが気軽にできるようになったこともあり、本設問の「オフィスアワー」が従来ほどの役割を果たさなくなっているというとも言えるかもしれない。

回答平均値が 3.0 が適切な 2-(2) 「難易度」、2-(3) 「進度」は、それぞれの平均値が 3.46 と 3.15 であり、概ね満足できる結果であった。

②外国語学部設問項目に関する集計結果

外国語学部は少人数教育に重点をおいており、効果的な教育を行う上で、教室環境の整備は特に重要である。そのため、それを確認するために、今回も学部独自項目として(1)「授業で使う教室の大きさ・施設・備品が適切か」、(2)「クラスの学生数は適切か」の2問を設定した。結果を見ると、(1)の平均値は 4.30、(2)は 4.31 であり、昨年とほぼ同様の値であった。学生の満足度も概ね良好であると判断できる。

(3) 授業改善に向けての今後の課題

以上、今年度の集計結果を分析してきたが、外国語学部の授業への評価は概ね高い値を示していたと言える。しかし、受講生の予習・復習時間をいかに安定して確保するかは今後の重要な課題である。特に外国語学部の語学系の専門科目は、一朝一夕に身に付くものではなく、授業時間外の持続的な学習が不可欠である。受講生の授業の理解度や興味関心は総じて高いので、それを伸ばしつつ、受講生が意欲的・自律的に授業外学習に取り組めるような方法を考え、学習を促していく必要がある。

以上

4. 工学部

(1) 実施状況

今年度の「授業改善のための学生アンケート」は、前期（2023年6月26日～7月1日）に実施された。実施教員数は、専任教員が51名中51名、講師（非常勤）が43名中42名で、専任教員の実施率は100%、講師（非常勤）が97.67%であり、専任教員は昨年度と同じく100%の実施、講師（非常勤）は昨年度より約15%高い実施率となった。アンケート実施科目数は241科目（専任：130、非常勤：111）で、専任教員の科目数は昨年度と同じ、講師（非常勤）の科目数が27科目増加した。一人あたりの実施科目数の平均値は、専任教員が2.5科目、講師（非常勤）が2.6科目であった。アンケートに回答した延べ人数は6,744名（1年：3,063、2年：2,082、3年：1,427、4年：160、その他：12）であり、昨年度の4,696名（1年：2,110、2年：1,616、3年：918、4年：52、その他：0）と比べて約44%増加した。

(2) 全体集計

アンケート各項目について講義科目を中心に考察する。

I. 自己評価

① 学生の出席状況（設問1-(1)）

工学部専門科目（講義）の出席状況は平均4.76であり、昨年度と同じ数値であった。過去5年間の数値によると4.6～4.8程度であり、安定して高い値を保っている。大学全体のポイントが4.71であり、昨年度と同様に全学部専門科目の中で最高の値であることに加え、本年度は僅差ではあるが全区分の中で最高の値となっている。この理由として、工学部は学科定員の関係から受講者100名未満の授業が多く出欠状況を把握しやすいことや、カードリーダーによる出席管理が定着していること、毎回課題演習を行う授業が多いこと、知識の積み重ねの授業では欠席すると新たな積み重ねが難しい場合があること、などが考えられる。実験・実習科目の出席状況は4.84で昨年度の4.73と比べて上昇し、引き続き高いポイントを維持している。多くの実験・実習科目では、特に授業出席および参加姿勢が重視されることから、講義科目と比べても学生の出席意識が高いことが窺える。

② ノート・メモ（設問1-(2)）

説明や内容についてのノートやメモを取っているかについては平均3.89であり、昨年度の3.92と比べてやや低下した。全体平均は4.11（昨年度の全体平均は4.12）であり、平均より低い値であるのは昨年度同様であり、全区分の中で最も低い方である。専任教員の数値では3.89（昨年3.93）、非常勤では3.96（昨年3.99）であり、ともにやや低下している。理由として、スクリーンへの掲示資料や電子的な配布資料の準備が進み、板書のみでの授業が減少したことや、印刷した紙による資料配布が減ったことが考えられ、これにより学生

のノートを取る意識が低下しているのではないかと予想する。タブレット等を使用して電子的にメモを取る、あるいは自分で印刷した配布資料に書き込んでいる学生が見られる一方で、資料をスマートフォンで開いているだけの学生も見られる。基礎ゼミでノートチェックを行い、ノート・メモの習慣化を試みている学科もあり、学科・教員間で工夫や効果についての情報交換が重要と考える。

③ 予習・復習（設問 1-(3)）

講義科目における予習・復習については全体平均が 1.94 で全学的に 1~2 の低い値となっているが、工学部は 1.99 で比較的高い。昨年度の値 1.96 からやや上昇した結果となっている。専任教員のみ数値では 2.01（昨年 1.92）でやや上昇、講師（非常勤）では 1.92（昨年 1.98）からやや低下の結果となっている。予習・復習について、講義要項には予習・復習の項目があり記載内容については講義担当教員だけでなく学部での確認も行われている。さらに、Blackboard を利用して事前に講義資料を掲示して予習内容を具体的に示している授業も増えてきており、予習・復習がしやすい環境は整えられているにも関わらず、結果としては低い数値となっており、学生に対する意識付けなどで工夫が必要であると考え。

II. 授業内容・方法

① 講義要項との一致（設問 2-(1)）

講義科目で 4.18（昨年 4.18）となり、全学平均の 4.32 と比較すると 0.14 ポイント低く、全区分の中で最も低い値である。講義要項に沿って授業を行うことが基本であるが、工学部の専門科目では講義内の演習等によって知識を積み重ねていく内容の講義が多いので、学生の理解度が不十分な場合は進度を遅らせたり、理解が早い場合は発展的な内容を取り込んだりすることが考えられる。学生の理解度は受講者数などさまざまな要因によって毎年変わるため、学生の達成度や満足度の向上のためには臨機応変の対応が有効と考える。また、本項目の結果は、絶対的な数値としては決して低い値ではなく、現状の講義要項の記載と授業方法で問題は無いと考える。

② 難易度（設問 2-(2)、実験・実習科目：設問 2-(1)）

難易度は、中間の 3.0 が適切で、小さい値が易しい、大きい値が難しいという意味である。結果は講義科目で 3.67（昨年 3.64）、実験実習科目で 3.73 程度（昨年 3.70）であり、講義科目の全体平均 3.52（昨年 3.48）と比べるとやや高い値となっている。講義科目の標準偏差は 0.77（昨年 0.73）であり、難易度の感じ方のばらつきが広がっている。難易度の平均値と標準偏差の結果を見ると、一概に授業の難易度を下げればよいという訳ではなく、学生一人一人のレベルに合わせた対応によって、難しいと感じる学生も易しいと感じる学生も適切な難易度の感じ方となるよう推移させていく必要があると考える。

③ 進捗（設問 2-(3)、実験・実習科目：設問 2-(2)）

進捗も難易度同様に、中間の 3.0 が適切で、小さい値が遅い、大きい値が速いという意味を示す。結果は講義科目で 3.30（昨年 3.27）、実験実習科目で 3.39 程度（昨年 3.35）となった。昨年度からは若干数値が上がり、また中間の 3.0 よりはやや大きな値であるため、進捗としては少し速いと思う学生が多い結果となっている。難易度同様に進捗についても、一律に下げればよいということではなく、学生一人一人に合わせた対応でカバーすることが望ましいと考える。

④ 話し方や声の聞き取りやすさ（設問 2-(4)）

講義科目で 4.01（昨年 3.95）、実験実習科目で 4.03（昨年 3.98）という結果で、全学平均の 4.16（昨年 4.20）と比較すると低い値であるものの、昨年度と比べると近づいており改善が見られる。講義科目の学科別では、機械システム工学科 4.06（昨年 4.00）、電子システム工学科 4.05（昨年 4.00）、情報工学科 4.02（昨年 3.94）、デザイン学科 4.08（昨年 3.89）であり、各学科とも上昇している。理由としては、個々の教員の配慮や工夫に加えて、コロナ感染防止対策のシールド板の撤去や、マスク着用の自由化による影響も考えられる。

⑤ 環境の配慮（設問 2-(5)）

講義科目で 4.07（昨年 4.07）、実験実習科目で 4.08 程度（昨年 4.08）となり、昨年度と同じ値となった。全学平均の 4.22（昨年 4.25）と比較すると低い値であるが、絶対的な数値としては高く、多くの授業で高い評価を受けているものとする。ただし全学平均より低いのは事実であるので、この評価を低下させることの無いようにしつつ全学平均に近づけるために、学生が授業に集中できるように配慮することの必要性を再確認して改善を進める必要がある。

⑥ 質問・発話（設問 2-(6)）

講義科目で 3.68（昨年 3.72）で、昨年度よりやや減少した。また、全学平均の 4.02（昨年 4.03）と比較して低い値であり、全学部の中でも低い方である。工学部の授業では、特に演習や実習において学生間で相談や意見交換をする場面がしばしば見られるが、質問・発言すべき場面では教員からも発話を促し、積極的な授業参加を求める必要があると考える。

⑦ オフィスアワー（設問 2-(7)）

授業時間以外の質問については、講義科目で 2.52（昨年 2.91）と 0.39 ポイント低下し、全学平均の 2.55（昨年 2.94）とほぼ同じ数値であったが、絶対的には低い値である。工学部は受講者 100 人未満の授業が多く授業中に質問できる機会が多いこと、授業のない

日でも出校している教員が多く学生はオフィスアワーを意識する必要がない場合が多いこと、コロナ禍を経てメールや Teams のチャット等を利用してオフィスアワーに限らず質問や連絡をする学生が増えたこと、などの理由が考えられる。

⑧ 意欲・熱意（設問 2-(8)、実験・実習科目：設問 2-(6)）

講義科目で 4.09（昨年 4.09）、実験実習科目で 4.22 程度（昨年 4.25）となった。全学平均の 4.28（昨年 4.29）より低い値であったものの、絶対的な数値としては高いため、高評価を得ているものと思われる。学科別でも 4.10～4.16 であり大きな違いはなく、各学科とも高評価を得たと言える。

⑨ 時間の厳守（設問 2-(9)、実験・実習科目：設問 2-(7)）

講義科目で 4.30（昨年 4.23）、実験実習科目で 4.26 程度（昨年 4.10）となり、昨年度の値から上昇した。講義科目の全学平均の 4.38（昨年 4.38）よりやや低い値であったものの、近づきつつある結果となった。専任教員の講義科目で 4.34（昨年 4.27）、講師（非常勤）では 4.30（昨年 4.27）であり、また学科別でも 4.28～4.34 と差はなく、105 分授業が定着したこともあり、いずれも時間通りに授業が進められているものと考えられる。

⑩ 教材等の効果（設問 2-(10)、実験・実習科目：設問 2-(8)）

講義科目で 4.16（昨年 4.08）、実験実習科目で 4.08 程度（昨年 4.10）となり、講義科目、実験実習科目ともに高い評価を得た。担当教員の尽力により講義資料や教材の準備や活用が進められていることで、その効果が表れているものとする。

⑪ 理解しやすさ（設問 2-(11)、実験・実習科目：設問 2-(10)）

講義科目で 3.72（昨年 3.73）、実験実習科目で 3.87 程度（昨年 3.95）となり、全学平均 3.98 よりやや低い結果となっている。講義科目を学科別にみると、機械システム工学科 3.75（昨年 3.76）、電子システム工学科 3.82（昨年 3.79）、情報工学科 3.81（昨年 3.81）、デザイン学科 3.93（昨年 3.96）であり、デザイン学科が最も高く、機械システム工学科が最も低くなった。いずれの結果も数値としては昨年度と大きな変化はなく、講義科目と実験実習科目、各学科科目の特徴や教育効果を総合した結果が、評価の数値として定着しているものとする。

⑫ 興味・関心（設問 2-(12)、実験・実習科目：設問 2-(12)）

講義科目で 3.77（昨年 3.79）、実験実習科目で 4.00 程度（昨年 4.10）、全学平均は 4.03（昨年 4.07）であった。工学部では、基礎知識の習得期間が長いため、低学年の科目では具体的な対象や目標が見通しにくく、興味や関心が湧きにくい面もあると思われる。全学の講義科目の学年別データによると、1 年生 3.97、2 年生 3.99、3 年生 4.10、4 年生 4.24

と学年進行につれて数値が高まっているが、工学部では上記の理由からその傾向が強いのではないかと予測する。

⑬ 見方・考え方が深まる（設問 2-(13)）

講義科目で 3.75（昨年 3.78）、実験実習科目で 3.97 程度（昨年 4.00）となり、全体平均 4.01（昨年 4.04）をやや下回った。工学部の多くの講義科目、特に低学年の科目は学問体系における基礎の部分の内容であるので、履修直後では見方・考え方の深まりの実感が薄くてもやむを得ない部分がある。一方で実験実習科目のような体験を通じた授業や実学要素の高い講義では見方・考え方を深めやすいものとする。学生の学ぶ姿勢や興味を早期から育むために、実験実習科目と講義科目間の連携、基礎科目と実学科目間の連携、ディスカッション等を通じた学習の取り入れなど、さらに工夫する必要があると考える。

⑭ 満足度（設問 2-(14)）

講義科目で 3.90（昨年 3.91）、実験・実習科目で 4.02 程度（昨年 4.10）、講義科目の全体平均は 4.15（昨年 4.19）であった。学科別に見ると、機械システム工学科 3.96（昨年 3.96）、電子システム工学科 3.96（昨年 3.95）、情報工学科 3.99（昨年 3.99）、デザイン学科 4.04（昨年 4.07）となっており、すべての学科でほぼ昨年度同様の数値となった。昨年度は一昨年度と比べて全学科で上昇し、本年度は昨年度の数値とほぼ同様であるため、満足度としては昨年度の上昇分を維持しているものと考えている。

Ⅲ. 学部設問項目

令和 2 年度学修行動調査所見にて「リーダーシップ能力、課題に対する解決能力育成」という課題に対し、令和 3 年度よりその教育改善方策の 1 つとして「リーダーシップ能力や課題解決能力の意識付け」を掲げている。これを意識して、本年度も継続して以下の 4 項目を設定している。

① この授業の到達目標をよく理解していますか（設問 3-(1)）

専任教員が担当する科目で 3.81（昨年 3.77）、講師（非常勤）で 3.61（昨年 3.72）であり、合計で 3.75（昨年 3.75）であった。この結果によると、昨年度同様に授業の到達目標をあまり意識していない学生が多いものとする。リーダーシップ能力や課題解決能力を高めるためには、到達目標を理解した上で協力して課題解決に取り組むことが重要であり、この点を授業の導入の際に丁寧に説明することが必要であるとする。

② 宿題や課題に前向きな気持ちで取り組んでいますか（設問 3-(2)）

専任教員が担当する科目で 3.88（昨年 3.86）、講師（非常勤）で 3.72（昨年 3.82）であり、合計で 3.83（昨年 3.85）であった。講師（非常勤）でやや下がったものの、昨年度と

ほぼ同様の結果となった。工学部では学習支援センターの利用を促し、数学や物理学などの基礎的な科目だけでなく専門科目でも相談に行くよう指導している。コロナ禍からの回復に伴い対面授業が中心になったことから、さらに利用を促すことで宿題や課題への取り組みの改善を進めたい。また、105分授業が定着したため、演習時間を十分にとることが可能となり、学生の宿題や課題への取り組みの気持ちが改善されていくものと考えられる。

③ この授業の内容について、先生や友人とよく話しますか（設問 3・(3)）

専任教員が担当する科目で 3.52（昨年 3.45）、講師（非常勤）で 3.40（昨年 3.40）であり、合計で 3.46（昨年 3.43）であった。「リーダーシップ能力、課題に対する解決能力育成」には、学習内容について他者とよく話す経験が必要との考えからこの質問をしている。結果として、全体としては必ずしも高い数値ではないが、専任教員が担当する科目では数値が上昇している。まずは専任教員の担当する科目から、気軽に相談できる機会が広まってきているものと前向きに考えたい。コロナ禍の影響で十分に友人関係を築くことができなかつた学生にも、徐々に他者との距離感が改善され、この数値も上昇していくものと予想する。

④ この授業は、対面とオンデマンドのどちらの形式に適していると思いますか

（設問 3・(4)）

専任教員で 3.42（昨年 3.18）、講師（非常勤）で 3.40（昨年 3.37）であり、合計で 3.42（昨年 3.24）であった。これは、「1：対面に適している」「2：どちらかと言うと対面に適している」「3：どちらとも言えない」「4：どちらかと言うとオンデマンドに適している」「5：オンデマンドに適している」の選択肢から選ばれた回答であり、数値としては「3：どちらとも言えない」～「4：どちらかと言うとオンデマンドに適している」の間と解釈できる結果である。ただし、昨年度や一昨年度の数値からは目に見えて上昇傾向にあり、オンデマンド授業については年を追うごとに授業方法や資料の改善が進んでいることの表れであると考えられる。

以上

5. 国際学部

(1) 実施状況

専任教員は34名中33名(97.06%)が、講師(非常勤)は、44名中39名(88.64%)がアンケートを実施した。

実施科目数は専任教員178科目(令和4年度158科目)、非常勤講師165科目(令和4年度181科目)、計343科目で、令和3年度計339科目から微増であった。

アンケート回答数(延べ人数)は、1年生2,361人、2年生1,968人、3年生1,088人、4年生469人、その他27人の計5,913人で、令和4年度計4,058人の約46%増と大幅に増加した。ただし、全学の平均も前年比約42%増であり、全学的な傾向と考えられる。

(2) 全体集計

以下の表は、国際学部専門科目(77科目)について、各項目の過去5年間における平均値である。前年度よりも上昇した場合に↗印を、低下した場合に↘印を、変化がなかった場合には→印を付した。但し、「2-(2) 難易度」と「2-(3) 進度」の2項目は数値が「3.0」の回答が適切であると判断されるものであるため、3.0に近づく方向を「上昇」とした。参考のために、本年度における大学全体の平均値も付記してある。

	平成30年度	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	大学全体
1-(1) 学生の出席状況	↗ 4.51	↗ 4.57	↗ 4.73	↘ 4.64	↗ 4.67	4.71
1-(2) ノート・メモ	↘ 3.82	↗ 3.91	↗ 4.40	↘ 4.22	↘ 4.18	4.11
1-(3) 予習・復習	↘ 1.68	↗ 1.83	↘ 1.79	↗ 1.81	↗ 1.88	1.94
2-(1) 狙いの明確さ	↗ 4.13	↗ 4.19	↗ 4.39	↘ 4.36	↗ 4.40	4.32
2-(4) 声の大きさ	↘ 4.08	↗ 4.19	↘ 3.83	↗ 4.26	↘ 4.18	4.16
2-(5) 環境の配慮	↘ 4.18	↗ 4.26	↘ 3.92	↗ 4.26	↗ 4.32	4.22
2-(6) 質問・発言	—	—	3.69	↗ 3.93	↗ 4.05	4.02
2-(7) オフィスアワー	↘ 1.60	↗ 1.66	↗ 2.56	↗ 2.67	↘ 2.40	2.55
2-(8) 意欲・熱意	—	—	4.32	↗ 4.35	↗ 4.38	4.28
2-(9) 時間の厳守	—	—	4.37	↗ 4.39	↗ 4.43	4.38
2-(10) 教材等の効果	↗ 4.10	↗ 4.25	↗ 4.27	↗ 4.31	↘ 4.28	4.24
2-(11) 理解しやすさ	↗ 3.97	↗ 4.06	↗ 4.08	→ 4.08	→ 4.08	3.98
2-(12) 興味・関心	—	—	4.21	→ 4.21	↘ 4.19	4.03
2-(13) 見方・考え方が深まる	→ 3.99	↗ 4.13	↗ 4.20	↗ 4.23	→ 4.23	4.01
2-(14) 満足度	↗ 4.11	↗ 4.19	↗ 4.23	↗ 4.25	↘ 4.22	4.15

○回答「3.0」が適切である項目

	平成30年度	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	大学全体
2-(2) 難易度	↘ 3.38	↗ 3.33	↘ 3.41	→ 3.41	↘ 3.45	3.52
2-(3) 進度	↘ 3.23	↗ 3.20	↗ 3.15	↘ 3.17	↘ 3.20	3.22

① 自己評価 (1-(1)～(3))

1-(1)～(3)の各項目について、回答の多かった上位を挙げると以下のとおりである(←の右の数字は昨年度)。

「1-(1) 授業への出席状況」	(1) ⑤90%以上 (73.49%) ←71.55%
	(2) ④80%以上 (20.94%) ←22.09%
「1-(2) ノート・メモ」	(1) ⑤強くそう思う (42.63%) ←45.80%
	(2) ④そう思う (39.73%) ←38.80%
「1-(3) 予習・復習」	(1) ①0.5h 未満 (46.84%) ←49.71%
	(2) ②0.5h 以上 (1h 未満) (28.71%) ←28.95%

総じて学生たちの講義そのものへの取り組みは比較的良く、出席率が80%以上(④+⑤)と答えた学生が約94%であり、令和4年度の94%とほぼ同じであるが、90%以上と回答した学生の比率が約2%増加しており、改善が見られる。他方、ノート・メモをとっていると答えた学生(④+⑤)の比率は約82%で、令和4年度の85%より3%減少しており、改善を要する点である(ただし、平均値4.18は、大学全体平均値の4.11を上回っており、相対的には高めの数字となっている)。

次に、予習・復習の時間について、1h未満と答えた学生(①+②)が約76%と令和4年度の約79%より3%減少し、改善傾向が見られる。本項目については商学部専門科目及び政経学部専門科目でも約77%となっており、他学部専門科目とほぼ同じといえるが(ただし外国語学部は約69%)、引き続き改善を要する点である。

②教育内容・方法 (2-(1)～(13))

大学全体の平均値より0.1ポイント以上高かった項目として、「環境の配慮」「意欲・熱意」「理解しやすさ」「興味・関心」「見方・考え方が深まる」の5項目があり、令和4年度より2項目増加した。他方、大学全体の平均値より0.1ポイント以上低かった項目は、「オフィスアワー」の1項目だけで、令和4年度より2項目減少した。なお、昨年度、大学全体より0.1ポイント低かった「質問・発言」は、今回大幅に向上し、大学平均を越えた。

「満足度」については、国際学部の数字は相対的に高めに推移しており、今年度の平均値4.22も昨年に続き全学部の中で最も高い数字となっている。「環境の配慮」がなされた教室で、「意欲・熱意」のある教員から、理解しやすく「興味・関心」のある授業を受け、見方・考え方が深まったとの学生の受け止めが寄与しているものと考えられる。

③学部設問項目 (3-(1)～(5))

今年度、学部設問項目を一新し、留学生のみを対象とした3つの設問を行った。今後、経年変化をフォローし、留学生に留意した授業改善を進めていく参考としていきたい。

	令和5年度
3-(1) 授業の内容の理解度	
専任教員	4.05
講師(非常勤)	3.98
計	4.05
3-(2) 授業の日本語の理解度	
専任教員	4.11
講師(非常勤)	4.29
計	4.13

3-(3) この授業に必要なことは何ですか。

本設問では、具体的な要望事項5項目を選択肢としたが、そのうち20%を超えた上位3項目は以下のとおりであった。

- ④キーワードをわかりやすく示してほしい：24.55%
- ⑤もう少しゆっくり、はっきり話してほしい：22.44%
- ③レジュメなどプリントを配ってほしい：21.30%

本結果は、「キーワードの提示」「ゆっくり、はっきり」「レジュメ等の資料配付」が留学生から望まれている優先事項であることを示している。

(3) まとめ

前述のとおり、「満足度」については国際学部の数字は高めに推移しており、今年度も全学部の中で最も高い数字となった。今後も、これに安住することなく、今回のアンケート結果を踏まえ、特に以下の点に留意しつつ、不断の授業改善に取り組む必要があると考えられる。

- ①対面授業のメリットを活かした、学生とのコミュニケーション強化（オフィスアワーに限らない多様な方法を活用）。
- ②国際学部の長所（興味・関心が高まり、見方・考え方が深まる学び等）をさらに伸ばし、より学生の「満足度」が高まる教育内容。
- ③人数が増加傾向にある留学生の理解度、満足度が、さらに向上するための授業の工夫。

以上

6. 教養教育科目

本学では、「積極進取の気概とあらゆる民族から敬慕されるに値する教養と品格を具えた有為の人材の育成」を建学の理念に掲げている。また、3つの基本方針を定めた上で、国際性、専門性、人間性を備えた人材の育成に取り組んでいる。その実現のため教育方針に挙げられている「世界のあらゆる民族・人種との共存、ならびに相互信頼を実現する柔軟な理解力、豊かな受容力」「確固たる信念をもって行動するための洞察力と決断力」「開拓精神にあふれ、かつ、そのために必要な知力と体力」を実現するためにも、教養教育科目の充実が重要である。

今年度からは前年度までと異なり、コロナ渦も一定の落ち着きを見せたことから、多くの科目が対面授業での実施となった。とはいえ、これまでの遠隔授業の運営により培われた知見は、新しい時代の大学運営に有用な知見であると言え、今後の活用が望まれる。

(1) アンケート実施科目数

教養教育科目に対する実施科目数は、134科目で、学部別では、商学部29科目、政経学部49科目、外国語学部15科目、工学部7科目、国際学部27科目、兼担7科目であった。

(2) 集計結果と評価

以下では、いくつかの設問項目を取り上げ、前年度との比較や近年の傾向について記述し、課題を述べる。なお、<>内に示した項目の右側には対応する設問番号を示している。

<予習・復習> 1- (3)

本項目は、当該科目における予習・復習時間を尋ねるものである(1=0.5h未満、2=0.5h以上、3=1h以上、4=2h以上、5=3h以上)。全体でも1.94と低い数値となっており、教養教育科目では、1.68となっている。このことから、学生の予習時間は十分とはいえない点を読み取れる。また、昨年度と比較しても低下傾向にあるため、今後の対策が求められる。

<質問・発言> 2- (6)

本項目は、対面授業の履修者のみ回答する項目であり、授業において学生の授業参加への促しがあったかどうかを尋ねるものである。ポイントの平均値は3.65と相対的に低く、全体の平均値4.02よりも低い。今年度からは多くの科目が対面授業に戻っているが、学生に積極的に質問を促すなど、授業運営における工夫が求められる。

<理解のしやすさ> 2- (11)

今年度は、対面授業に戻ったことが要因であるのか、理解のしやすさは昨年度よりも減少した。特に、教養教育科目に対する理解のしやすさは、全科目の平均値では3.98ポイントと比較すると、3.93と0.5ポイント低く、教員には内容がより分かりやすくなるような、授業運営上の工夫が求められているといえる。

<興味関心>2- (12)

「この授業の内容に興味を持ってましたか」という質問に対する回答は、全体平均の 4.03 よりも低い 3.99 となった。結果としてはおおむね問題がないと考えるが、幅広い知識を身に着けることを目的とする教養科目においては、改善が望まれる。

<見方・考え方の深まり> 2- (13)

「この授業を通じてものの見方や考え方が深まりましたか」という質問に対する回答は、全体平均より 0.1 ポイント低い 4.00 となった。受講者は授業内容から新しい知見や知識を身に着けていると感じていることが分かる。

<満足度> 2-(14)

教養教育科目に対する満足度について、全体（全科目）の平均値では 4.10 ポイントである。これは全体平均 4.15 より 0.05 ポイント低い。また、昨年度（4.18）と比較しても減少している。

<その他>

その他の項目についても、おおむね 4.00 台と良好な数字となっており、授業運営はおおむね適切に行われていることがうかがえる。3.0 が適切である項目（難易度・授業進度）についても、両項目とも平均が 3.49（難易度）、3.21（授業進度）と大きな問題はないように思われる。

(3) 課題

本調査の結果から、教養教育科目においては、受講者による授業に対する「理解のしやすさ」、「ものの見方や理解の深まり」、「満足度」などはおおむね問題がない水準である。ただし、前年度と比較すると平均値が低下傾向にあり対面授業への移行に当たり、教員・学生共に多少の困難が生じていた可能性が示唆される。

また、（教養教育科目に限られない問題であるが）予習・復習時間の極端な少なさや、授業時の発言・質問への促しが不十分である点など、前年度からの課題も引き続き明らかになっている。コロナ渦と共にあったこの数年間は、これまでの授業運営のあり方を根底から見直す必要に迫られた期間であったが、今後はこの期間中に得られた様々な知識や方法を担当教員各位が応用し、対面授業・遠隔授業を問わず、様々な工夫を推進することが求められる。

教養教育科目では、引き続き、広く深く学術の基礎を学び人間性を涵養する教育となるよう、授業内容や授業方法の工夫・改善を進めていく。

以上

6. 教養教育科目（外国語科目）

本報告書は令和5年6月26日から同7月1日（予備日7月3日から8日）にかけて実施されたアンケートを基に、外国語学部教授塩崎智が作成したものである。筆者は、今年度、外国語学部開講の第二外国語初級英語A組を担当した。現場教員の見地を含めながら、以下アンケート結果について報告する。

（1）実施状況

外国語のアンケート実施科目数は5学科で計702クラスと、アンケートのクラス分類では最多となっている。今年の666から増加している。

（2）全体集計、学科目別の平均値及び標準偏差

- 1(1) 学生の出席状況：4.72 他の科目群と比較すると全体の平均4.71とほぼ同じである。
- 1(2) ノート・メモ：4.24は全体4.11よりも高い。授業を見ていると板書の授業が多い印象を受けるので首肯できる。
- 1(3) 予習・復習：2.10で全体平均の1.94を上回っている。語学は課題が多くなりがちであるので、これも首肯できます。
- 2(1) 狙いの明確さ：4.32で全体平均と同じである。
- 2(4) 声の大きさ：4.18で全体平均の4.16とほぼ同じである。発音などある教員の声量も必要であるので、全体平均との差がもっと大きい方が望ましいかもしれない。
- 2(5) 環境の配慮：4.23で全体平均の4.22とほぼ同じ。
- 2(6) 質問・発言：4.29で全体平均の4.02をはるかに上回っている。比較的少人数のクラスが多いからだろうか。
- 2(7) オフィスアワー：2.23で全体平均の2.55を下回っている。教員に非常勤講師が多いことが理由の一つであろう。
- 2(8) 意欲・熱意：4.30で全体平均の4.28とほぼ同じである。
- 2(9) 時間の厳守：4.41で全体平均の4.38を若干上回っている。105分が比較的厳格に守られている、ということだろうか。
- 2(10) 教材等の効果：4.29で全体平均の4.24を上回っている。語学教材の選択が適切である、ということだろうか。
- 2(11) 理解しやすさ：4.03で全体の3.98を上回っている。入学試験の語学の勉強と異なり、細かい点までしない点が幸いしているのかもしれない。
- 2(12) 興味関心：4.02で全体平均の4.03とほぼ同じである。
- 2(13) 見方・考え方が深まる：3.96で全体平均の4.01を下回っている。語学の勉強なのでやむを得ない。むしろ、もっと低いポイントになってもおかしくない科目であると思う。
- 2(14) 満足度：4.17で全体平均を若干上回る程度である。

ここまでの印象としては、他の科目群との数値の差が意外に少なく、逆に外国語学部ならではの特色を活かした授業が行われているかが、若干気になっている。

(3) 外国語科目の平成29年度から令和4年度までの各設問項目の経年比較

全体的にとびぬけて大きな変化があった項目は無いが、以下に気が付いた点を述べる。

2(7) オフィスアワー：令和4年度より減少しているが、理由が不明である。非常勤講師の担当クラスが増えたということだろうか。

1(1) 出席状況と2(14) 学生満足度が例年通りに高い数値を示していることは好ましい。

(4) 課題

今回のアンケート結果からの特に大きな発見は無かった。以下、授業を担当していて気になる点を述べたい。

まず、学生の批判的態度が低下しているのではないか、という懸念である。昨今の学生は、人間関係における対立を好まない、あるいは避ける傾向があるように思われる。そのためか、アンケート結果も「甘目」になる傾向があるのではないだろうか。日頃の授業の学生の様子、他の先生方の学生の印象等を聴くにつけても、そう思う。

昨今、授業中にスマホをしまわなくてもよい授業が増えているように思う。自分もそうしているが、明らかに授業よりもスマホに集中している学生がおり、そのような学生は成績も芳しくない。アンケート項目にスマホに関する点を盛り込んではどうだろうか。

以上

6 教養教育科目（スポーツ・トレーニング科目）

（1）実施状況

令和5年度「授業改善のための学生アンケートは、基本的には令和5年6月26日（月）から7月1日（土）、及び予備日として7月3日（月）から7月8日（土）までの授業時間中に実施した。QRコードを学生に何らかの方法で提示し、学生がスマホ等で読み込んでWeb上にて回答を回収した。

スポーツ・トレーニング科目のアンケート内容は、講義科目や実験実習科目と異なり、身体を動かす実技科目であることから独自の内容となっている。

実施科目数は、実質、商学部・政経学部が4科目（トレーニング基礎演習・生涯スポーツ基礎演習・生涯スポーツ応用演習A・生涯スポーツ応用演習B）、外国語学部・工学部が同様に4科目（科目名も商・政経学部と同じ）、国際学部が2科目（生涯スポーツ基礎演習Ⅰ・生涯スポーツ基礎演習Ⅱ）である。

教員7名（専任4名・講師3名）が、上記した方法か、アンケート当日欠席した学生には以下の連絡を送りアンケートを実施した。

「blackboardの連絡事項」にQRコードを掲載し、学生にスマホ等で読み込ませ、回答させた。

（2）アンケート項目

アンケート項目は21問。体育実技科目用のアンケートであるため、一般的な講義科目用のアンケートより設問数が若干多くなった。また、回答「3.0」が適切である項目は設けなかった。21問中の9問は、スポーツ・トレーニング科目独自の設問となった。

（3）受講姿勢に関する学生の自己評価—その集計結果

1-（1）「学生の出席状況」の平均値は4.86である。令和4年度は、4.64であることから、十分に高い数値である。「出席率80%以上」と回答した学生は97.9%であった。極めて高いパーセンテージである。体育実技科目は、平成25年度までは国際学部を除く全学部が必修科目としていたが、平成26年度からは工学部のみが必修科目としている。その工学部も令和2年度からは必修科目から体育実技科目を外した。それ故、本調査の数値は、全く必修科目ではない選択科目としての体育実技科目の3回目の出席状況調査数値である。平成22年度から令和元年度までの10年間の「出席率80%以上と回答した学生の平均値は90.7%であった。従って、令和5年度に体育実技科目を選択履修した学生の授業出席に対する真面目な姿勢が窺える。

1－(2)「健康・運動への関心」の平均値は4.49であった。昨年度を下回ったが、極めて良好な数値であると思える。しかし、令和3年度と同設問に対する数値4.57より漸減している。「⑤強くそう思う」と「④そう思う」の合計（以下⑤+④とする）が、本調査では95.2%であった。令和4年度の調査も95.8%である。これらは令和元年度調査の81.1%を大きく凌駕している。自身の健康・体力に関してより強い関心を寄せている学生が、近年は履修登録していることが窺える。良い傾向である。

1－(3)「積極的参加」の平均値は4.61であった。必修科目ではなく選択科目として体育実技科目を履修する学生であるから、この項目の数値が高いのは十分に頷ける現象である。令和4年度の4.54から漸増している。ただし、⑤+④の合計値は本調査が98.4%であり、令和4年度は96.4%であった。よりレベルの高い積極参加の姿勢が窺える。コロナ禍による運動不足や仲間たちと思うように会えないもどかしさなどによるフラストレーションの存在も今年度はまだ考えられる。

受講生の体育実技科目受講に対する意識は、近年、より積極的になってきていると思われる。それは受講生の態度（取り組みの状況）にもよく表れている。早く教場に来る・授業準備を積極的に手伝う・実技実施中に大声を出す・よく笑う・欠席や遅刻が少ない等々は、担当教員が感じる近年の受講生の変化である。令和4年度の「健康・運動への関心」についても「強くそう思う」「そう思う」と答えた「肯定群」の割合が95.8%と、令和元年度(81.1%)を15ポイント近く引き離している。受講生が体育実技科目を選択履修する目的意識は極めて明確であり、これが数値に反映されていると考えられる。令和3年度前期までは、緊急事態宣言の発出に伴い、対面授業がほとんど行えなかった。しかし、この数値を見る限り、学生の取り組み状況にそれらの影響はないように見受けられる。むしろ、実際に仲間と共に身体を動かす喜びに学生は満ち溢れているよう窺える。「積極参加」も9.2ポイント、3年前より上昇している。オンライン授業では血気盛んと形容できるであろう大学生の活動への欲求を十分に満たすことはやはり難しいと思われる。

(4) 教育内容・方法について－その集計結果と今後の課題

2－(1)「狙いの明確さ」の平均値は4.56であった。令和4年度は4.55、令和元年度の数値は4.45。高い水準を継続して維持していると考察できる。学科目別回答の分析では、⑤+④が94.6%であり、昨年度の97.0%を2.4ポイント下回った。「狙いの明確さ」についての受講生の評価は若干低下していると考えられる。

2－(2)「運動量」の平均値は4.60であった。十分に高い数値である。授業参加における運動量は十分であると受講生は感じていると考えられる。令和4年度の調査でも4.64であった。令和元年度以前の調査とは設問文章の文言を変えているため、比較検討はできない。

2－(3)「体力、健康の向上・改善」の平均値は4.54であった。令和4年度は4.55。この項目も令和元年度以前の調査とは設問の文言を変えている。従って、数値の比較検討はできない。4.54は、体育実技科目の授業として十分に納得できる数値であると分析できる。

2－(4)「説明のわかりやすさ」の平均値は4.46である。これも他の質問項目と同様に首肯しうる数値ではあるが、科目の特性上、受講生が全く未知の内容を教授する訳ではないので、限りなく5.0に近づける努力をしなければならないと考えられる。昨年度の数値は4.47であった。わずかに数値が低下したが、令和元年度の4.20よりは増加している。良好な傾向は感じられる。

2－(5)「声の大きさ」の平均値は4.64である。令和4年度の4.63より0.01ポイント高い数値となった。問題は全く感じない。良い傾向であると思える。⑤+④は96.7%であった。

2－(6)「コミュニケーション」の平均値は4.60である。令和4年度の4.55からわずかに増加した。良好な数値であると言えよう。⑤+④も95.7%であった。学生とのフレンドリーな関係(運動場面においては、選手と指導者とのフレンドリーな関係が選手の躍動感につながると言われている)が窺える。

2－(7)「雰囲気」の平均値は4.57である。令和4年度の4.56よりわずかに数値は増加した。⑤+④は94.6%である。これも極めて良好な数値である。今後とも継続して行きたい。

2－(8)「授業の準備」の平均値は4.67である。新設した質問項目であるため、令和元年度以前のデータはない。令和4年度は4.52であった。⑤+④は96.2%である。施設面・用具面などの授業の準備に関しての学生の評価は十分に高いと考えられる。及第点であろう。

2－(9)「安全への配慮」の平均値は4.77である。令和4年度は4.69であった。2－(8)と同様に新設の設問であるため、令和元年度以前のデータはない。⑤+④は97.3%と高い数値である。しかし、体育実技科目においては「安全への配慮が十分でしたか」の問いに対しては、⑤+④は100%にならなければならないと考えられる。今後の課題として、いの一歩に捉えなければいけない。

2－(10)「意欲・熱意」の平均値は4.80である。令和4年度は4.67であった。この項目も新設した設問であるため、令和元年度以前のデータはない。⑤+④は98.4%と極めて高い数値である。教員の情熱を受講生は十分に感じていると考えられる数値である。

2－(11)「時間の厳守」の平均値は4.72である。令和4年度は4.65であった。この項目も新設した設問であるため、令和元年度以前のデータはない。⑤+④は97.3%とこれも極めて高い評価となったが、「安全への配慮」と同様に100%にならないといけない項目であると考えられる。今後の課題として捉えなければならぬであろう。

2－(12)「興味関心」の平均値は4.60である。令和4年度は4.58。この項目も新設した設問であるため令和元年度以前のデータはない。⑤+④は95.7%と非常に良好な数値となった。多くの学生が授業内容に興味を抱いていたと回答している。

2－(13)「知識・技術の習得」の平均値は4.52である。令和4年度の平均値4.59よりわずかに評価が下がった。⑤+④は94.1%である。これも極めて良好な数値である。今後とも継続して行きたい。

2－(14)「健康・体力維持」の平均値は4.55である。これは令和4年度の4.50よりわずかに評価が上がった。⑤+④は96.2%である。もちろん極めて良好な数値ではあるが、この項目こそが、100%達成を目指すべき項目であろう。体育実技科目の達成目標の柱となるものである。今後の課題として、この項目の評価を体育実技担当教員は共有していかなければならないと考える。

2－(15)「満足度」の平均値は4.63である。これも令和4年度の4.65よりわずかに評価が下がった。⑤+④は96.8%と極めて高い数値である。一般的な講義科目より高い評価を受けたのは、実技科目としての科目の特性上当然であると考えられるが、受講生の興味関心が高かったが故に、授業内容に失望した際には大きく数値が落ちるであろうことは想像に難くない。今後も高い満足度の数値を得て行くために担当教員は鋭意努力していかなければならないと考える。

(5) スポーツ・トレーニング科目独自設問—その集計結果と今後の課題

3－(1)「種目の選択と内容の希望」の平均値は4.51である。令和4年度の4.54よりわずかに低い評価となった。しかしながら、良好な数値であると考え。⑤+④は94.1%であった。

3－(2)「時間帯」の平均値は4.60である。令和4年度の4.58より若干数値は向上している。体育実技科目であるため激しい身体活動に適していると考えられる2時限目～4時限目の時間帯に、フットサルを除く種目は授業時間を配置しているため、多くの学生が肯定していると考察できる。⑤+④は95.0%である。今後も授業の配置時間は現状の配置を継続して行く所存だが、種目と使用施設の関係上、難しいケースが生まれる可能性は否定できない。

3－(3)「履修の希望」の平均値は4.37である。令和4年度は4.33であった。令和元年度以前の10年間の平均値3.69をかなり上回る結果である。これは、必修科目としての体育実技が無くなり、体育実技の全てが選択科目となった令和3年度以降の学生評価アンケート調査であることが強く影響していると考えられる。選択科目であることから、当然、運動嫌い・体育嫌いの学生は履修してこない。現在我々が提供しているプログラムに対して、リピートしたいと考えている学生が多いという単純な結果であろう。⑤+④は83.9%であった。しかし、取得することができる体育実技科目の単位数は限られている。体育実技科目に限っては特別な科目として単位取得の制限が撤廃される、あるいは、一度取得した単位でももう一度申し込みまた受講できるなどの特別な措置が構築されなければリピート受講はできない。多くの学生がリピート受講を望んでいる。

以上、現状の分析と今後の課題を簡便に示してきた。2－(15)の「満足度」の平均値からは、強く、受講生の体育実技科目受講に対する好意的な評価を窺うことができる。しかし、詳細に検討すると「どちらとも言えない」が2.15%存在している。新たに105分授業が導入された令和4年度以降、更衣と教場への移動を伴う体育実技科目にとっては授業が行い易い環境となった。学生の不満のひとつである授業の支度の煩雑さは大いに解消されている。

105分授業導入は、体育実技科目にとっては極めて追い風である。学生の満足度と学生の体力向上を目指し、更なる努力で体育実技授業の改善を図って行きたい。

7. 教職課程・日本語教員養成基礎講座科目

授業評価の対象となる教職課程・日本語教員養成基礎講座の科目数の合計は53科目となっている。

「2-(14)総合的な満足度」は、2講座の科目全体で見ると、今年度の平均値は4.41であった。これは、全学(2230科目)の平均値4.15を上回っている。また、昨年度の3講座(社会教育主事講座を含む)の科目の平均値4.53よりやや低下した。ただ、全体としては受講学生からの好意的な評価は維持されていることが窺える。以下、個別に現状分析と課題について述べてみたい。

1. 自己評価について

- (1)「学生の出席状況」の平均値は4.74(標準偏差0.52)であり、昨年度とほぼ同程度であった。
- (2)「ノートやメモ」の平均値は4.38(同0.69)であり、昨年度の4.45(同0.69)よりやや低下した。
- (3)「予習あるいは復習」の平均値は1.95(同1.01)であり、昨年度の1.93(同0.98)とほぼ同程度であった。内訳では、予習あるいは復習の時間が「30分未満」が昨年度とほぼ同程度で40.5%を占めている。

学生の自己評価から、全体として学修への積極性が窺える。90%以上の出席率が78.1%と昨年度と同程度になっており、「ノートやメモ」についても「強く思う」「思う」と答えた「肯定群」(以下、同様の表記)の割合が90.7%と、昨年度より3ポイント弱減少したものの、高水準を維持している。履修学生が当該科目を選択履修する目的意識は明確であり、これが数値に反映されていると考えられる。今年度はほぼ対面授業が展開され、落ち着いて授業に取り組める状況が維持されたことが推察できる。なお、公式試合等が授業と重なる運動部学生や、新型コロナウイルス感染症罹患に伴う欠席学生には、授業の欠席届の提出を求め、個別の課題の指示や指導を行って対応した。

「予習あるいは復習」については、今年度の平均値が全学(1.94)と同程度となっており、全学平均値よりも若干低かった(0.04ポイント減)昨年度からは改善された。「予習あるいは復習」の「30分未満」の割合約40%は昨年度とほぼ同じであるが、「30分以上1時間未満」が4ポイント弱減少し、逆に「1時間以上2時間未満」が4ポイント余上昇するなど改善の兆しが見られる。学生は、各学部での履修に加えて当該講座の科目を選択履修しており、当該科目の予習・復習に十分な時間を確保できていない状況も考えられる。今年度は26%となった「1時間以上」の割合の増大を視野に入れて、授業担当者が予習・復習を習慣化する工夫や課題・宿題の実施などを、引き続き指導のねらいを周知しながら行っていく必要がある。

2. 教育内容・方法について

- (1) 「授業のねらいの明確さ」の平均値は4.50（同0.55）であり、昨年度4.53（同0.58）よりやや低下した。また「強くそう思う」「そう思う」と答えた「肯定群」は97.6%と、昨年度よりさらに1ポイント増加した。
- (2) 「難易度」の平均値は3.44（同0.58）であり、昨年度の3.35（同0.55）よりやや難化した。「やや難しい」と答えた割合が5ポイント余増加して34.9%となり、「ちょうど良い」は昨年度より6%弱低下して60.4%であった。
- (3) 「進度」の平均値は3.14（同0.44）であり、昨年度とほぼ同程度であった。「ちょうど良い」は昨年度とほぼ同程度の84.9%であり、「やや速い」も同程度の12.1%であった。
- (4) 「声の大きさ（聞き取りやすさ）」の平均値は4.45（同0.65）であり、昨年度とほぼ同程度であった。
- (5) 「環境の配慮（私語の防止等）」の平均値は4.40（同0.65）であり、昨年度の4.47（同0.65）よりやや低下した。「肯定群」は昨年度とほぼ同程度の93.4%となった。
- (6) 「質問・発言」の平均値は4.36（同0.75）であり、昨年度とほぼ同程度となった。また「肯定群」も昨年度と同じく89.5%となった。
- (7) 「オフィスアワー」の平均値は2.61（同1.34）であり、昨年度の2.87（同1.36）より低下した。また「肯定群」も7ポイント余減少して、28.7%となった。
- (8) 「意欲・熱意」の平均値は4.49（同0.67）であり、昨年度の4.59よりやや低下した。また「肯定群」は昨年度より3ポイント余増加して94.2%となったが、そのうち「強くそう思う」は昨年度より7ポイント余減少した。
- (9) 「時間厳守」の平均値は4.51（同0.70）であり、昨年度の4.42（同0.77）よりやや上昇した。また「肯定群」は昨年度より3ポイント余増加して93.8%であった。
- (10) 「教材等の効果」の平均値は4.43（同0.70）であり、昨年度の4.51（同0.62）よりやや低下した。また「肯定群」は昨年度より3ポイント余減少して93.3%となった。
- (11) 「理解しやすさ」の平均値は4.24（同0.68）であり、昨年度4.28（同0.69）よりやや低下した。また「肯定群」は昨年度よりほぼ同程度の89.6%となった。
- (12) 「興味関心」の平均値は4.34（同0.66）であり、昨年度の4.33（同0.76）とほぼ同程度であった。また「肯定群」は昨年度とほぼ同じく89.6%となった。
- (13) 「見方・考え方」の平均値は4.31（同0.71）であり、昨年度の4.53（同0.71）より低下した。また「肯定群」は昨年度より1ポイント余減少して90.4%となったが、「強くそう思う」は4ポイント余減少した。

個別の質問項目では、(9)「時間厳守」については、昨年度より数値が上昇する一方で、(1)「狙いの明確さ」、(5)「環境の配慮（私語の防止等）」、(8)「意欲・熱意」、(10)「教材等の効果」、(11)「理解のしやすさ」、(12)「興味関心」については昨年度より数値がやや低下し、(7)「オフィスアワー」、(13)「見方・考え方」については数値が低下している。いずれも「強くそう思う」の割合が減少したことが影響していると考えられる。た

だ個別の質問項目で数値が昨年度比で低下したものが多いが、全学の平均値を下回っているものはなく、全体としては好意的な評価が維持されている。今年度は対面授業中心に戻った昨年度のような授業形態に大きな変化はなく、落ち着いた授業に取り組む受講学生の評価が反映したものといえる。

(1)「狙いの明確さ」は、平均値がやや低下したものの、当該講座の狙いを明確にした授業が行われていることが多くの学生に理解されていると考えられる。そのほかにも(5)私語の防止等の「環境の配慮」、(8)「意欲・熱意」、(10)「教材等の効果」、(11)「理解しやすさ」、(12)「興味関心」について、これまでの指導上の実績をもとに、引き続き継続的な工夫改善に努めていきたい。

学生の受講状況の把握という点では、授業の(3)「進度」では8割超の受講学生が「ちょうど良い」と回答する一方で、「難易度」については「やや難しい」がやや増加して約35%を占めている。今後とも、個々の学生の理解状況をよく観察し、適宜声かけを工夫しながら、予習・復習の励行も併せて授業改善に引き続き努めていくことが重要である。

(7)「オフィスアワー」の利用については、一昨年度、昨年度と改善傾向にあったが、今年度は「肯定群」が減少した。約半数弱の受講学生が、その利用に否定的な回答をしていることから、資格取得の先にある進路とも関連付けながら、指導教員が一層利用を促すよう改善に努める必要がある。

以上、現状分析と課題を挙げてきたが、これらを総括する「2-(14)総合的な満足度」の数値は、昨年度よりやや低下したものの、受講学生が授業に対して好意的な評価をしていることは冒頭で述べたとおりである。もっとも、「総合的な満足度」の肯定群のうち「強くそう思う」が昨年度より10ポイント余減少して48.5%となり、減少分が「そう思う」の割合を増やしている点は真摯に受け止める必要がある。受講学生の自己評価では、積極的に出席してノートやメモをしっかりとっていることから、学生の期待に応えるべく授業改善を図っていかねばならない。昨年度からは105分授業が始まり、当該講座の授業の性格をより反映して講義一辺倒からの脱却を図る試みも継続して行われている。今後は、担当教員が今回のアンケート結果を共有して、次年度に向けてさらなる工夫改善に努めたい。

以上

参考資料

「授業改善のための学生アンケート」実施要領

アンケート様式

令和5年度「授業改善のための学生アンケート」実施要領（学部）

1. 目的

学修者本位の教育の質の向上を図るため、各教員が授業に対する学生の評価・意見を直接聞き、授業内容及び教育方法の改善に反映させ、さらに、学部・学科全体として、授業科目・教育課程の編成・実施に関する改善策の検討に役立てること。

2. 対象科目

本学で開講する通年科目及び前期科目（オンデマンド型授業を含む）を対象とする。
ただし、北短開講科目、一部の委託業者担当科目、講座科目（オムニバス）、集中講義（工学部卒業研究を含む）は対象外とする。

3. 実施期間

令和5年6月26日（月） ～ 7月1日（土）
（予備日：7月3日（月） ～ 7月8日（土））

4. 実施方法

「学生アンケートシステム」を使用し、Web上で実施する。

- (1) 事前に「学生アンケートシステム」にログインし、科目毎のQRコードとURLが記載されたPDFデータを出力（必要であれば印刷）する。科目毎専用のアンケートフォームとなっているため、アンケート実施時に科目が混在しないように注意する。
- (2) アンケート実施期間前の授業にて、アンケート実施の旨と、スマートフォン（以下スマホ）を持参するよう学生に周知する。
- (3) アンケート実施期間内に、次の方法にて実施する。所要時間は5分程度。

【対面授業科目】

教室内のスクリーン（モニター）にQRコードを表示し、学生がスマホ等で読み込んで回答する。スマホ非所有者は【オンデマンド型授業科目】の方法で対応する。またQRコードを読み取れない場合は、URLから回答するよう依頼する。

【オンデマンド型授業科目】

各授業科目の担当教員において、Blackboardの「連絡事項」にQRコード（PDF）を掲載頂き、学生がスマホ等で読み込み回答する。
※体育実技科目については同様の方法で実施する。

《特記事項》

- ・同一教員が担当している連続授業（2コマ以上）については、期間内に1度のアンケート実施をお願いします。
- ・複数の教員が担当している連続授業については、各担当教員でのアンケート実施をお願いします。

5. 科目別集計表等の作成、実施結果の取り纏め

- (1) 実施期間後（7月9日（日）以降）に科目別集計表が自動で集計される。
- (2) 担当教員は、科目別集計表の「アンケート結果に対する担当教員の所見及び改善に向けた今後の取組方針」について学生アンケートシステム上で入力する。
(入力文字数は任意、800字まで入力可)
- (3) FD委員会は“実施結果報告書 第Ⅰ部 全体集計”、“第Ⅱ部 科目別集計”を作成する。
- (4) 各学部FD委員会は、実施結果を分析し、報告書を纏めるにあたって、学部において授業改善のための意見交換を行い、「今後の課題」の中でいくつかの「具体的な次年度の授業改善取組方針及び実施計画」を掲げる。
実施結果報告書第Ⅰ部の記載項目は、「Ⅱ実施状況」、「Ⅲ全体集計」を基に、各学部等の「Ⅳ評価及び課題」をA4サイズ2～3枚程度に纏める。

6. 活用方法

- (1) 各教員は「科目別集計結果」及び「実施結果報告書」を、自己の授業内容及び教育方法の改善に役立てる。
- (2) 各学部・学科は、「科目別集計結果」及び「実施結果報告書」を、授業科目・教育課程の編成・実施に関する組織的な改善策の検討に役立てる。
- (3) 大学は、教育の質の向上を図るための教学マネジメントの一環として、各学部における取組に対して適切な支援と助言を行う。

以 上

令和5年度 「授業改善のための学生アンケート」 設問項目
【講義等科目用】

【選択肢の凡例】 5:強く思う 4:そう思う 3:どちらとも言えない 2:そう思わない 1:全くそう思わない

1		自己評価					(7)	授業時間以外に先生へ質問に行くこと(ワ1&7-等)がありますか。					
(1)	あなたのこの授業の出席率ほどの程度でしたか。	⑤ 90% 以上	④ 80% 以上	③ 60% 以上	② 40% 以上	① 40% 未満	(8)	先生の授業に対する意欲や熱意を感じますか。	⑤	④	③	②	①
(2)	あなたは授業での口頭説明や板書内容などについて、ノートあるいはメモをとっていますか。 (※対面授業の履修者のみ回答してください)	⑤	④	③	②	①	(9)	この授業の開始・終了時間は守られていますか。 (※対面授業の履修者のみ回答してください)	⑤	④	③	②	①
(3)	あなたはこの科目について、毎回のくらい予習あるいは復習をしていますか。(h=時間)	⑤ 3h 以上	④ 2h 以上	③ 1h 以上	② 0.5h 以上	① 0.5h 未満	(10)	教材等(教科書・配付資料・板書・パワーポイント等)はこの授業内容を理解するのに有効ですか。	⑤	④	③	②	①
2		教育内容・方法					(11)	この授業の内容はよく理解できましたか。					
(1)	この授業は講義要項に沿って授業が行われていますか。	⑤	④	③	②	①	(12)	この授業の内容に興味を持ってましたか。	⑤	④	③	②	①
(2)	この授業の難易度はどうですか。⑤難しすぎる ④やや難しい ③ちょうど良い ②やや易しい ①易しすぎる	⑤	④	③	②	①	(13)	この授業を通じてもの見方や考え方が深まりましたか。	⑤	④	③	②	①
(3)	この授業の進度はどうですか。⑤速すぎる ④やや速い ③ちょうど良い ②やや遅い ①遅すぎる	⑤	④	③	②	①	(14)	総合的にこの授業に満足していますか。	⑤	④	③	②	①
(4)	話し方や声は聞き取りやすいですか。 (※対面授業の履修者のみ回答してください)	⑤	④	③	②	①	3	学部設問項目					
(5)	先生は授業に集中できるよう配慮(私語の防止等)していますか。 (※対面授業の履修者のみ回答してください)	⑤	④	③	②	①	各学部の「学部設問項目」が入ります。						
(6)	この授業は学生の授業参加(質問・発言)を促しましたか。 (※対面授業の履修者のみ回答してください)	⑤	④	③	②	①							

自由意見欄 (自由記述)	この授業で良かった点、改善してほしい点、この教室の環境(教室の大きさ・エアコン・防音・設備など)について意見や要望があれば、具体的に書いてください。
-----------------	--

《学部設問項目》

商学部	(1)	あなたは、この授業に対して十分に取り組んだと思いますか。
政経学部	(1)	この授業の満足度として、あなたが考える一番大きなものは何ですか。 ① 自分が勉強したい内容であった ② 授業がわかりやすい ③ 単位を取得することができそうだ ④ 宿題やテストで内容が身についた ⑤ 講義の時間帯が適切であった
	(2)	留学生だけに質問します。留学生からみて、この授業に必要なことは何ですか。(複数回答可) ① ゆっくり話してほしい ② 文字情報をふやしてほしい ③ 教材の漢字にふりがなをつけてほしい ④ 日本語の書き方を教えてほしい ⑤ 試験前に質問の時間がほしい
外国語学部	(1)	この授業で使う教室の大きさ、施設・備品などは適切ですか。(※対面授業の履修者のみ回答してください)
	(2)	このクラスの学生数は適切ですか。(※対面授業の履修者のみ回答してください)
工学部	(1)	この授業の到達目標をよく理解していますか。
	(2)	宿題や課題に前向きな気持ちで取り組んでいますか。
	(3)	この授業の内容について、先生や友人とよく話しますか。
	(4)	この授業は、対面とオンデマンド/メディア授業のどちらの形式に適していると思いますか。 (※オンデマンド授業またはメディア授業の履修者のみ回答してください) ①対面に適している ②どちらかという対面に適している ③どちらとも言えない ④どちらかというオンデマンド/メディア授業に適している ⑤オンデマンド/メディア授業に適している
国際学部	(1)	留学生だけに質問します。この授業の内容はどのくらいわかりますか。 ①よくわかる ②だいたいわかる ③はんぶんわかる ④ほとんどわからない ⑤全くわからない
	(2)	留学生だけに質問します。先生の日本語はどのくらいわかりますか。 ①よくわかる ②だいたいわかる ③はんぶんわかる ④ほとんどわからない ⑤全くわからない
	(3)	留学生だけに質問します。この授業に必要なことは何ですか。(複数選択可) その他の意見がある場合は、自由意見欄に記入してください。 ①漢字の読み方をひらがなで書いてほしい ②ホワイトボードか黒板に書いてほしい ③レジュメなどプリントを配ってほしい ④キーワードをわかりやすく示してほしい ⑤もう少しゆっくり、はっきり話してほしい

【工学部・実験・実習科目用】

【選択肢の凡例】 5:強く思う 4:そう思う 3:どちらとも言えない 2:そう思わない 1:全くそう思わない

1	自己評価	5	4	3	2	1	(5)		⑤	④	③	②	①
(1)	あなたのこの授業の出席率は何の程度でしたか。	⑤ 90% 以上	④ 80% 以上	③ 60% 以上	② 40% 以上	① 40% 未満	(6)	先生は授業に集中できるよう配慮(安全及び私語の防止等)していますか。 (※対面授業の履修者のみ回答してください)	⑤	④	③	②	①
(2)	あなたはこの授業のために事前準備を行っていますか。	⑤	④	③	②	①	(7)	この授業の開始・終了時間は守られていますか。 (※対面授業の履修者のみ回答してください)	⑤	④	③	②	①
(3)	あなたはこの授業のレポート作成にまじめに取り組んでいますか。	⑤	④	③	②	①	(8)	教材等(実験機材・教科書・配付資料・板書・パワーポイント・模型等)はこの授業内容を理解するのに有効ですか。	⑤	④	③	②	①
(4)	あなたの受講態度(遅刻状況、授業への集中度、私語の有無などの総合評価)はどうでしたか。⑤非常に良かった ④良かった ③普通 ②悪かった ①非常に悪かった	⑤	④	③	②	①	(9)	教材(実験機材・テキスト・配付資料・模型など)の使用は適切ですか。	⑤	④	③	②	①
							(10)	この授業の内容はよく理解できましたか。	⑤	④	③	②	①
2	教育内容・方法	5	4	3	2	1	(11)		⑤	④	③	②	①
(1)	この授業の難易度はどうですか。⑤難しすぎる ④やや難しい ③ちょうど良い ②やや易しい ①易しすぎる	⑤	④	③	②	①	(12)	この授業の内容に興味を持っていましたか。	⑤	④	③	②	①
(2)	この授業の進捗はどうか。⑤速すぎる ④やや速い ③ちょうど良い ②やや遅い ①遅すぎる	⑤	④	③	②	①	(13)	この授業を通じてもの見方や考え方が深まりましたか。	⑤	④	③	②	①
(3)	説明は分かりやすいですか	⑤	④	③	②	①	(14)	総合的にこの授業に満足していますか。	⑤	④	③	②	①
(4)	話し方や声は聞き取りやすいですか。 (※対面授業の履修者のみ回答してください)	⑤	④	③	②	①							

自由意見欄 (自由記述)	(1)	この授業で良かった点は、なんですか。
	(2)	この授業で改善してほしい点があれば書いてください。
	(3)	この授業の環境(教室の大きさ・エアコン・照明・防音・備品など)について意見や要望があれば具体的に書いてください。

【スポーツ・トレーニング用】

【選択肢の凡例】 5:強く思う 4:そう思う 3:どちらとも言えない 2:そう思わない 1:全くそう思わない

1	自己評価	5	4	3	2	1							
(1)	あなたのこの授業の出席率はどの程度でしたか。	⑤ 90%以上	④ 80%以上	③ 60%以上	② 40%以上	① 40%未満	(8)	この授業は施設・用具など授業の準備は十分でしたか。⑤十分であった ④おおむね十分であった ③どちらとも言えない ②やや不十分であった ①不十分であった	⑤	④	③	②	①
(2)	あなたは自分の健康と運動・栄養・休息に関心を持っていますか。	⑤	④	③	②	①	(9)	この授業は安全への配慮が十分でしたか。⑤十分であった ④おおむね十分であった ③どちらとも言えない ②やや不十分であった ①不十分であった	⑤	④	③	②	①
(3)	あなたはこの授業でやる気を持って積極的に取り組んでいますか。	⑤	④	③	②	①							
2	教育内容・方法	5	4	3	2	1	(10)	先生は熱意をもって授業を行っていますか。	⑤	④	③	②	①
(1)	この授業は講義要項に沿って授業が行われていますか。	⑤	④	③	②	①	(11)	この授業の開始・終了時間は守られていますか。 (※対面授業の履修者のみ回答してください)	⑤	④	③	②	①
(2)	この授業の運動量はどうか。 ⑤十分であった ④おおむね十分であった ③どちらとも言えない ②やや不足していた ①不十分であった	⑤	④	③	②	①	(12)	この授業の内容に興味を持ちましたか。	⑤	④	③	②	①
							(13)	この授業のテーマに関する知識あるいは技術が身につきましたか。	⑤	④	③	②	①
(3)	この授業で体力・健康状態が向上・改善されましたか。⑤十分であった ④おおむね十分であった ③どちらとも言えない ④やや不十分であった ①不十分であった	⑤	④	③	②	①	(14)	この授業は学生生活及び健康・体力維持に役立ちましたか。	⑤	④	③	②	①
							(15)	総合的にこの授業に満足していますか。	⑤	④	③	②	①
(4)	説明は分かりやすいですか。	⑤	④	③	②	①	3	スポーツ・トレーニング設 問事項	5	4	3	2	1
(5)	話し方や声は聞き取りやすいですか。 (※対面授業の履修者のみ回答してください)	⑤	④	③	②	①	(1)	履修したスポーツ種目の選択と内容はあなたの希望にそっていましたか。	⑤	④	③	②	①
(6)	教員と学生との友好的なコミュニケーションがありますか。	⑤	④	③	②	①	(2)	受講した時間帯は適切でしたか。 (※対面授業の履修者のみ回答してください)	⑤	④	③	②	①
(7)	この授業は身体活動にふさわしい雰囲気は保たれていますか。	⑤	④	③	②	①	(3)	次年度以降、あなたの好きな「生涯スポーツ応用演習」(自由科目)を履修したいですか。	⑤	④	③	②	①

自由意見欄 (自由記述)	(1)	この授業で良かった点は、なんですか。
	(2)	この授業で改善してほしい点があれば書いてください。
	(3)	この授業の環境(アリーナ・グラウンド・トレーニングルーム・更衣室・シャワールームおよび用具<ボール・ラケット等>)について意見や要望があれば具体的に書いてください。